

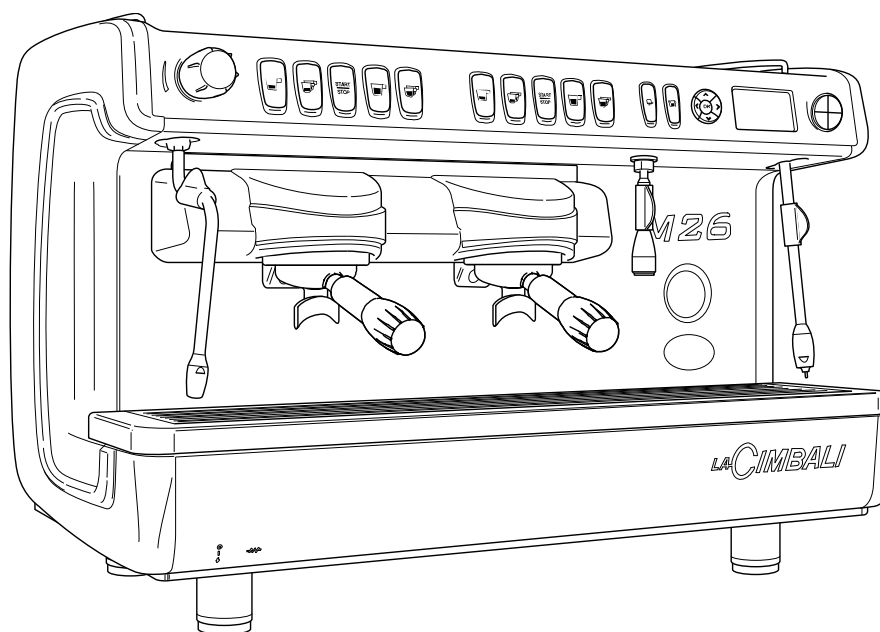
エスプレッソコーヒーマシン 【ラ・チンバリ】

# LA CIMBALI

## 取扱説明書

お客様用

型式：M26-DT/2(TS)  
M26-DT/3(TS)  
(業務用)



M26-DT/2(TS)

このたびは、当社のエスプレッソコーヒーマシンをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

据付説明付

# もくじ



<b>安全上のご注意</b> .....	1～9	<b>プログラム設定について</b> .....	64～92
<b>各部の名称とはたらき</b> .....	10～13	タイマー機能の設定.....	64～76
本体.....	10・11	日付と時刻の設定.....	65～67
操作パネル.....	12～14	自動ON・OFFタイマーと定休日の設定.....	68～72
エスプレッソ抽出スイッチ.....	12	洗浄時刻の設定.....	73～76
カップウォーマースイッチ、熱湯取出スイッチ、		<b>抽出回数の管理</b> .....	77～82
ターボスチームスイッチ.....	13	各スイッチ使用回数の確認のしかた.....	78・79
プログラム操作スイッチ.....	14	抽出杯数の確認のしかた.....	80～82
<b>使用前の準備</b> .....	15～18	エスプレッソコーヒー抽出量の変更.....	83～86
電源を入れる前に.....	15	熱湯取出量の変更.....	87～89
カップの保温.....	15	ターボスチームの温度と泡立ちの設定.....	90～94
電源の入れかた.....	15～18	<b>その他の機能</b> .....	95～97
<b>各メニューの抽出のしかた</b> .....	19～38	機械を省電力モードにする.....	95
エスプレッソコーヒーの抽出のしかた.....	19～22	カップウォーマーの温度設定.....	96
熱湯の出しかた.....	23	ボイラータンク圧力のグラフィックメーター表示.....	97
蒸気の使いかた.....	24～36	<b>据え付けについて</b> .....	98～109
ターボスチームノズルを		据付工事.....	98～102
使って泡立ちミルクを作る.....	25～27	据付け.....	103～107
ターボスチームノズルを		据付後の動作確認.....	108・109
使って飲料を温める.....	28～30	<b>仕様</b> .....	110
蒸気ノズルを使って飲料を温める.....	31～33	<b>保証書（別添付）について/消耗部品</b>	
ターボスチームのエアー量の調整方法.....	34～36	/補修用性能部品の保有期間.....	111
エスプレッソコーヒー抽出湯温の調整方法.....	37・38		
<b>洗浄、清掃のしかた</b> .....	39～61		
洗浄と清掃の一覧.....	39		
営業中に随時おこなってください.....	40・41		
蒸気ノズル、ターボスチームノズルの洗浄.....	40・41		
終業時に毎日おこなってください.....	42～55		
エスプレッソ抽出器の手動洗浄.....	42～44		
エスプレッソ抽出器の自動洗浄.....	45～54		
蒸気ノズル、ターボスチームノズルの洗浄.....	55・56		
熱湯ノズルの洗浄.....	57		
ドレンプレート、ドレンパンの洗浄.....	57・58		
週に2～3回おこなってください.....	59～61		
蒸気ノズル、			
ターボスチームノズル先端の洗浄.....	59・60		
本体外装の清掃.....	60		
排水口バスケットの洗浄.....	61		
<b>お手入れと点検</b> .....	62・63		

# 安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください  
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください




**表示と意味は次のようになっています。**

## 注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

\*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

## 図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

## 警告



専門業者

**据付工事は、お買上げ店または専門業者に依頼すること**

ご自分で据付けをされ不備があると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。



アース線接続

**アース線を必ず接続すること**

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。  
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。  
設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。



専用電源

**本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること**

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

**電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること**

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

**屋外で使用しないこと**

雨水のかかる場所で使用されると、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

**湿気が多い所や、水などがかかり易い場所で使用しないこと**

本体や電源コードに水などがかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

**本体に直接水をかけないこと**

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

**電源コードを傷つけないこと**

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

**電源コードや電源プラグ(電源プラグ使用の場合)が破損している場合は使用しないこと**

そのまま使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

**電源プラグ使用の場合、電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、根元まで確実に差し込むこと**

ほこりが付着した場合や、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。

## 警告



連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

やけどや感電の恐れがあります。



ガス栓閉

ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓をあけて換気すること

本機の電源スイッチを「ON(入)」にしたり、電源プラグを抜いたり(電源プラグ使用の場合)すると、引火爆発し危険です。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグ(電源プラグ使用の場合)などの電気部品に触れたり、本機の電源スイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



ノズル確認

『ターボスチームスイッチ』および『蒸気栓つまみ』を操作するときは、ターボスチームノズルおよび蒸気ノズルがドレンプレートに向いているか確認すること

ノズル先端に人の手などがあると、誤って『蒸気栓つまみ』を回したり、『ターボスチームスイッチ』が押された場合、やけどの原因になります。



ノズル下ろす

ターボスチームノズルおよび蒸気ノズルを上げて作業した後は、忘れずに元の位置(ドレンプレートに向ける)に下ろしておくこと

誤って『蒸気栓つまみ』を回したり、『ターボスチームスイッチ』が押された場合、やけどの原因になります。



禁止

顔や手、または人にターボスチームノズルおよび蒸気ノズルを向けないこと

蒸気がかかると、やけどの原因になります。



禁止

本機の電源が「ON(入)」になっているときは、エスプレッソ抽出器や熱湯ノズルの下、または蒸気ノズルやターボスチームの先端周辺に手などを置かないこと

熱湯が出たり、蒸気が出た場合、やけどの原因になります。



ドレンプレート

コーヒー、蒸気、熱湯を取り出す場合、必ずドレンプレート上に容器を置くこと

容器を手を持ったまま取り出すと、やけどの原因になります。



洗浄

蒸気を使って飲料を温めた後は、必ず蒸気ノズルを洗浄すること

洗浄しないと、付着した飲料が腐敗して雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

## 警告



禁止

蒸気ノズルは、洗浄剤の入った希釈液に漬け置きしたまま機械の電源を切らないこと

機械内部の温度が低下したときに蒸気を出すと、機械内部に希釈液を吸い込む恐れがあり、健康障害の原因になります。



注意

ディスプレイのボイラータンク圧力の表示が1.6bar以上になるときは電源スイッチを切ること

ボイラータンク圧力の適正範囲は1.0~1.4barです。漏電、ショート、感電の原因になります。



接触禁止

蒸気ノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないこと

蒸気ノズルの金属部分に直接触れると、やけどの原因になります。



専用電源切

ターボチームのエア量の調整は、必ず本機の電源スイッチを「OFF (切)」にし、本機専用電源を「OFF (切)」にしてからおこなうこと

本機専用電源が「ON (入)」になっている状態で、本機内部の電気部品に触れた場合、やけどや感電の原因になります。



専用電源切

自動洗浄以外の清掃や点検のときは、必ず電源スイッチを「OFF (切)」にして、本機専用電源も切ること

感電、やけどの原因になります。



再度自動洗浄

自動洗浄中に停電が起きた、または洗浄中に誤って電源スイッチを「OFF (切)」にしてしまったなどの理由で電源が停止した場合、電源を「ON (入)」にしたあと、必ず改めて洗浄漂白剤「パブルクリーン」をセットして自動洗浄をやり直すこと

自動洗浄をやり直さないで、エスプレッソコーヒーを抽出した場合、コーヒーに洗浄剤の成分が混ざり健康障害の原因になります。



禁止

電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源プラグ内部でコードに傷がつき、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

ドレンパン下の左側の透明プラスチックカバーは、絶対に取り外さないこと

電源スイッチをOFFにしても誤って電圧200V端子に触れた場合、感電します。



プラグを抜く

異常時は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグ使用の場合は電源プラグを抜くか、本機専用電源を「OFF (切)」にして、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないこと

やけどや感電をしたり、修理に不備があると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。

## ⚠ 警告



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。

---



専門業者

移設は専門業者か、お買上げ店に連絡すること

据え付けに不備があると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。

---



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

---

## ⚠ 注意



### 水平据付

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたたり、かたむいていたりすると水漏れや転倒、落下によるケガなどの原因になります。



### 防水処置

水をこぼしてもよい所に据え付けること

使用中にミルクや湯などが周囲に飛び散り、床面などを濡らします。濡れると不都合な所には、据え付けしないでください。



### 相談

凍結の恐れのある場所へは据え付けないこと

凍結により給水管が破裂した場合、周囲を濡らす原因になります。凍結の恐れがある場所へ据え付けされる場合は、お買上げ店にご相談ください。



### 飲料水

給水に使用する水は、必ず飲料用の水を使用すること

飲料水以外の水を使用しますと、健康障害の原因になります。



### 禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器などを置かないこと

落下するとケガをしたり、水がこぼれて機械内部に入った場合、電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



### 可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

本機の電源スイッチを入れたり、電源プラグを抜いたりすると、発火の原因になります。



### 禁止

本体にもたれたり、乗ったりしないこと

やけどや製品転倒によるケガの原因になります。



### 専用電源切

点検するときは、必ず電源スイッチを切って、電源プラグを使用の場合は電源プラグを抜くか、本機専用電源を「OFF (切)」にすること

感電、ケガの原因になります。



### 排水点検

排水管に詰まりがないか始業時に点検をおこなうこと

排水管が詰まると、排水が流れず周囲を濡らす原因になります。



### 断水時閉弁

断水のときは、電源スイッチを「OFF (切)」にし、水道栓を閉めること

開けておくと通水時、不衛生な水が機械に給水されます。



## ⚠ 注意



水入れ替え

断水後や定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること  
水の腐敗から、健康障害の原因になります。



水分禁止

カップウォーマー部にカップを置くとき、カップの水分を十分に拭き取ること  
水分が機械内部に入ると、漏電、ショート、感電の原因になります



禁止

エスプレッソ抽出器から取り外した直後のエスプレッソ抽出容器は、熱くなっているため取手以外、直接触らないこと  
やけどの原因になります。



注意

エスプレッソ抽出器から取り外したエスプレッソ抽出容器は、内部に熱湯などが残っていることがありますので手などにかからないように注意すること  
手などにかかりますと、やけどの原因になります。



注意

熱湯を出す場合は、飛び散ることがあるので注意すること  
やけどする恐れがあります。



注意

蒸気ノズルの蒸気配管内にたまった結露水（熱湯）を抜くときは、熱湯が勢いよく飛び出るので注意すること  
熱湯が手などにかかりますと、やけどの原因になります。



耐熱容器

飲料を温めるときの容器は、耐熱性のあるものを使用すること  
熱で容器が変形や破損した場合、やけどの原因になります。



冷めるまで待つ

使用中や使用直後、カップウォーマー周辺は熱くなっているため、カップウォーマーに触る場合は、冷めるのを待ってから触ること  
冷めていない状態で触ると、やけどの原因になります。



禁止

使用中や使用直後、天板裏にあるヒーターは熱くなっているため、ターボスチームのエアー量の調整をおこなう際は、触らないようにすること  
ヒーターが熱い状態で触れると、やけどの原因になります。



熱湯注意

エスプレッソ抽出器と抽出容器を洗浄する際は、熱湯が手にかからないようにすること  
やけどする恐れがあります。

## ⚠ 注意



注意

エスプレッソ抽出容器の洗浄後、中に熱湯が残っていることがありますので手などにかからないように注意すること

やけどの原因になります。



禁止

エスプレッソ抽出器のシャワープレートを洗浄する際は、『エスプレッソ抽出スイッチ』を押して、熱湯を出しながら洗浄ブラシを使って洗浄しないこと

熱湯が手などにかかりますと、やけどする恐れがあります。



専用洗浄剤

エスプレッソ抽出器の洗浄には付属の洗浄漂白剤「バブルクリーン」を使用すること

他の洗浄剤を使用すると、エスプレッソ抽出器、抽出容器に付着したコーヒーの成分が落ちないことがあります、腐敗すると雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



熱湯注意

エスプレッソ抽出器の洗浄で、洗浄漂白剤「バブルクリーン」を使った後は、必ずすすぎ洗いをする

すすぎ洗いをおこなわないと漂白剤成分が残り、健康障害の原因になります。



熱湯注意

エスプレッソ抽出容器をすすぐときは、熱湯が飛び散るので、十分注意すること

熱湯がかかると、やけどの原因になります。



耐熱容器

蒸気ノズルを洗浄するときの容器は耐熱性のあるものを使用すること

熱で容器が変形や破損した場合、やけどやケガの原因になります。



素手禁止

熱湯ノズルの先端部分を取り外す際に、熱湯ノズルが熱くなっている場合は、水で濡らした布を使用して取り外すこと

素手でおこないますと、やけどの原因になります。



禁止

付属の洗浄漂白剤「バブルクリーン」は、口に入れたり、飲み込んだりしないこと

健康障害の原因になります。



洗浄剤保管

付属の洗浄漂白剤「バブルクリーン」は、子供の手の届かない所に保管すること

誤って口に入れたり、飲み込まれますと、健康障害の原因になります。



手袋着用

付属の洗浄漂白剤「バブルクリーン」を取り扱うときは、ゴム手袋を着用すること

素手で取り扱うと、手荒れの原因になります。

## ⚠ 注意



### 専用洗剤

ターボスチームノズルの洗浄では付属の乳成分専用液体洗剤「ミルクリン」を使用すること  
他の洗剤を使用すると、ミルクの成分が落ちないことがあり、腐敗すると雑菌が繁殖し健康障害の原因になります。



### 手袋着用

付属の乳成分専用液体洗剤「ミルクリン」を取り扱うときは、ゴム手袋を着用すること  
素手で取り扱っていると、手荒れの原因になります。



### すすぎ洗い

ターボスチームノズルの洗浄で、乳成分専用液体洗剤「ミルクリン」を使った後は必ずすすぎ  
洗いをすること  
すすぎ洗いをおこなわないと洗剤成分が残り、健康障害の原因になります。



### 熱器具禁止

本機の周囲に、熱器具を置いたりしないこと  
熱でプラスチックが変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



### 専用電源切

一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを切って、本機専用電源も『OFF  
(切)』にし、電源プラグを使用の場合は、コンセントから抜くこと  
発熱、発火の原因になります。



### 動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること  
漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



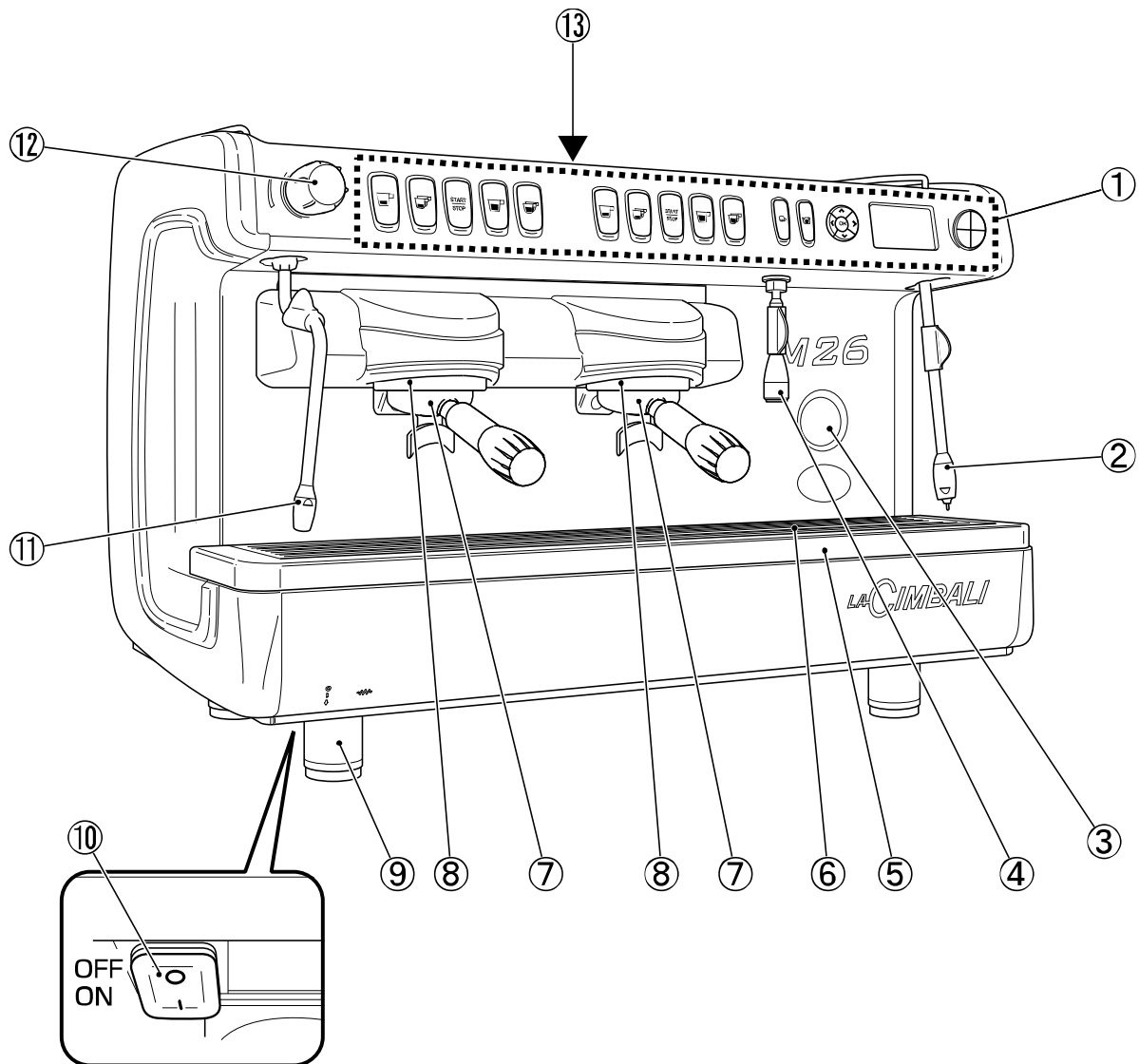
### テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい  
使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

# 各部の名称とはたらき

本機は、エスプレッソを抽出するコーヒーマシンです。

## 本体



①操作パネル

各エスプレッソメニューの抽出、熱湯や蒸気の取出、およびプログラムの設定をおこないます。

詳しくは「操作パネル」(12~14ページ)を参照してください。

②ターボスチームノズル

(温度センサー付蒸気ノズル)

飲料が設定温度になるまで蒸気または、空気を含んだ蒸気がここから出ます。

③ポンプ圧力計

給水ポンプの圧力を示します。

④熱湯ノズル

熱湯がここから出ます。

⑤ドレンパン

こぼれたコーヒーや熱湯などを受けます。

⑥ドレンプレート

各メニューの抽出時にカップなどをここに置きます。

⑦エスプレッソ抽出容器

コーヒー粉をここに入れます。

エスプレッソコーヒーが抽出容器下のノズルから出ます。

⑧エスプレッソ抽出器

エスプレッソ抽出容器をここにセットし、エスプレッソコーヒーを抽出します。

⑨アジャスト脚

本体を水平にするために調整します。

⑩電源スイッチ

本体の電源を「ON(入)」、または「OFF(切)」にします。

⑪蒸気ノズル

蒸気栓つまみを回すと、蒸気がここから出ます。

⑫蒸気栓つまみ

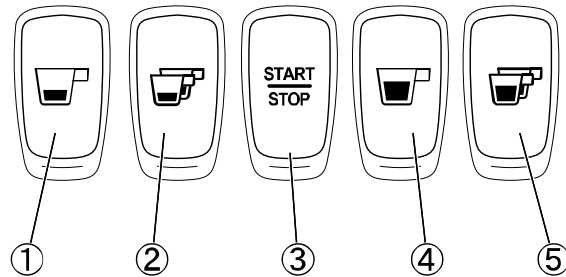
蒸気ノズルから蒸気を出すときに回します。

⑬天板(カップウォーマー)

コーヒーカップをここに置いて温めておきます。

# 操作パネル

## エスプレッソ抽出スイッチ



M26-DT/2(TS)はエスプレッソ抽出スイッチ部が2グループあります。  
M26-DT/3(TS)はエスプレッソ抽出スイッチ部が3グループあります。

①エスプレッソ1杯用（小）抽出スイッチ

④エスプレッソ1杯用（大）抽出スイッチ

②エスプレッソ2杯用（小）抽出スイッチ

⑤エスプレッソ2杯用（大）抽出スイッチ

③スタート/ストップスイッチ  
兼 連続抽出スイッチ

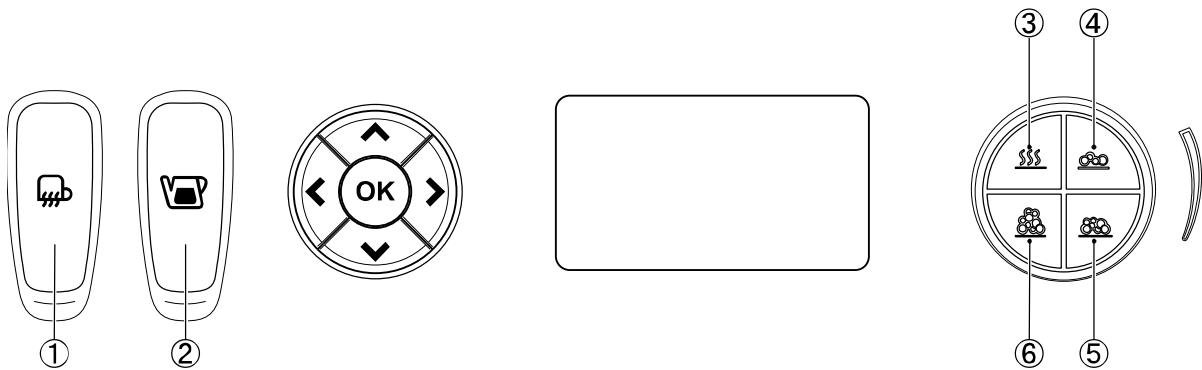
エスプレッソコーヒーの抽出を途中で止める  
ときに押します。

任意の量のエスプレッソコーヒーを抽出する  
際、このスイッチを押すとエスプレッソコー  
ヒーが抽出されます。

もう一度押すと止まります。

抽出中、①～⑤の『エスプレッソ抽出スイッチ』をもう一度押すと、抽出を途中で止めることができます。  
エスプレッソコーヒーの抽出量は、『エスプレッソ抽出スイッチ』ごとに設定を変更することが可能です。

## カップウォーマースイッチ、熱湯取出スイッチ、ターボスチームスイッチ



### ①カップウォーマースイッチ

カップウォーマーヒーターをON/OFFします。  
温度設定は、弱、中、強の3段階あります。

### ②熱湯取出スイッチ

熱湯ノズルから設定した時間、熱湯が出ます。  
スイッチから指を離すと、熱湯が出始めます。  
工場出荷時は10秒間に設定されています。

### ③ターボスチームスイッチ 1

### ④ターボスチームスイッチ 2

### ⑤ターボスチームスイッチ 3

### ⑥ターボスチームスイッチ 4

③～⑥は、ターボスチームノズルから蒸気を出すときに押します。

途中で止める場合は、もう一度押すと止まります。

設定温度になるまで、空気を含んだ蒸気が出ます。

工場出荷時は、250mLのミルクを約65℃に温める設定にしています。

工場出荷時の泡立ちレベルの設定は、下記の通りです。

泡立ちレベルが大きいほど泡のボリュームが出ます。

『ターボスチームスイッチ 1』

泡立ちレベル 000 (最小値)

『ターボスチームスイッチ 2』

泡立ちレベル 050

『ターボスチームスイッチ 3』

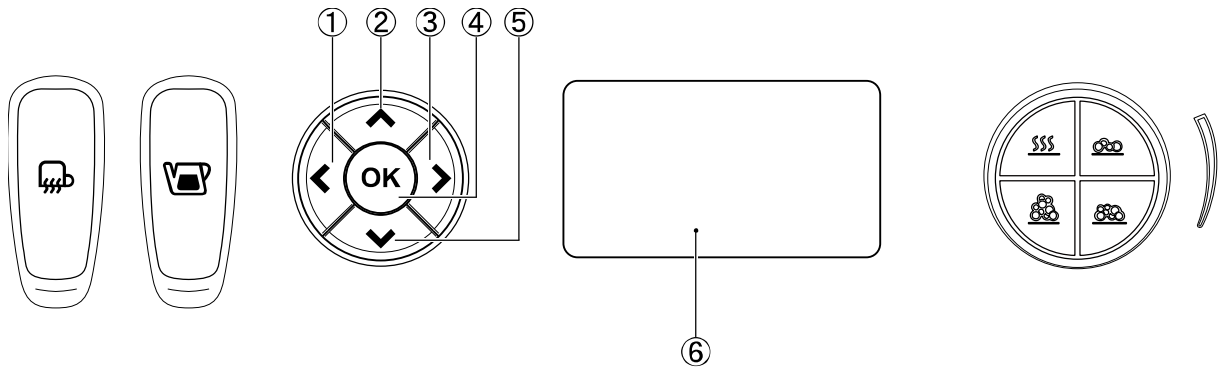
泡立ちレベル 075

『ターボスチームスイッチ 4』

泡立ちレベル 100 (最大値)

『ターボスチームスイッチ 1』～『ターボスチームスイッチ 4』は、ミルクの仕上がり温度と、ミルク泡立ちのボリュームをスイッチごとに設定することが可能です。

## プログラム操作スイッチ



### ① ◀ スイッチ (リセットスイッチ)

プログラムモードを終了する時に使います。  
各設定の変更を中止したい場合に使います。  
通常画面表示時に3秒間長押しすると、  
ボイラータンク圧力表示は、グラフィック  
メーターに切り替わります。  
詳しくは97ページを参照してください。

### ② ▲ スイッチ (プラススイッチ)

各設定をおこなう際、数値を大きくします。  
カーソルを上に移動するときに使います。  
時計を分単位で進めます。

### ③ ▶ スイッチ (プログラムスイッチ)

プログラムモードに入るときや、自動洗浄を  
おこなうとき、抽出杯数を確認したいときに  
使います。  
各プログラム設定時、設定項目を選択する  
ときに使います。

### ④ OKスイッチ

プログラム設定時、数値や設定内容を確定し  
ます。  
通常画面表示時に2秒間長押しすると、省電  
力モードに入ります。  
省電力モードに入ると、ディスプレイのバック  
ライトが消え、「ショウデンリョク モード」  
と表示されます。  
ボイラーの圧力を設定圧力より少し下げて待  
機します。  
省電力モードを解除する場合は、任意のスイ  
ッチを押してください。  
省電力モードを解除してから抽出可能な状態  
に戻るまでの時間は約1分です。  
詳しくは95ページを参照してください。

### ⑤ ▼ スイッチ (マイナススイッチ)

各設定をおこなう際、数値を小さくします。  
カーソルを下に移動するときに使います。  
時計を分単位で戻します。

### ⑥ ディスプレイ

現在の機械の状態を表示します。  
各種のメッセージやプログラムの設定内容を  
表示します。



# 使用前の準備

## 電源を入れる前に

水道栓と浄水器の栓を開いてください。


本機専用電源（漏電遮断機付サーキットブレーカー）を『ON（入）』にしてください。

## カップの保温

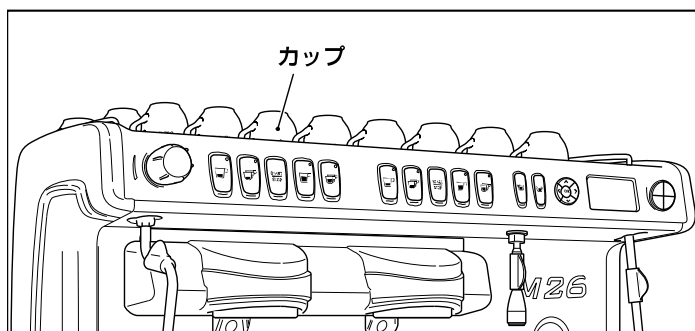
### カップウォーマー部に保温するカップを並べてください

カップウォーマーを利用する場合は、カップウォーマー部にカップを伏せて並べてください。

**注意**



カップウォーマー部にカップを置くときは、カップの水分を十分に拭き取ること  
水分が機械内部に入ると、漏電、ショート、感電の原因になります。



カップウォーマーの温度を変更する場合は、「カップウォーマーの温度設定」（96ページ）を参照して変更してください。

## 電源の入れかた

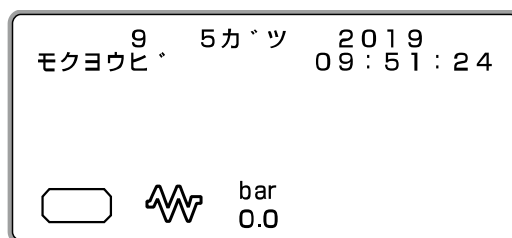
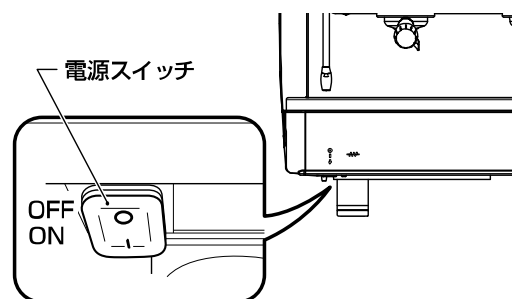
### 1. 電源スイッチを「ON（入）」にしてください

本体左下部にある電源スイッチを「ON（入）」にしてください。

電源スイッチ（緑）とエスプレッソ抽出器奥のランプが点灯します。

電源スイッチを「ON（入）」にしてから約20秒経過すると、ディスプレイに下のような画面が表示され、ウォーミングアップを開始します。


ウォーミングアップとは、本機の電源スイッチを「ON（入）」にしたとき、ボイラータンクへ自動給水し、ボイラータンク内の水を加熱する一連の動作のことです。



ボイラータンク内の水量が減っている場合は自動的に給水が始まり、ディスプレイ左下のボイラータンク水位の状態表示がアニメーション（）で表示されます。



適量範囲まで給水されるとディスプレイ左下のマークが  に変わります。

給水が完了すると、ヒーターに通電され、ボイラータンク内の水を沸かします。

加熱中は、ディスプレイ下に  マークが表示されます。

また、ディスプレイ下の  $\text{bar}$  0.0 の表示と  マークが交互に表示されます。

ボイラーの圧力が高まってくると、 $\text{bar}$  0.0 の数値が上昇します。

ボイラーの圧力が設定圧力（工場出荷設定は1.1 bar）に到達すると、 マークが  に切り替わり、ウォーミングアップ完了です。

ウォーミングアップの完了までに約18分かかります。

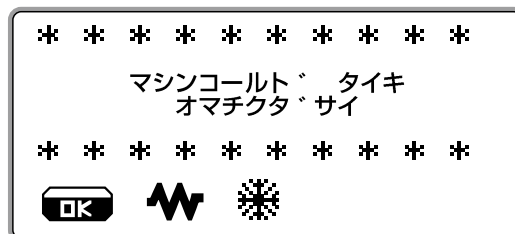
（時間は目安です。水温その他の条件により異なります。）

### メモ

ウォーミングアップ中に、『エスプレッソ抽出スイッチ』、『熱湯取出スイッチ』、『ターボスチームスイッチ』を押しても右のように「マシンコールド タイキ オマチクダサイ」と画面に表示され、動作しません。

ただし、エスプレッソコーヒーの『スタート/ストップスイッチ』を押すと、抽出動作はしますが、ぬるいコーヒーが抽出されます。

ウォーミングアップが完了するまでお待ちください。



### 警告




ディスプレイのボイラータンク圧力の表示が1.6bar以上になるときは電源スイッチを切ること  
ボイラータンク圧力の適正範囲は1.0～1.4barです。

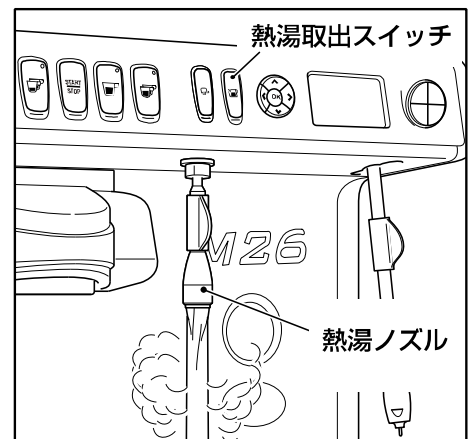
## 2. 熱湯を出して、熱湯ラインに残っている前日のお湯を排出してください

熱湯ノズルを真下に向けてから、『熱湯取出スイッチ』を押して、熱湯を出してください。

設定した時間、熱湯が出て、自動的に止まります。

途中で止めるときは、もう一度『熱湯取出スイッチ』を押すと止まります。

⚠ 注意	
	熱湯を出す場合は、飛び散ることがあるので注意すること やけどする恐れがあります。



### メモ

本機には自動 ON・OFF タイマー機能があります。

設定の方法については、「自動 ON・OFF タイマーと定休日の設定」(68 ページ)を参照してください。

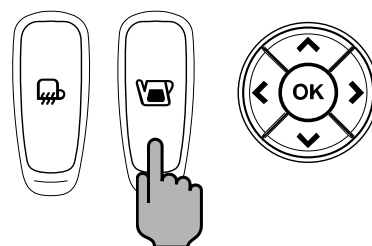
自動 ON・OFF タイマー機能を設定すると、自動 ON の時刻になると電源が入り、ボイラータンクへの給水をおこない、ウォーミングアップ(昇温)をおこなった後、待機の状態になります。

## ボイラータンクの水の入替え機能

ボイラータンク内の約60～70%の水を自動で入れ替えることができます。

ボイラータンク内の水を入れ替える場合は、下記の操作をおこなってください。

ボイラータンクのウォーミングアップ完了後に『熱湯取出スイッチ』を5秒以上長押ししてください。



### メモ

ボイラータンク内の水の入替えは、ウォーミングアップが完了してからおこなってください。

ボイラーの圧力が低下しているときに、ボイラータンク内の水の入替えをおこなうと、水の入替え量は少なくなります。

水の入替え機能が作動し、ディスプレイに「ボイラーハイスイ」と表示されます。

熱湯ノズルから熱湯が出ます。

M26-DT/2(TS)は約3分30秒間、熱湯が出ます。

M26-DT/3(TS)は約5分間、熱湯が出ます。



排水動作開始時は「000%」、「100%」になると排水動作を終了します。

排水中は、ボイラータンクヒーターはOFFとなります。

ボイラータンクの排水を途中で中止したい場合は、『熱湯取出スイッチ』を押すと止まります。

排水動作終了後は、通常状態に復帰するまで、自動で少量給水と昇圧を繰り返します。

水の入替え所用時間は、M26-DT/2(TS)が合計で約12分、M26-DT/3(TS)が合計で約13分です。

(時間は目安です。水温その他の条件により異なります。)

# 各メニューの抽出のしかた

## エスプレッソコーヒーの抽出のしかた

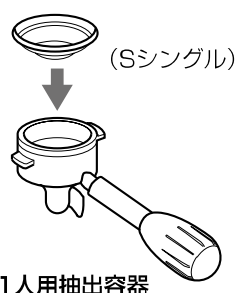
抽出のしかたは、1連目、2連目（M26-DT/3(TS) は3連目を含む）とも同じです

### 1. エスプレッソ抽出容器を温めてください

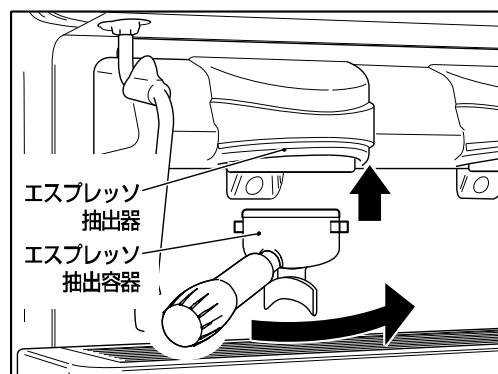
エスプレッソ抽出容器が冷たい状態で抽出をおこなうと、抽出したコーヒーがぬるくなります。

エスプレッソ抽出容器は、エスプレッソフィルターを付けた状態であらかじめ抽出器にセットしてください。

1人用エスプレッソフィルター



2人用エスプレッソフィルター

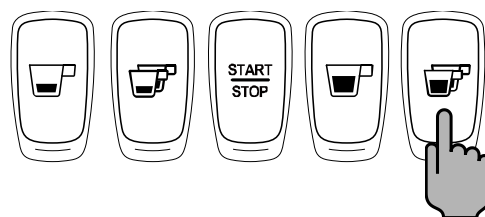


### エスプレッソ抽出容器をすぐに温めたい場合

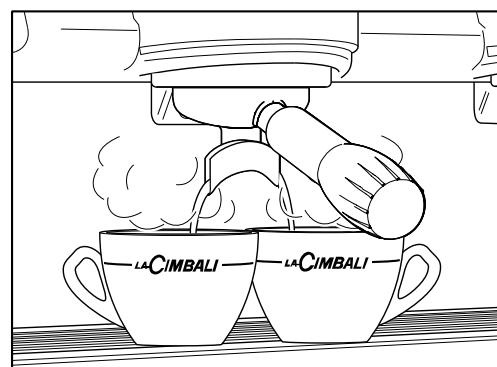
コーヒー粉を入れずに、エスプレッソフィルターを付けたエスプレッソ抽出容器を抽出器にセットしてください。

熱湯の飛び散りを防ぐためエスプレッソ抽出容器の下にカップなどを置いてください。

『エスプレッソ2杯用（大）抽出スイッチ』を押し、熱湯を出してエスプレッソ抽出容器を温めてください。



エスプレッソ抽出容器にコーヒー粉を入れる際、付着した水分を乾いた清潔な布で拭き取ってからコーヒー粉を入れてください。



2杯取りの抽出容器を温める場合

### ⚠ 注意



エスプレッソ抽出器から取り外した直後のエスプレッソ抽出容器は、熱くなっているため取手以外、直接触らないことやけどの原因になります。



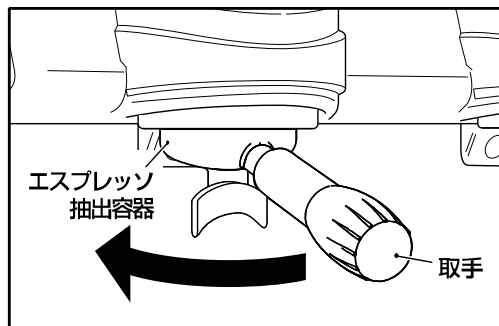
エスプレッソ抽出器から取り外したエスプレッソ抽出容器は、内部に熱湯などが残っていることがありますので手などにかからないように注意すること。手などにかかると、やけどの原因になります。

## 2. コーヒー粉をセットしてください

エスプレッソ抽出容器の取手を持ち、時計方向に回して抽出器から外してください。

**⚠ 注意**

エスプレッソ抽出器から取り外した直後のエスプレッソ抽出容器は、熱くなっているため取手以外、直接触らないことやけどの原因になります。



エスプレッソフィルターの中に抽出杯数に合わせた量のコーヒー粉を入れてください。

	フィルター	コーヒー粉	カップ数
1人分の場合	1人用	7g	1個
2人分の場合	2人用	14g	2個

※ 当社のエスプレッソ専用ミルをご使用いただきますと、定量のコーヒー粉が簡単に取り出せます。

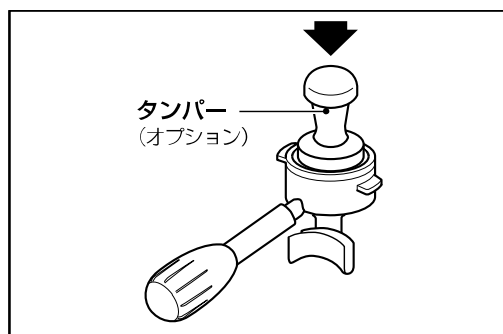


タンパーでコーヒー粉を押さえて、平らにしてください。  
(タンパーはオプションをご用意しております。)

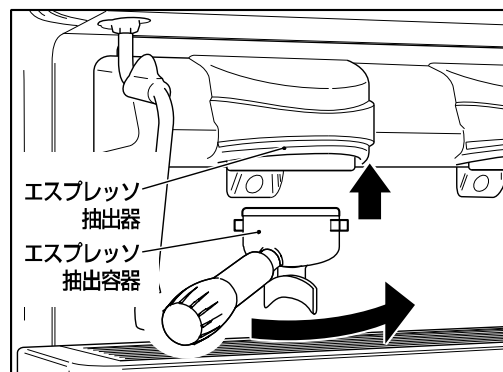
### お願い

このとき、エスプレッソフィルターのふちに付いたコーヒー粉を拭き取ってください。

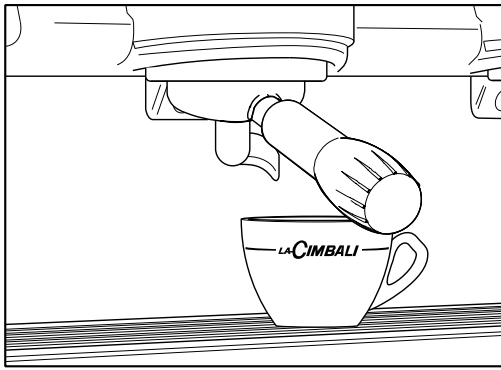
コーヒー粉がホルダーと本体との間に入ると適正な圧力がかからない可能性があります。



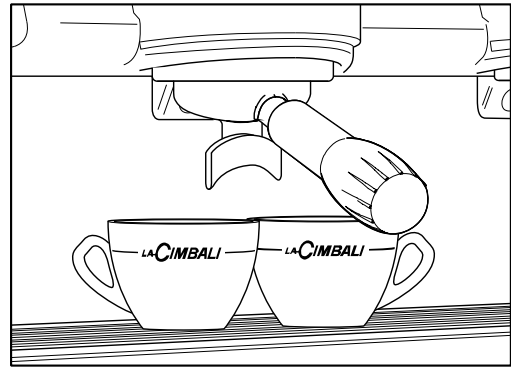
エスプレッソ抽出容器を左約45°の方向から抽出器にはめ込み、エスプレッソ抽出容器の取手が手前(90°)になるぐらいまで右方向に締め込んでください。



### 3. エスプレッソ抽出口の下にカップをセットしてください



1 人用の場合



2 人用の場合

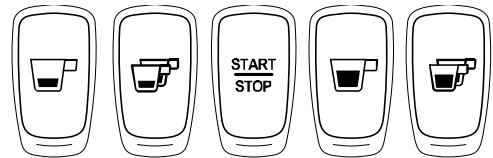
#### ⚠ 警告



エスプレッソコーヒーを抽出する場合は、必ずドレンプレート上にカップを置くこと  
カップを手を持ったままエスプレッソコーヒーを抽出すると、やけどの原因になります。

### 4. エスプレッソ抽出スイッチを押してください

抽出したいエスプレッソ抽出スイッチを押してください。

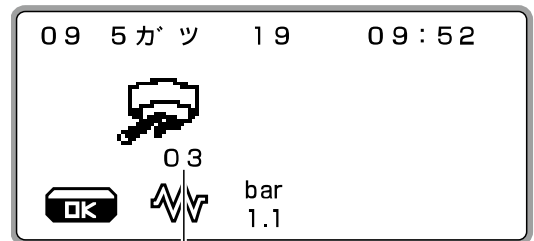


味合わせの際に設定した一定量のエスプレッソコーヒーが抽出され、自動的に止まります。

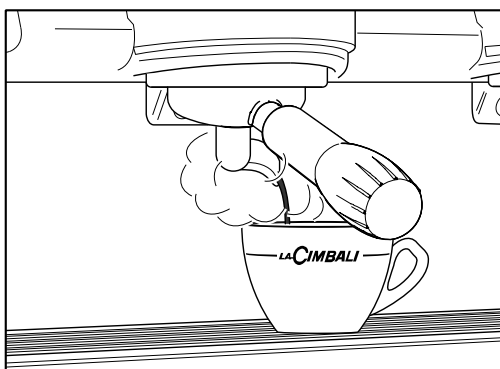
エスプレッソ抽出中、ディスプレイには右のようにエスプレッソ抽出器のイラストが表示されます。

エスプレッソ抽出器のイラストの下に表示されている数値は、エスプレッソコーヒーを抽出している時間をカウントします。

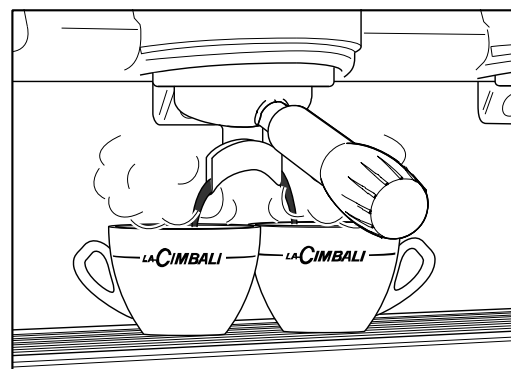
(右図は、一連目だけの抽出をおこなったときの表示です。)



抽出時間のカウント〈一連目〉



1 人用の場合



2 人用の場合

途中で抽出を止めたい場合は、抽出中の『エスプレッソ抽出スイッチ』、または『スタート/ストップスイッチ』を押してください。

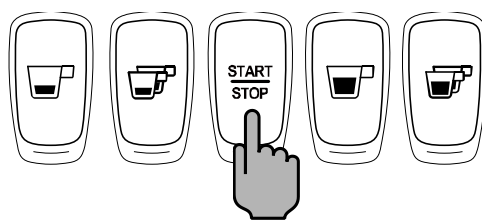
抽出後のエスプレッソ抽出容器のコーヒーカスは、すぐに捨てずに抽出容器の保温のために次の使用時までそのままにしておいてください。

エスプレッソ抽出容器を保温することができます。

## 任意の量のコーヒーを抽出する場合

コーヒー粉をセットして『スタート/ストップスイッチ』を押すとエスプレッソコーヒーの抽出が始まります。

好みの量のエスプレッソコーヒーが出たら、もう一度『スタート/ストップスイッチ』を押して抽出を止めてください。

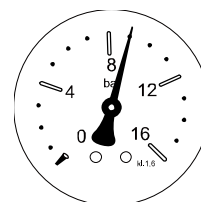


### メモ

エスプレッソ抽出時のポンプ圧力計は約9~10barになります。

本体右部にあるポンプ圧力計を確認してください。

ポンプ圧が9~10bar 付近にならない場合は、お買上げ店にご連絡ください。

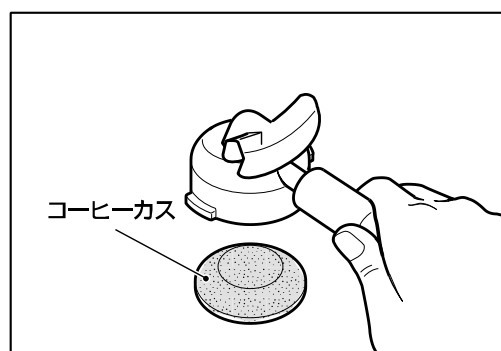


## 5. 次の抽出をする場合は、コーヒーカスを捨ててください

エスプレッソ抽出容器を取り外し、コーヒーカスを捨ててください。

**⚠ 注意**

エスプレッソ抽出器から取り外した直後のエスプレッソ抽出容器は、熱くなっているため取手以外、直接触らないことやけどの原因になります。

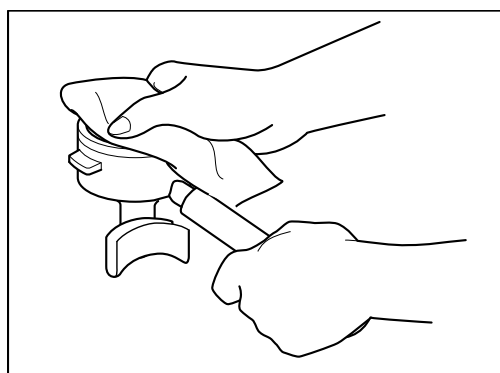


## 6. エスプレッソ抽出容器を清掃してください

エスプレッソ抽出容器に付着したコーヒー粉は、乾いた清潔な布で拭き取るか、付属の洗浄ブラシで取り除いてください。

**⚠ 注意**

エスプレッソ抽出器から取り外したエスプレッソ抽出容器は、内部に熱湯などが残っていることがありますので手などにかからないように注意すること手などにかかると、やけどの原因になります。



## 7. 次の抽出をおこなってください

コーヒー粉をセットして次の抽出をおこなってください。


エスプレッソコーヒーの抽出温度の調整が必要なときは、「エスプレッソコーヒー抽出湯温の調整方法」（37ページ）を参照してください。

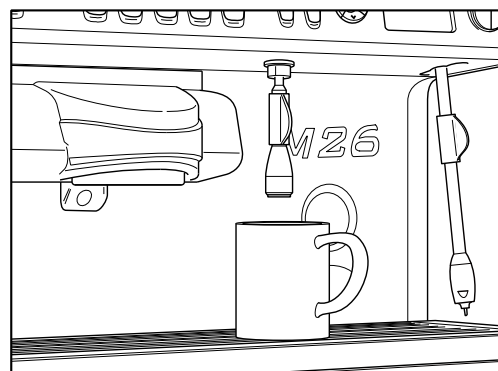


# 熱湯の出しかた

## 1. 熱湯ノズルの下にカップをセットしてください

**警告**

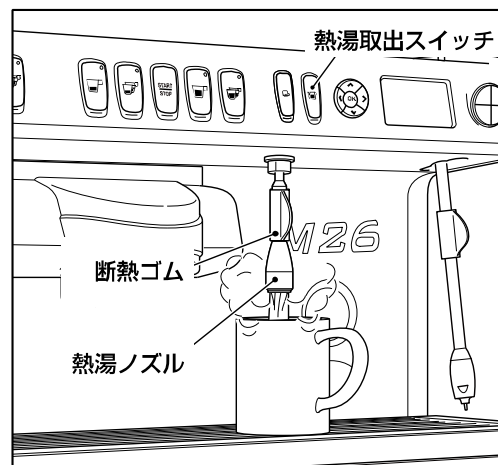
 熱湯を出す場合は、必ずドレンプレート上にカップを置くこと  
カップを手に持ったまま熱湯を出すと、やけどの原因になります。



## 2. 『熱湯取出スイッチ』を押して熱湯を出してください

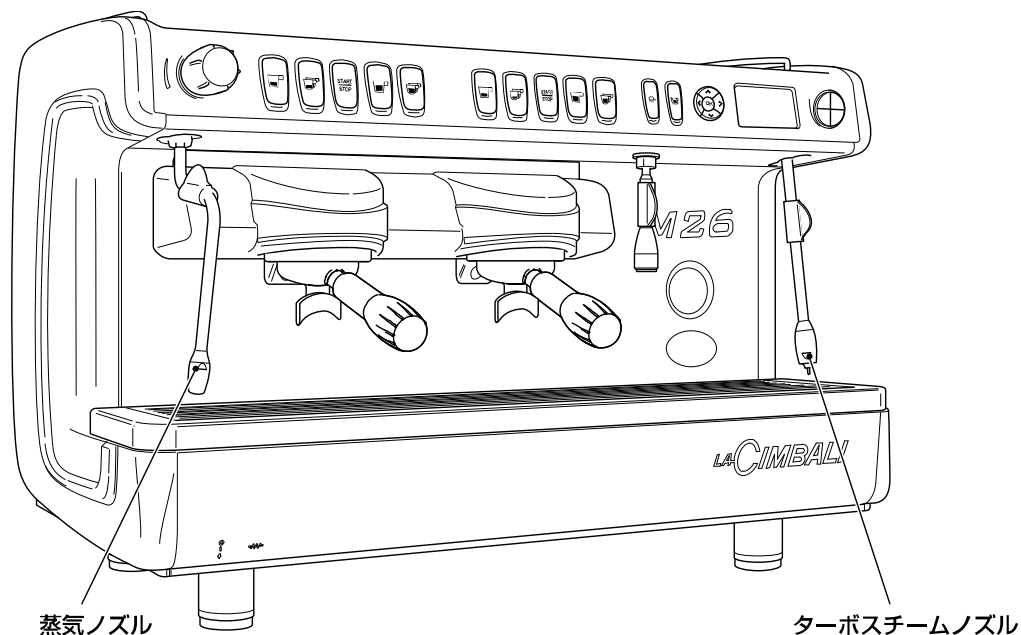
設定した時間、熱湯が出て、自動的に止まります。

途中で止めるときは、もう一度『熱湯取出スイッチ』を押すと止まります。



# 蒸気の使いかた

本機には、2本(種類)の蒸気ノズルが装備されています



蒸気を出すときは以下のことに注意してください

## ⚠ 警告



『ターボスチームスイッチ』および『蒸気栓つまみ』を操作するときは、ターボスチームノズルおよび蒸気ノズルがドレンプレートに向いているか確認すること  
ノズル先端に人の手などがあると、誤って『蒸気栓つまみ』を回したり、『ターボスチームスイッチ』が押された場合、やけどの原因になります。

ターボスチームノズルおよび蒸気ノズルを上げて作業した後は、忘れずに元の位置(ドレンプレートに向ける)に下ろしておくこと  
誤って『蒸気栓つまみ』を回したり、『ターボスチームスイッチ』が押された場合、やけどの原因になります。

蒸気を使って飲料を温めた後は、必ずターボスチームノズルおよび蒸気ノズルを洗浄すること  
洗浄しないと、付着した飲料が腐敗して雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



蒸気ノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接触れないこと  
蒸気ノズルの金属部分に直接触れると、やけどの原因になります。

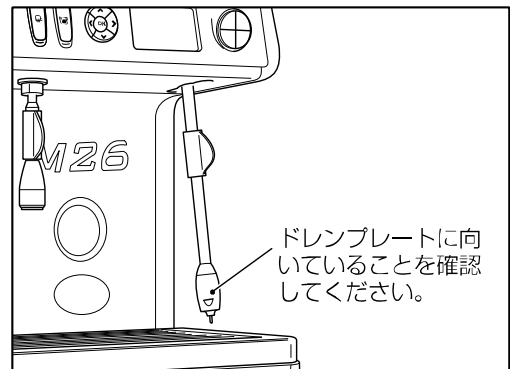
## ターボスチームノズルを使って泡立ちミルクを作る（スチーム+エア）

空気を含んだ蒸気が出る設定になっている『ターボスチームスイッチ』（工場出荷時は『ターボスチームスイッチ2』～『ターボスチームスイッチ4』）を使用します。

各『ターボスチームスイッチ』の工場出荷時の設定温度は250mLのミルク使用時で約65℃にしています。

### 1. 蒸気と空気を出してください

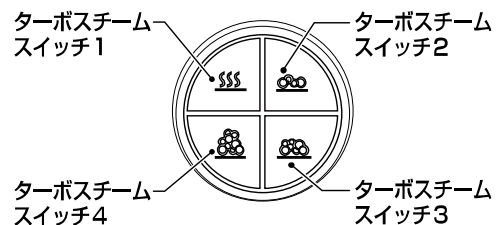
ターボスチームノズルの先がドレンプレートに向いていることを確認してください。



初めにいずれかの『ターボスチームスイッチ』を押して、蒸気配管内にたまった結露水（熱湯）を抜いてください。

**注意**

**!** 蒸気ノズルの蒸気配管内にたまった結露水（熱湯）を抜くときは、熱湯が勢いよく飛び出るので、注意すること。熱湯が手などにかかると、やけどの原因になります。



蒸気が出るようになったら、いずれかの『ターボスチームスイッチ』を押して、蒸気を止めてください。

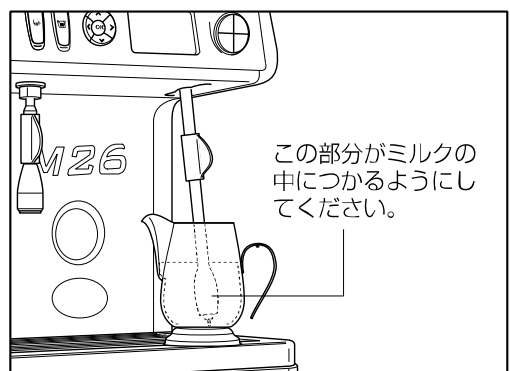
### 2. ミルクを温めてください

ターボスチームノズルの先をミルクの入ったポット等の底まで入れ、ドレンプレートの上に置いてください。

このとき、必ずノズル先端の中心部分がミルクの中につかるようにしてください。

**注意**

**!** 飲料を温めるときの容器は耐熱性のあるものを使用すること。熱で容器が変形や破損した場合など、やけどの原因になります。



## お願い

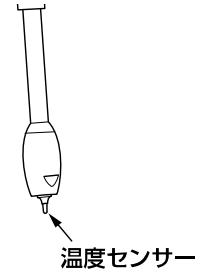
温度センサー部は容器に接触させないでください。

正確な温度を感知できなくなります。

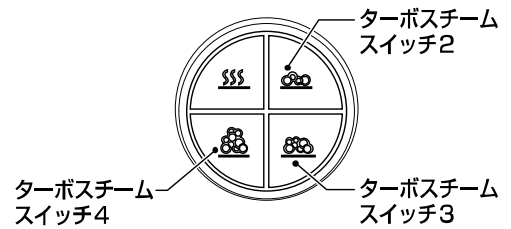
ターボスチームノズルはミルクポットの中心に入れるよりも、中心より外側に入れた方がミルクは泡立ちやすくなります。

良く冷えたミルクを使用してください。

冷えていないミルクを使用すると、早く設定温度に到達してしまうため、空気を十分に取り込めなくなり、ミルクの泡立ちが不十分となります。



『ターボスチームスイッチ2』～『ターボスチームスイッチ4』のいずれかを押し蒸気を出してください。  
空気を含んだ蒸気でミルクを泡立てながら温めます。



工場出荷時の各『ターボスチームスイッチ』の泡立ちレベル設定

『ターボスチームスイッチ1』 泡立ちレベル 000

『ターボスチームスイッチ2』 泡立ちレベル 050

『ターボスチームスイッチ3』 泡立ちレベル 075

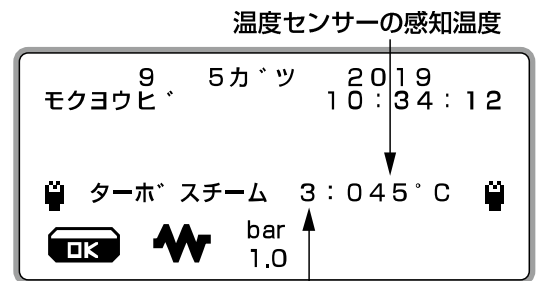
『ターボスチームスイッチ4』 泡立ちレベル 100

泡立ちレベルの設定値は、最小が000、最大が100になります。

泡立ちレベルの数値が大きいほど、ミルクの泡のボリュームが出ます。

『ターボスチームスイッチ1』は、工場出荷時、泡立ちレベル000に設定されていますので、ミルクは泡立たなく温めるだけとなります。

ミルクの温度が20℃以上になるとディスプレイには右のように温度が表示されます。



ターボスチームスイッチの番号

〔温めた飲料の実際の温度は、飲料の量と容器の形状により異なります。〕

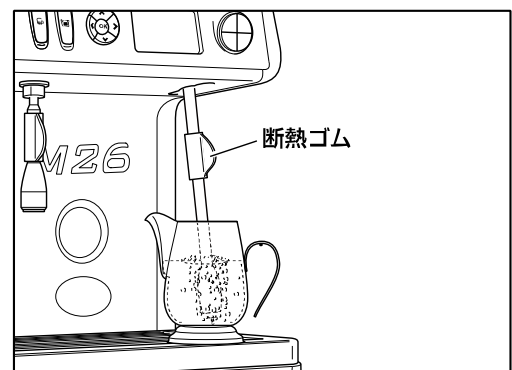
ポット内のミルクが設定した温度（約65℃）になると、自動的に蒸気と空気が止まります。

途中で止めたい場合は、もう一度『ターボスチームスイッチ』を押すと蒸気が止まります。

ノズルの断熱ゴムの部分を持ってターボスチームノズルをポットから出してください。

このとき、ポットの取手をしっかり持って、落としたり、たおしたりしないようにしてください。

ミルクの泡の細かさを変えたい場合は、「ターボスチームのエアー量の調整方法」（34ページ）を参照してください。



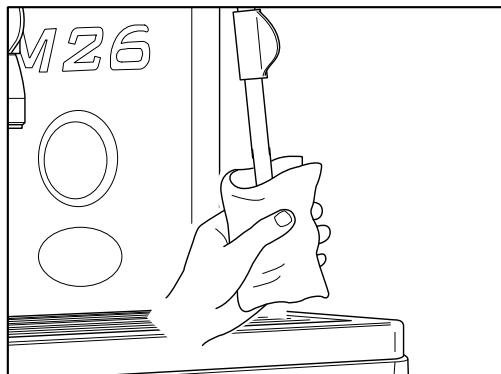
### 3. ターボスチームノズルを清掃してください

ノズル表面に付着したミルクを清潔な布で拭き取ってください。

#### ⚠ 警告

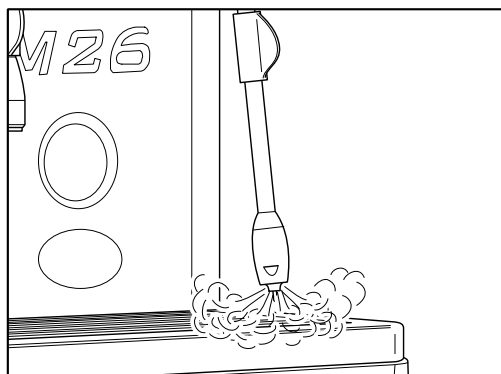


蒸気を使って飲料を温めた後は、必ず蒸気ノズルを洗淨すること  
洗淨しないと、付着した飲料が腐敗して雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



『ターボスチームスイッチ』を押して、ノズル内に付着したミルクを除去してください。

温度センサー部の温度が設定温度以上に達していても、5秒間は蒸気と空気が出ます。



#### お願い

上記のターボスチームノズルの清掃のほか、営業中に随時、水を使ってターボスチームノズルを洗淨してください。

ノズル内に残ったミルクの成分が固まると、ノズル内が詰まり故障の原因になります。

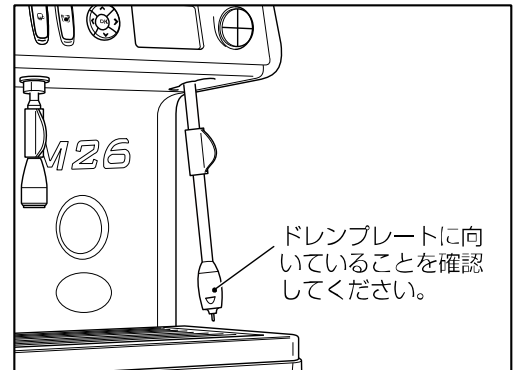
洗淨方法については、「蒸気ノズル、ターボスチームノズルの洗淨」（40 ページ）を参照してください。

## ターボスチームノズルを使って飲料を温める（スチーム）

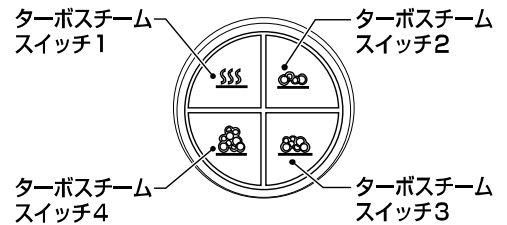
空気の入らない設定になっている『ターボスチームスイッチ』（工場出荷時は『ターボスチームスイッチ1』）を使用します。

### 1. 蒸気を出してください

ターボスチームノズルの先がドレンプレートに向いていることを確認してください。



初めに、いずれかの『ターボスチームスイッチ』を押して、蒸気配管内にたまった結露水（熱湯）を抜いてください。



#### ⚠ 注意



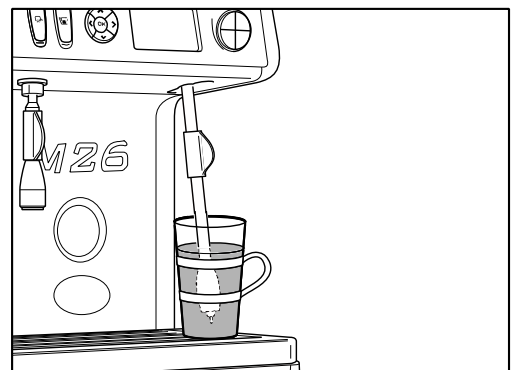
蒸気ノズルの蒸気配管内にたまった結露水（熱湯）を抜くときは、熱湯が勢いよく飛び出るので、注意すること。熱湯が手などにかかりますと、やけどの原因になります。

蒸気が出るようになったら、いずれかの『ターボスチームスイッチ』を押して、蒸気を止めてください。

### 2. 飲料を温めてください

ターボスチームノズルの先を飲料の入ったコップの底まで入れ、ドレンプレートの上に置いてください。

このとき、必ずノズル先端の中心部分が飲料の中にかかるようにしてください。



#### ⚠ 注意

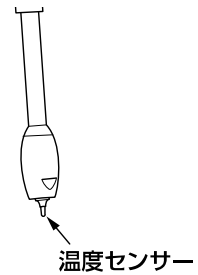


飲料を温めるときの容器は耐熱性のあるものを使用すること。熱で容器が変形や破損した場合など、やけどの原因になります。

## お願い

ターボスチームノズル先端の温度センサー部は容器に接触させないでください。

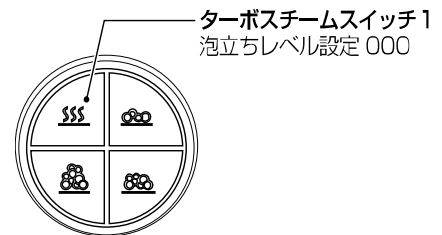
正確な温度を感知できなくなります。



泡立ちレベル設定が000の『ターボスチームスイッチ1』を押してください。

蒸気で飲料を温めます。

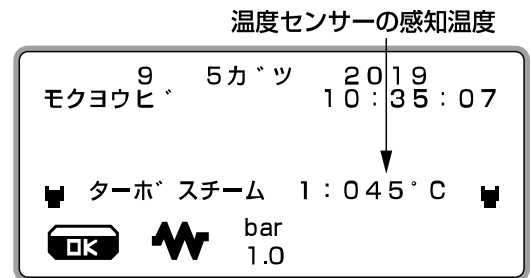
飲料を温めている途中、空気を含んだ蒸気が多少でます。



飲料の温度が20℃以上になるとディスプレイには右のように温度が表示されます。

コップ内の飲料が設定した温度(約65℃)になったら、自動的に蒸気が止まります。

途中で止めたい場合は、もう一度『ターボスチームスイッチ』を押すと蒸気が止まります。



(温めた飲料の実際の温度は、飲料の量と容器の形状により異なります。)

ノズルの断熱ゴムの部分を持ってターボスチームノズルをコップから出してください。

このとき、コップの取手をしっかり持って、落としたり、たおしたりしないようにしてください。



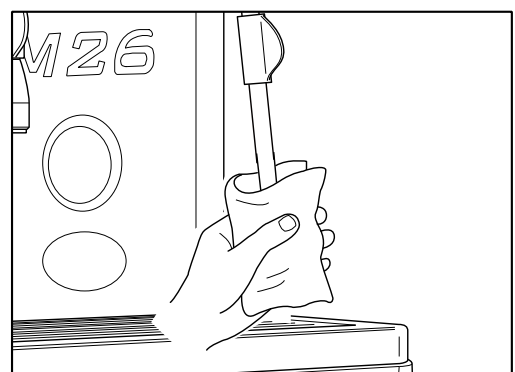
### 3. ターボスチームノズルを清掃してください

ノズル表面に付着した飲料を清潔な布で拭き取ってください。

#### 警告

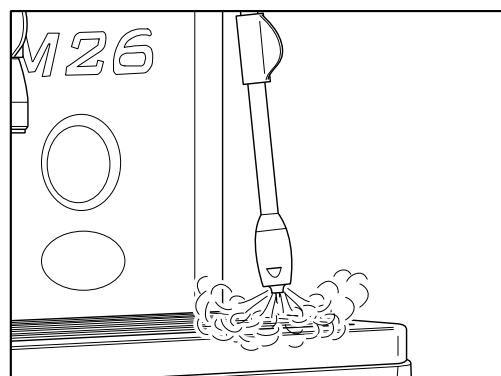


蒸気を使って飲料を温めた後は、必ず蒸気ノズルを洗浄すること  
洗浄しないと、付着した飲料が腐敗して雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



『ターボスチームスイッチ』を押して、ノズル内に付着した飲料を除去してください。

温度センサー部の温度が設定温度以上に達していても、5秒間は蒸気がでます。



### お願い

上記のターボスチームノズルの清掃のほか、営業中に随時、水を使ってターボスチームノズルを洗浄してください。

ノズル内に残った飲料が固まると、ノズル内が詰まり、故障の原因になります。

洗浄方法については、「**蒸気ノズル、ターボスチームノズルの洗浄**」(40 ページ)を参照してください。



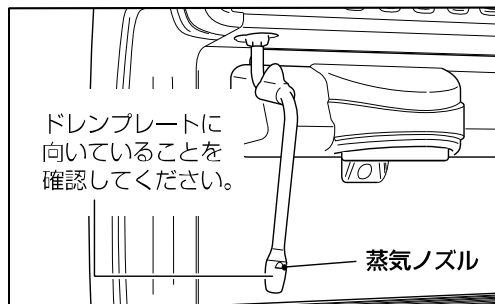
## 蒸気ノズルを使って飲料を温める

『蒸気栓つまみ』を操作します。

### 1. 蒸気を出してください

蒸気ノズルの先がドレンプレートに向いていることを確認してください。

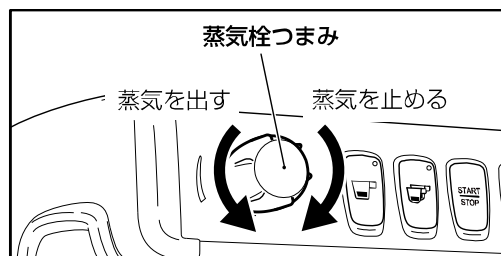
初めに『蒸気栓つまみ』を反時計方向に回して蒸気配管内の結露水（熱湯）を抜いてください。



**⚠ 注意**

**!** 蒸気ノズルの蒸気配管内にたまった結露水（熱湯）を抜くときは、熱湯が勢よく飛び出るので、注意すること。熱湯が手などにかかると、やけどの原因になります。

蒸気が出るようになったら、いったん『蒸気栓つまみ』を時計方向に回して蒸気を止めてください。



### 2. 飲料を温めてください

蒸気ノズルの先を飲料の入ったコップの底まで入れ、ドレンプレートの上に置いてください。

**⚠ 注意**

**!** 飲料を温めるときの容器は耐熱性のあるものを使用すること。熱で容器が変形や破損した場合など、やけどの原因になります。

『蒸気栓つまみ』を反時計方向に回して蒸気を出してください。

素手でコップにかかると触れながら、お好みの温度になるまで温まりましたら、『蒸気栓つまみ』を時計方向に回して蒸気を止めてください。

蒸気ノズルの断熱ゴムの部分を持って蒸気ノズルをコップから出してください。

このとき、コップの取手をしっかり持って、落としたり、たおしたりしないようにしてください。



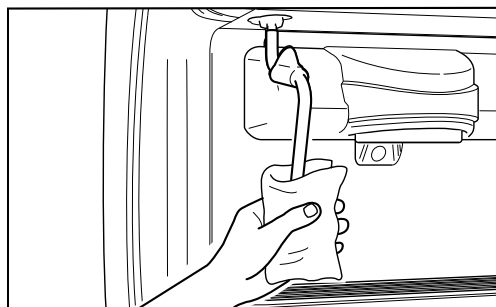
### 3. 蒸気ノズルを清掃してください

蒸気ノズル表面に付着した飲料を清潔な布で拭き取ってください。

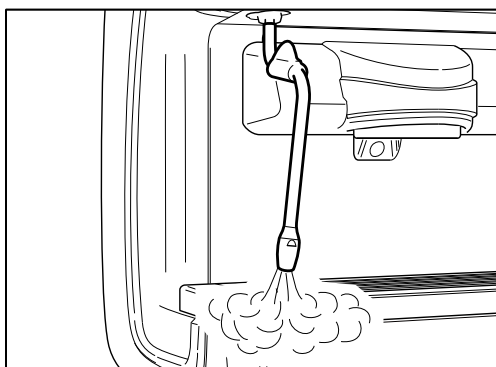
#### ⚠ 警告



蒸気を使って飲料を温めた後は、必ず蒸気ノズルを洗浄すること  
洗浄しないと、付着した飲料が腐敗して雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



もう一度、蒸気を出してノズル内に付着した飲料を除去してください。



#### お願い

上記の蒸気ノズルの清掃のほか、営業中に随時、水を使って蒸気ノズルを洗浄してください。  
ノズル内に残った飲料が固まると、ノズル内が詰まり、故障の原因になります。

洗浄方法については、「蒸気ノズル、ターボスチームノズルの洗浄」(40 ページ)を参照してください。

## 泡立ちミルクのつくりかたの例（蒸気ノズルを使用する場合）

〈ポイント〉

ミルクポットは上部がすぼまっているものを使用します。

ミルクはよく冷えているものを使用します。

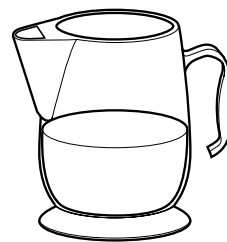
温度は手のひらで覚えるか温度計を用います。

### 1. ミルクポットによく冷えたミルクを入れてください

半杯分多めに入れてください。

1杯→1.5杯

2杯→2.5杯



### 2. 蒸気を出してください

「蒸気ノズルを使って飲料を温める」（31ページ）の手順「1.」と同様にしてください。

### 3. 蒸気ノズルの先端をミルクの表面より少し（3～5mm）中に入れ蒸気栓つまみを全開にしてください

蒸気栓つまみを全開にしないとミルクに空気を取り入れることができず、ミルクが泡立ちません。

蒸気の勢いで水面が少しへこみ、蒸気ノズルとミルクの間に隙間ができ、そこから空気が吸い込まれます。

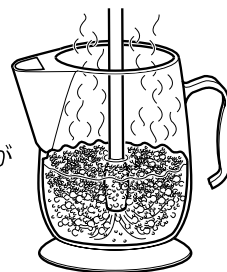
（4秒前後／2杯分）



### 4. 空気を抱き込んだら、蒸気ノズルの頭をミルクの中に完全に入れ、蒸気で攪拌してください

このとき、含んだ空気を蒸気が細かく分解します。

ノズルの頭が  
隠れる程度



### 5. 63～66℃になったら、蒸気栓つまみを閉じてください

素手でかかるとミルクポットに触れ、熱くて触れられないくらいの温度になったら出来上がりです。

ミルクポットから蒸気ノズルを抜いてください。



### 6. この段階ではミルク内に大きな泡を含んでいますので、ミルクポットを回し、テーブルなどにミルクポットの底を「コンコン」と当てて、大きな泡を消してください

### 7. 泡立ちミルクをつくった後は、「蒸気ノズルを使って飲料を温める」（31ページ）の手順「3.」と同様に蒸気ノズルを清掃してください

# ターボスチームのエアームの調整方法

本機内部にあるエアバルブを調整することにより、ミルクの泡の細かさを調整することができます。

## 1. 電源スイッチを「OFF(切)」にし、本機専用電源を「OFF(切)」にしてください

### 警告



ターボスチームのエアームの調整は、必ず本機の主電源スイッチを「OFF(切)」にし、本機専用電源を「OFF(切)」にしてからおこなうこと  
本機専用電源が「ON(入)」になっている状態で、本機内部の電気部品に触れた場合、やけどや感電の原因になります。

## 2. 天板部のカップテーブルにカップを乗せている場合は、すべて取り除いてください

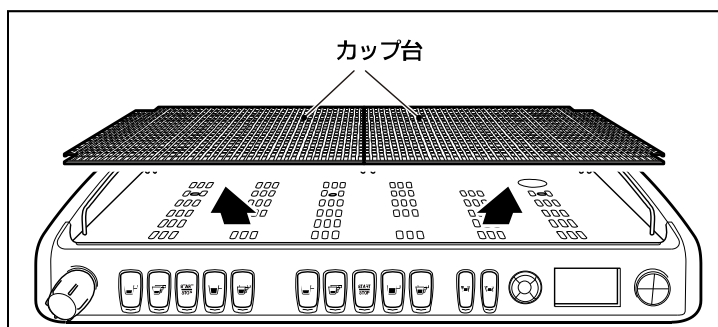
## 3. カップテーブルのカップ台を取り外してください

電源スイッチを「OFF(切)」にした直後は、まだカップテーブル(天板)とその周辺は熱くなっています。温度が下がるまで待ってから、カップ台を取り外してください。  
カップ台は、M26-DT/2(TS)が2枚、M26-DT/3(TS)が3枚あります。

### 注意



使用直後、カップウォーマー周辺は熱くなっているため、カップウォーマーに触る場合は、冷めるのを待ってから触ること  
冷めていない状態で触ると、やけどの原因になります。

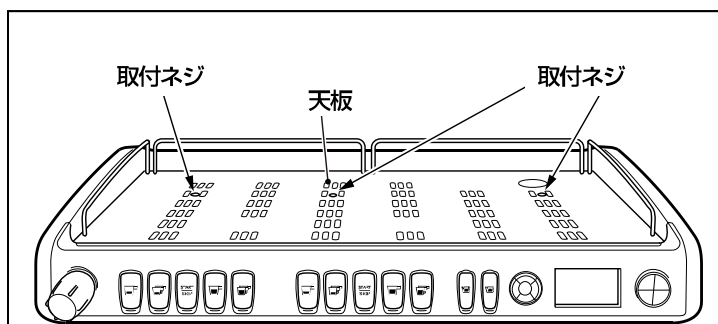


## 4. 天板を取り外してください

プラスドライバーで天板の取付ネジを取り外してください。  
取付ネジは、3本あります。

### お願い

天板の取付ネジを本機内部に落とさないようにしてください。



天板の手前側を上を開いてください。

### ⚠ 注意



使用直後、天板裏にあるヒーターは熱くなっているため、ターボスチームのエアー量の調整をおこなう際は、触らないようにすること  
ヒーターが熱い状態で触れると、やけどの原因になります。

### お願い

天板は、配線がつながっている状態で取り外さないでください。

天板には、ヒーターの配線がつながれているため、無理に取り外すと断線の原因になります。

## 5. エアー量調整つまみを固定しているナットを緩めてください

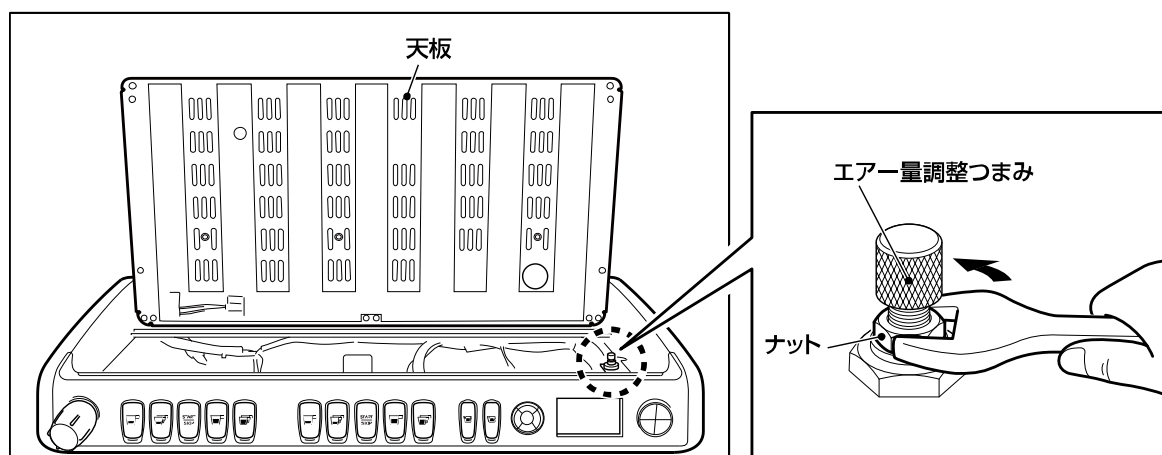
エア量調整つまみ側の小さい方のナットを対辺9mmのスパナなどの工具を使って緩めてください。

下図を参考に矢印の方向にナットを回すと緩みます。

### ⚠ 注意



使用直後、本機内部のタンクや配管は熱くなっているため、ターボスチームのエア量調整をおこなう際は、触らないこと  
熱い状態で触れると、やけどの原因になります。

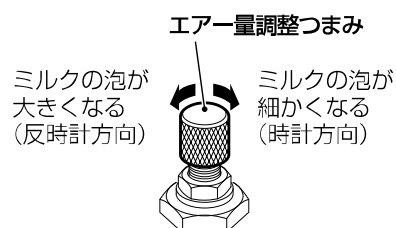


## 6. エアー量調整つまみを回してエア量を調整してください

上から見て、時計方向に回すと、ミルクの泡は小さくなります。

上から見て、反時計方向に回すと、ミルクの泡は大きくなります。

調整つまみは1/8回転させるだけでミルクの泡立ち方は変わります。

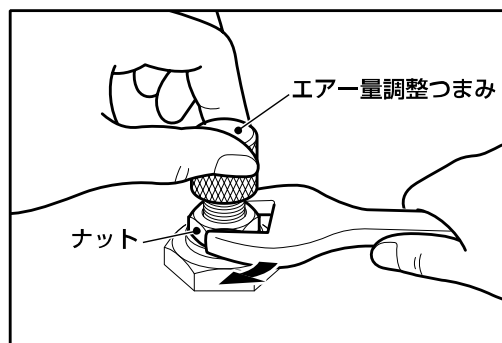


## お願い

エア量調整つまみは、閉め過ぎないようにしてください。  
目安として、手で軽く閉め切った位置から半回転以上開けた位置にしてください。  
開き量が少ないと、エアバルブが詰まりやすくなり、故障の原因になります。

## 7. エア量の調整が終わりましたら、ナットを締めてエア量調整つまみを固定してください

エア量調整つまみが動かないように、エア量調整つまみを手で固定しながらナットをスパナなどの工具を使って締めてください。



## 8. 天板を取り付けてください

天板を取付けましたら、天板の取付ネジ3本を取り付けて固定してください。

## 9. 天板の上にカップ台を元通りに取り付けてください

## 10. 本機専用電源を「ON(入)」にし、本機の電源スイッチを「ON(入)」にしてください

1度ターボスチームを使ってミルクを泡立てて見てください。

まだ、調整の必要がある場合は、再度同じ手順でエア量を調整してください。

# エスプレッソコーヒー抽出湯温の調整方法

本体内部のサーモドライブを調整することにより、エスプレッソコーヒーの抽出湯温を調整することができます。

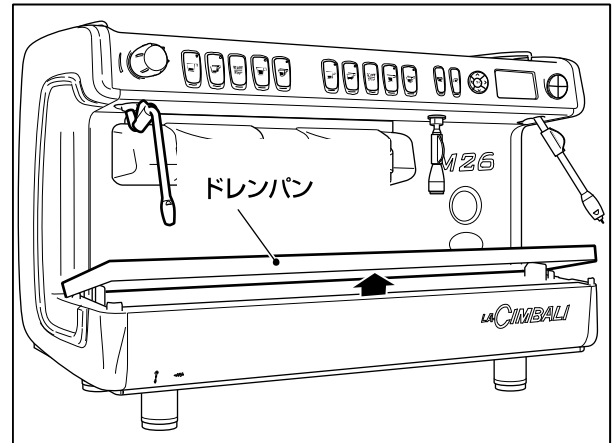
## 1. 電源スイッチを「OFF（切）」にしてください

## 2. ドレンパンを取り外してください

エスプレッソ抽出器からエスプレッソ抽出容器を取り外し、蒸気ノズルとターボスチームノズルを上まで上げてください。

ドレンパンを取り外してください。

ドレンパンの手前側を持ち上げ、斜めにした状態でドレンパンを本体から取り外してください。




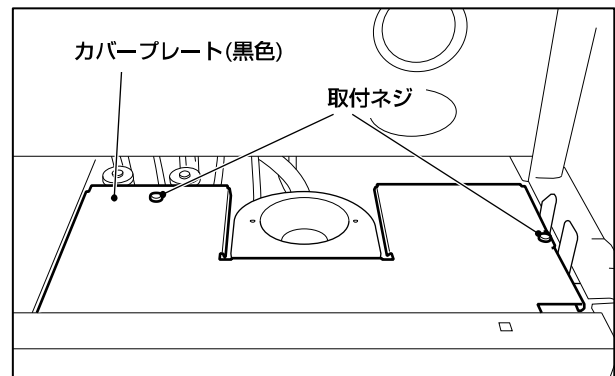
## 3. マシン右下のカバープレート(黒色)を取り外してください

プラスドライバーを使ってカバープレート(黒色)の取付ネジ2本を取り外してください。

カバープレートを取り外してください。

**警告**

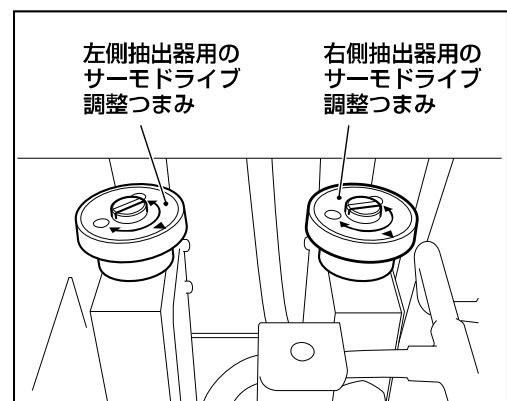
 ドレンパン下の左側の透明プラスチックカバーは絶対に取り外さないこと  
主電源スイッチを「OFF(切)」にしても誤って電圧200V端子に触れた場合、感電します。



## 4. サーモドライブを調整してください

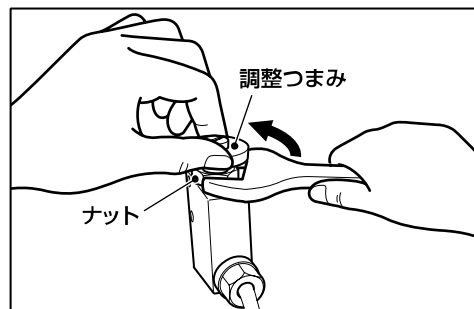
サーモドライブはエスプレッソコーヒー抽出用の熱湯に混合する水量を調整するバルブです。

サーモドライブはエスプレッソ抽出器ごとに取付いており、左側抽出器用のサーモドライブは左側というように並んでいます。



サーモドライブ調整つまみは、M26-DT/2(TS)が2箇所、M26-DT/3(TS)が3箇所あります。図はM26-DT/2(TS)です。

調整つまみを固定しているナット(対辺16mm)を  
スパナなどの工具を使って緩めてください。

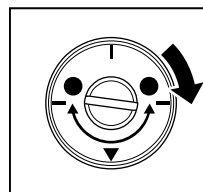


調整つまみを回転させることでエスプレッソコー  
ヒー抽出湯温を調整することができます。

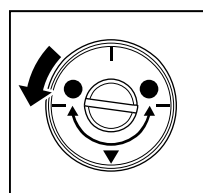
上から見て時計方向に回す → エスプレッソコー  
ヒー抽出湯温は高くなります

上から見て反時計方向に回す → エスプレッソ  
コーヒー抽出湯温は低くなります

初めて調整するときは、調整つまみは約1/4周  
回転させてください。



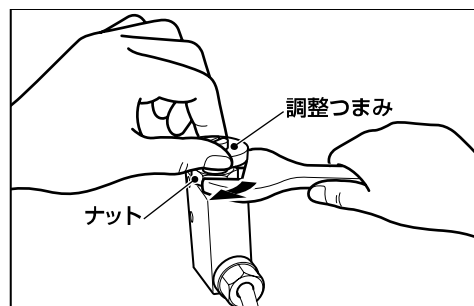
エスプレッソコーヒー  
抽出湯温が高くなる



エスプレッソコーヒー  
抽出湯温が低くなる

## 5. 調整が終了しましたら、ナットを締めて調整つまみを固定してください

調整つまみが動かないように、調整つまみを手  
で固定しながらナットを締めてください。



## 6. カバープレート（黒色）を本体に元通りに取り付けてください

## 7. ドレンパン（ドレンプレートが付いた状態）を本体に元どおりに取り付けてください

## 8. 電源スイッチをONにしてコーヒーの抽出温度を確認してください

エスプレッソコーヒーを抽出して温度を確認してください。

エスプレッソコーヒーの抽出温度がお好みに合わない場合は、再度1～8の作業をおこなって調整して  
ください。

調整が完了しましたら、蒸気ノズルとターボスチームノズルをドレンプレートに向けてください。



# 洗浄、清掃のしかた

## 洗浄と清掃の一覧

本機は、必ず以下の洗浄と清掃をおこなう必要があります

洗浄と清掃をしないと、機械内部に残ったコーヒーやミルクが腐敗し雑菌が繁殖して、健康障害の原因になります

機械の故障や抽出されるコーヒーの品質が一定しない原因にもなります

営業中に随時 おこなってください	蒸気ノズル、ターボスチームノズルの洗浄 (40・41ページ参照)
終業時に毎日 おこなってください	エスプレッソ抽出器の洗浄 (42～53ページ参照) エスプレッソ抽出器の洗浄には、手動洗浄と自動洗浄があります。 いずれかの方法で必ず洗浄をおこなってください。 手動洗浄 (42～44ページ参照) 自動洗浄 (45～54ページ参照) タイマー機能の「センジョウ」で洗浄時刻を設定している場合、洗浄時刻になると、アラーム音とディスプレイへの表示でお知らせします。 洗浄時刻を設定するには、「プログラムの設定について」の「洗浄時刻の設定」(73ページ)を参照してください。 蒸気ノズル、ターボスチームノズルの洗浄 (55・56ページ参照) 熱湯ノズルの洗浄 (57ページ参照) ドレンプレート、ドレンパンの洗浄 (57・58ページ参照)
週に2～3回 おこなってください	蒸気ノズル、ターボスチームノズル先端の洗浄 (59・60ページ参照) 本体外装の清掃 (60ページ参照) 排水口バスケットの洗浄 (61ページ参照)

# 営業中に随時おこなってください


## 蒸気ノズル、ターボスチームノズルの洗浄

ミルク等の飲料を蒸気ノズル、またはターボスチームノズルを使用して温めたときは、使用したノズルを洗浄してください。

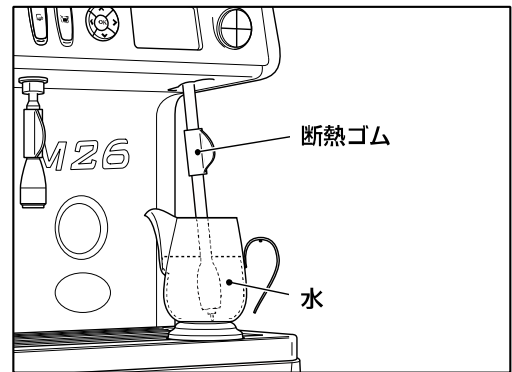
### 1. 蒸気ノズルおよびターボスチームノズルの洗浄の準備をしてください

蒸気ノズルまたはターボスチームノズルの先を約300mLの水を入れた取手付の容器（耐熱性）の底まで入れて、ドレンプレートの上に置いてください。

**⚠ 注意**



飲料を温めるときの容器は耐熱性のあるものを使用すること  
熱で容器が変形や破損した場合など、やけどの原因になります。



図はターボスチームノズル

### 2. 蒸気ノズルおよびターボスチームノズルの洗浄をおこなってください

#### 1) 蒸気を出してください。

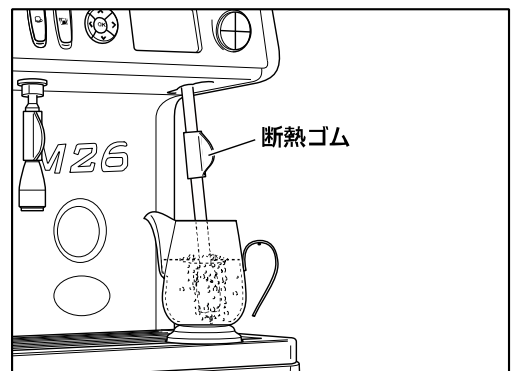
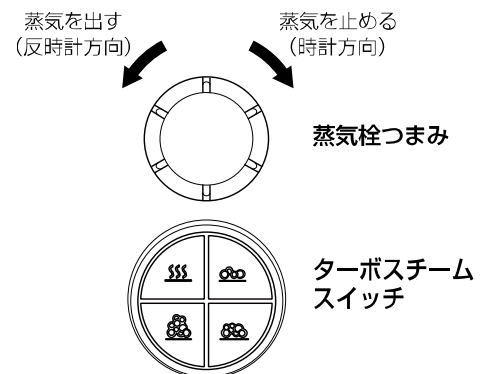
蒸気ノズルは『蒸気栓つまみ』を反時計方向に回し、ターボスチームノズルはいずれかの『ターボスチームスイッチ』を押してください。  
蒸気により、ノズル先端に残った付着物を洗浄します。

#### 2) 蒸気が出始めて10秒程度たったら蒸気を止めてください。

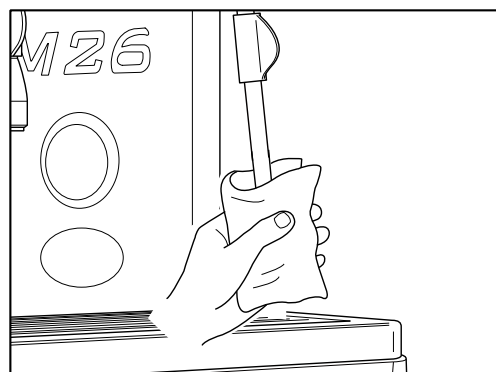
ターボスチームノズルの場合は、設定温度に達すると自動的に蒸気が止まります。

#### 3) ノズルの断熱ゴムの部分を持ってノズルを容器から出してください。


このとき、容器の取手をしっかり持って、落としたり、たおしたりしないようにしてください。

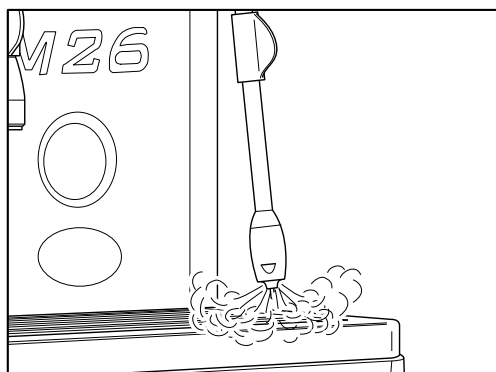


4) ノズル表面を清潔な布などで拭いてください。



5) 蒸気を2秒程出して、ノズル内の水分を除去してください。

⚠ 警告	
	蒸気ノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないことやけどの原因になります。



# 終業時に毎日おこなってください

ここでは、終業時に必ずおこなう洗浄について説明します

終業時の洗浄には、「エスプレッソ抽出器の洗浄」、「蒸気ノズル、ターボスチームノズルの洗浄」、「熱湯ノズルの洗浄」、「ドレンプレート、ドレンパンの洗浄」があります

「エスプレッソ抽出器の洗浄」には、手動洗浄（42～44ページ参照）と、自動洗浄（45～54ページ参照）があります

どちらかの方法を選んで使用したエスプレッソ抽出器の洗浄をおこなってください

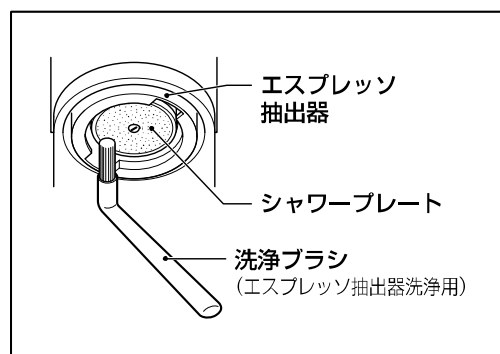
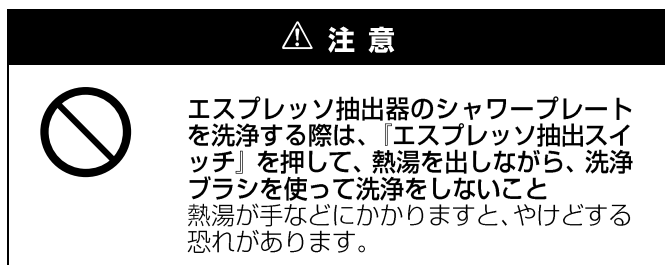
## エスプレッソ抽出器の手動洗浄

### 1. エスプレッソ抽出容器を本体から外してください

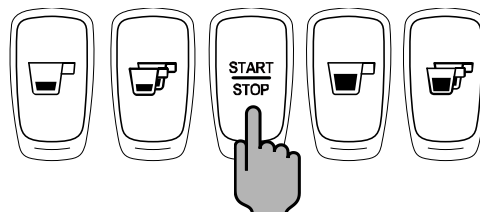
エスプレッソ抽出容器にコーヒーカスが残っていれば捨ててください。

### 2. シャワープレートを予備洗浄してください

- 1) 付属の洗浄ブラシを使ってシャワープレート周辺に付着しているコーヒー粉を取り除いてください。

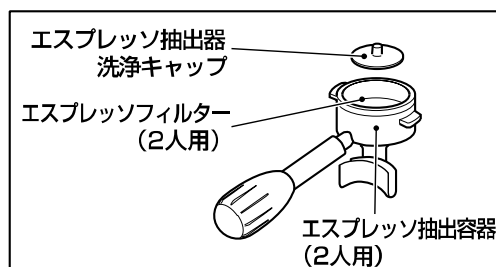


- 2) 『スタート/ストップスイッチ』を押して熱湯を出し、シャワープレート部をすすぎ洗いしてください。  
止めるときは、もう一度『スタート/ストップスイッチ』を押してください。



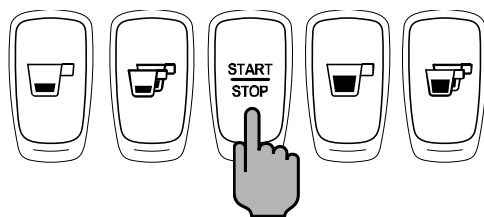
### 3. エスプレッソ抽出器内部を洗浄する準備をしてください

- 1) エスプレッソ抽出容器（2人用）に2人用のエスプレッソフィルターをセットしてください。
- 2) エスプレッソフィルターの中に、付属のエスプレッソ抽出器洗浄キャップをセットしてください。
- 3) 洗浄漂白剤「バブルクリーン」約4g（お手持ちのティースプーン山盛り1杯）を洗浄キャップの上に入れてください。



#### 4. エスプレッソ抽出器内部を洗浄してください

- 1) 洗浄漂白剤を入れたエスプレッソ抽出容器をエスプレッソ抽出器にセットしてください。
- 2) 『スタート/ストップスイッチ』を押して熱湯を出してください。
- 3) 約5秒たったら、再度『スタート/ストップスイッチ』を押して熱湯を止めてください。  
抽出された熱湯がエスプレッソ抽出器内部に逆流して、洗浄漂白剤でコーヒー粉やアクを取り除きます。



- 4) エスプレッソ抽出器内に残った洗浄漂白剤の成分を洗い流すために『スタート/ストップスイッチ』を押して約5秒間すすぎ洗いをしてください。

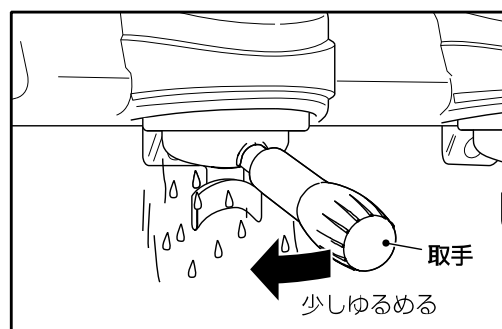
止めるときは、もう一度『スタート/ストップスイッチ』を押してください。

すすぎ洗いは、洗剤成分が完全になくなるまで5~6回繰り返し熱湯を出しておこなってください。

- 5) エスプレッソ抽出容器を少しゆるめて、同様に『スタート/ストップスイッチ』を押して十分に抽出器側のすすぎ洗いをしてください。

エスプレッソ抽出容器を少しゆるめることで、パッキンについたコーヒー粉を洗い流すことができます。

このとき、エスプレッソ抽出容器が落ちないように、取手を手で持っておいてください。



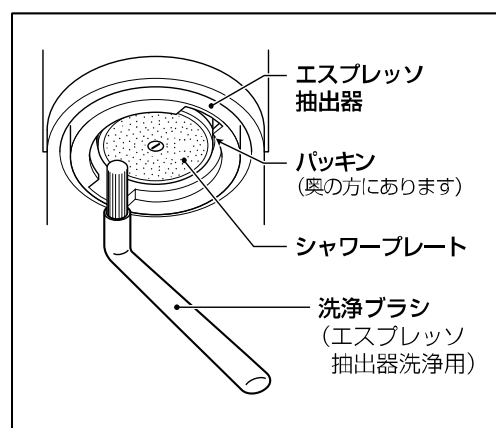
#### ⚠ 注意



洗浄漂白剤を使用して洗浄をおこなった後は、必ずすすぎ洗いすること  
すすぎ洗いをおこなわないと漂白剤成分が残り、健康障害の原因になります。

#### 5. エスプレッソ抽出器内のシャワープレート部を洗浄してください

- 1) エスプレッソ抽出容器を本体から外してください。
- 2) エスプレッソ抽出器のシャワープレート、パッキンおよび周辺を付属の洗浄ブラシを使って洗ってください。



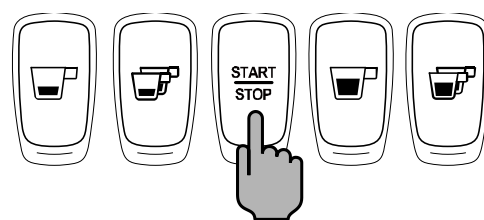
#### ⚠ 注意




エスプレッソ抽出器のシャワープレート  
を洗浄する際は、『エスプレッソ抽出スイッチ』を押して、熱湯を出しながら、洗浄  
ブラシを使って洗浄をしないこと  
熱湯が手などにかかると、やけどする  
恐れがあります。

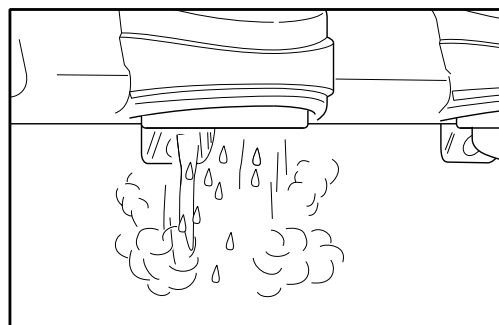
- 3) 『スタート/ストップスイッチ』を押して熱湯を出し、十分にすすぎ洗いをしてください。

止めるときは、もう一度『スタート/ストップスイッチ』を押してください。



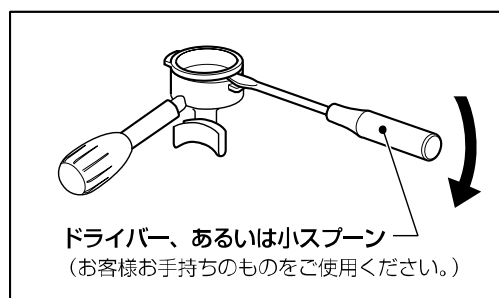
**⚠ 注意**

 エスプレッソ抽出器をすすぐときは、熱湯が飛び散るので、十分注意すること。熱湯がかかりますと、やけどの原因になります。



## 6. エスプレッソ抽出容器と各部品を洗浄してください

- 1) エスプレッソ抽出容器からエスプレッソ抽出器洗浄キャップ、エスプレッソフィルターを外してください。  
(エスプレッソフィルターが固くて外れにくい場合は、右図のようにドライバーなどを使って外してください。)



- 2) エスプレッソ抽出容器、エスプレッソフィルター、エスプレッソ抽出器洗浄キャップをお手持ちの食器用中性洗剤を入れたぬるま湯で洗い流してください。

- 3) 洗浄後は、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

- 4) 乾いた清潔な布で水分を拭き取ってください。

- 5) 空気乾燥させてください。

- 6) 蒸気ノズル、ターボスチームノズルを洗浄してください。  
「蒸気ノズル、ターボスチームノズルの洗浄」(55ページ)を参照してください。

## エスプレッソ抽出器の自動洗浄

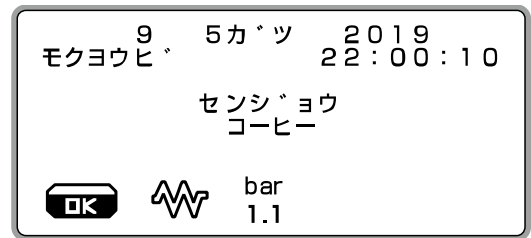
プログラム設定の「センジョウ」で洗浄時刻を設定している場合、洗浄時刻になると、ディスプレイに「センジョウ コーヒー」と表示され、「ピッピッ」というアラーム音が鳴ってお知らせします。洗浄時刻になりましたら、エスプレッソ抽出器の自動洗浄をおこなってください。

洗浄時刻を22:00に設定している場合、画面には右のように表示されます。

この表示とアラーム音は、エスプレッソ抽出器の自動洗浄をおこなうまで1時間続きます。

1時間以内に自動洗浄がおこなわれなかった場合、「センジョウ コーヒー」の表示とアラーム音は消えます。

(自動洗浄が完了するまで、「センジョウ コーヒー」の表示とアラーム音を出し続ける設定に変更することができます。設定の変更を希望される場合は、お買上げ店にご連絡ください。)



洗浄は、すべてのエスプレッソ抽出器を同時に洗浄するか、1連目から順番に洗浄するかを選択することができます。

1連目から順番におこなう自動洗浄を選択した場合は、自動洗浄中以外のエスプレッソ抽出器を使ってコーヒーを抽出することができます。

洗浄時刻の設定方法については、「洗浄時刻の設定」(73ページ)を参照してください。

洗浄時刻を設定していなくても、エスプレッソ抽出器の自動洗浄をおこなうことが可能です。

洗浄時刻設定以外に自動洗浄をおこなう場合は51ページを参照してください。

設定した洗浄時刻になる前に任意で自動洗浄をおこなっても、洗浄時刻になるとこの表示が出ます。

1時間経過するとこの表示は消えますが、表示をすぐに解除したい場合は、洗浄漂白剤「バブルクリーン」を使用しないで、お湯のみの自動洗浄をおこなってください。

### メモ

洗浄時刻を設定していないとき、または洗浄時刻を設定していても洗浄メッセージが表示されていないときに自動洗浄をおこなう場合、下記の3つの洗浄方法から選択することができます。

- ・全エスプレッソ抽出器を同時に洗浄
- ・1連目から順番にエスプレッソ抽出器を洗浄
- ・洗浄したいエスプレッソ抽出器を選択して洗浄(複数選択不可)

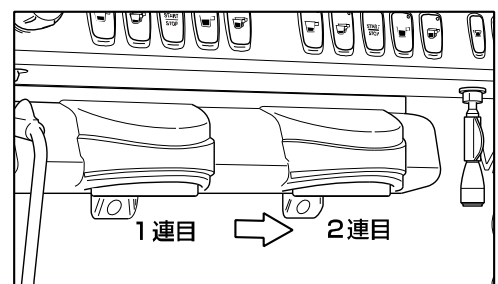
詳しくは51ページを参照してください。

## 1. 自動洗浄をおこなうエスプレッソ抽出器より、エスプレッソ抽出容器を取り外してください

洗浄をおこなうエスプレッソ抽出容器(2人用)を水できれいにすすぎ洗いしてください。

### メモ

1連目から順番にエスプレッソ抽出器を洗浄する場合は、洗浄は左のエスプレッソ抽出器から順におこなわれます。(右図参照)



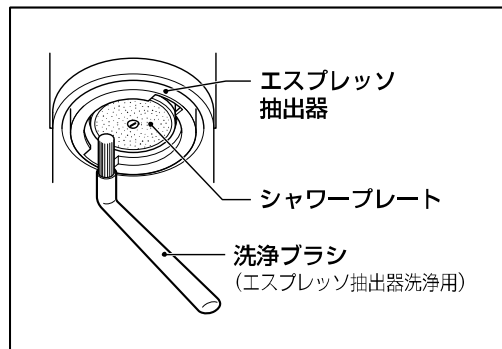
図は M26-DT/2(TS)

## 2. シャワープレートを予備洗浄してください

- 1) 付属の洗浄ブラシを使ってシャワープレート周辺に付着しているコーヒー粉を取り除いてください。

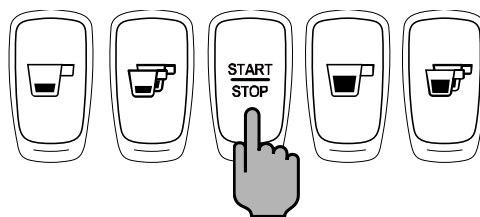
**⚠ 注意**

エスプレッソ抽出器をすすぐときは、熱湯が飛び散るので、十分注意すること  
熱湯がかかりますと、やけどの原因になります。



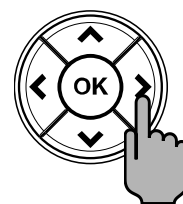
- 2) 操作パネルの『スタート/ストップスイッチ』を押して熱湯を出し、シャワープレート部をすすぎ洗いしてください。

止めるときはもう一度『スタート/ストップスイッチ』を押してください。

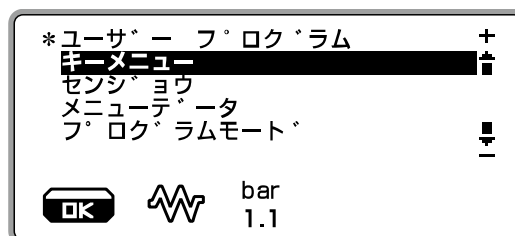


## 3. 洗浄方法を選択してください

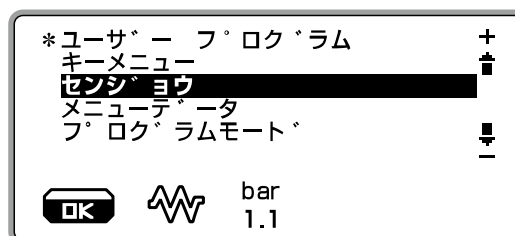
『▶ スイッチ』を押してください。



右のような画面が表示されます。



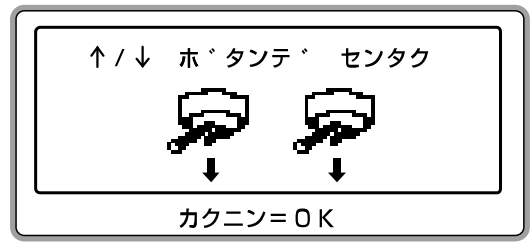
『▲ スイッチ』、または『▼ スイッチ』を押して「センジョウ」を選択し、『▶ スイッチ』を押してください。



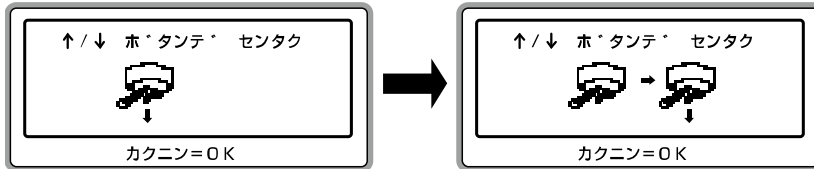


右のような画面が表示されます。

『▲スイッチ』、または『▼スイッチ』を押すと、すべてのエスプレッソ抽出器を同時に洗浄するか（右図）、1連目から順番に洗浄するか（下図）を選択する画面が交互に表示されます。



すべてのエスプレッソ抽出器を同時に洗浄する場合



1連目から順番に洗浄する場合  
(画面表示がアニメーションで変わります)

ご希望の洗浄方法の画面を表示させて、操作パネルの『OKスイッチ』を押してください。

洗浄方法の選択をキャンセルして通常の画面に戻す場合は、『◀スイッチ』を押してください。



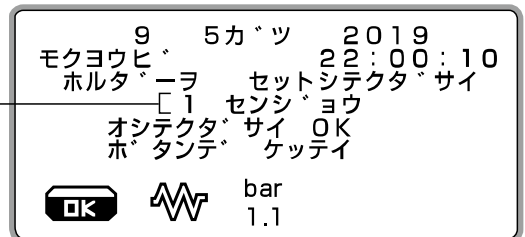
選択した洗浄方法によって、ディスプレイには右のように表示されます。

同時洗浄の場合はすべてのエスプレッソ抽出器に、1連目から順番に洗浄をおこなう場合は洗浄するエスプレッソ抽出器に、自動洗浄の準備をしてください。



すべてのエスプレッソ抽出器を同時に洗浄する場合

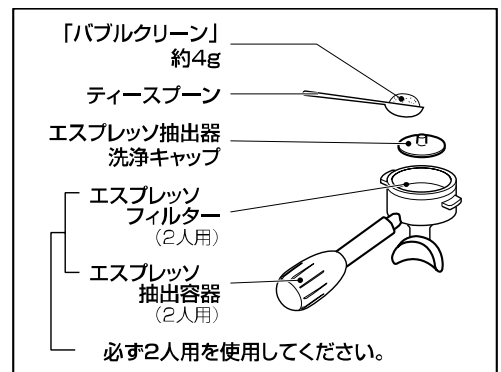
1連目の洗浄を  
あらわしています



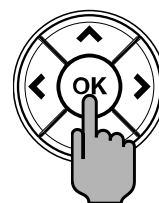
1連目から順番に洗浄する場合

#### 4. 自動洗浄をおこなってください

- 1) エスプレッソ抽出容器2人用（エスプレッソフィルターをセットしたまま）に、エスプレッソ抽出器洗浄キャップをセットしてください。
- 2) 洗浄漂白剤「バブルクリーン」約4g（お手持ちのティースプーン山盛り1杯）を洗浄キャップの上に入れてください。
- 3) エスプレッソ抽出容器をエスプレッソ抽出器に取り付けてください。



4) 操作パネルの『OKスイッチ』を押してください。

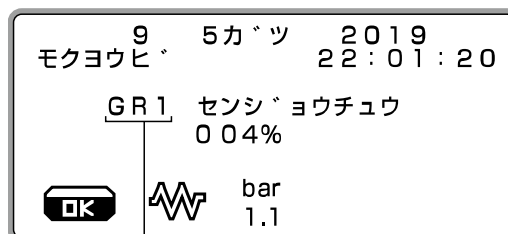


自動洗浄が始まり、ディスプレイには右のように表示されます。

洗浄には約3分30秒かかります。

**メモ**

自動洗浄はボイラータンク圧力が設定圧力（標準は 1.1 bar）に到達していないと始まりません。ボイラー圧力が低下している場合は、ボイラー圧力が回復すると自動的に洗浄を始めます。

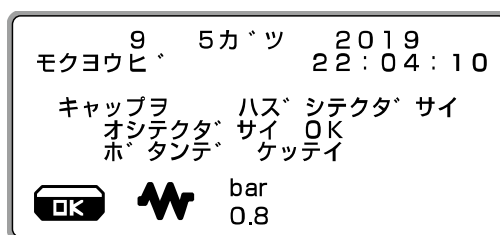


「1連目」を表しています。

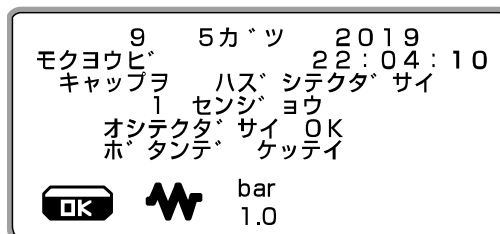
### 5. すすぎ洗いをおこなってください

洗浄が終了すると、ディスプレイには右のように表示されます。

- 1) エスプレッソ抽出容器を外し、洗浄キャップを取り外してください。
- 2) 再度エスプレッソ抽出容器を取り付けてください。



すべてのエスプレッソ抽出器を同時に洗浄した場合

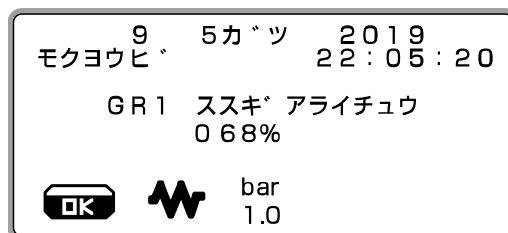
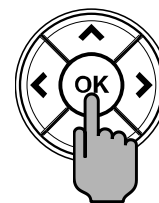


1連目から順番に洗浄をおこない、1連目の洗浄が終了した場合

3) 操作パネルの『OKスイッチ』を押してください。

すすぎ洗いが始まり、ディスプレイには右のように表示されます。

すすぎ洗いには約1分30秒かかります。

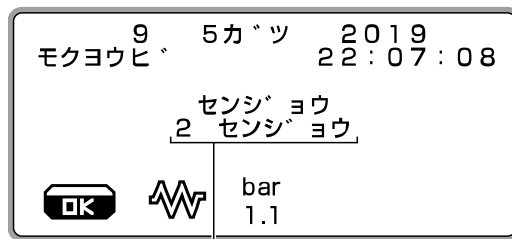


1 連目から順番に洗浄を選択している場合は、すすぎ洗いが完了すると、ディスプレイには右のように表示されます。

同様の手順で、2連目のエスプレッソ抽出器の自動洗浄をおこなってください。

**メモ**

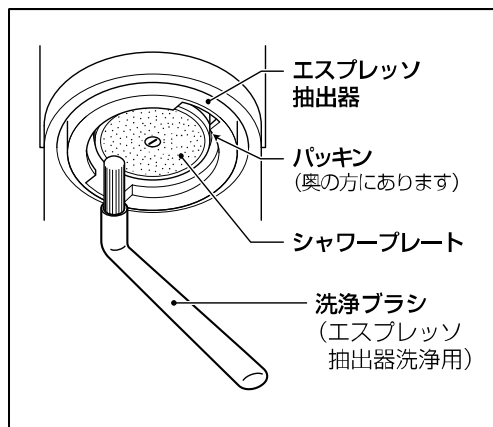
営業中、使用しなかったエスプレッソ抽出器は、洗剤を使用せずに、お湯だけの洗浄をおこなってください。



「2連目」を洗浄することを意味しています。

## 6. シャワープレートを洗浄してください

- 1) エスプレッソ抽出容器を本体から外してください。
- 2) エスプレッソ抽出器のシャワープレート、パッキンおよび周辺を付属の洗浄ブラシを使って洗ってください。

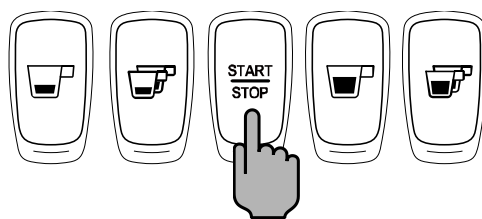


**注意**

エスプレッソ抽出器のシャワープレートを洗浄する際は、『エスプレッソ抽出スイッチ』を押して、熱湯を出しながら、洗浄ブラシを使って洗浄をしないこと  
熱湯が手などにかかると、やけどする恐れがあります。

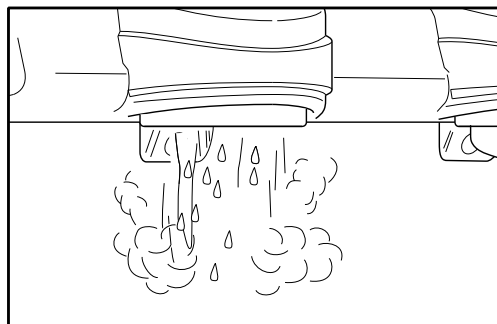
- 3) 操作パネルの『スタート/ストップスイッチ』を押して熱湯を出し、シャワープレート部をすすぎ洗いしてください。

止めるときは、もう一度『スタート/ストップスイッチ』を押してください。



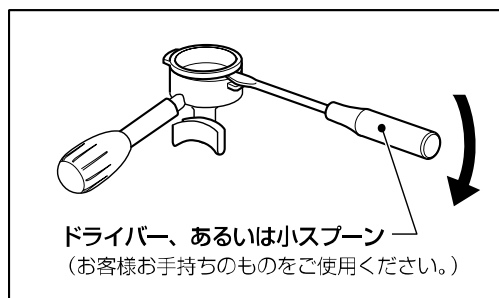
**注意**

エスプレッソ抽出器をすすぐときは、熱湯が飛び散るので、十分注意すること  
熱湯がかかると、やけどの原因になります。



## 7. エスプレッソ抽出容器と各部品を洗浄してください

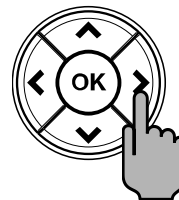
- 1) エスプレッソ抽出容器からエスプレッソ抽出器洗浄キャップ、エスプレッソフィルターを外してください。  
(エスプレッソフィルターが固くて外れにくい場合は、右図のようにドライバーなどを使って外してください。)
- 2) エスプレッソ抽出容器、エスプレッソフィルター、エスプレッソ抽出器洗浄キャップをお手持ちの食器用中性洗剤を入れたぬるま湯でていねいに洗ってください。
- 3) すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。
- 4) 乾いた清潔な布で水分を拭き取ってください。
- 5) 空気乾燥させてください。
- 6) 蒸気ノズル、ターボスチームノズルを洗浄してください。  
「蒸気ノズル、ターボスチームノズルの洗浄」(55ページ)を参照してください。



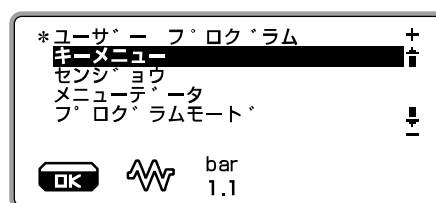
## 洗浄時刻を設定していない場合のエスプレッソ抽出器の自動洗浄方法について

エスプレッソ抽出器は、終業時に毎日洗浄をおこなってください。  
洗浄を怠りますと、機械の故障や抽出されるコーヒーの品質や量が一定しない原因になります。  
また、機械内部に残ったコーヒーが腐敗すると、雑菌が繁殖して、健康障害の原因にもなります。

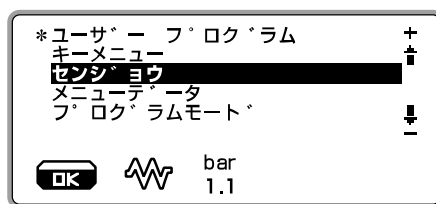
洗浄時刻を設定していない、または洗浄時刻を設定していても洗浄メッセージ「センジョウ コーヒー」が表示されていないときに自動洗浄をおこなう場合は、下記の手順で、自動洗浄を開始してください。  
操作パネルの『➤ スイッチ』を押してください。



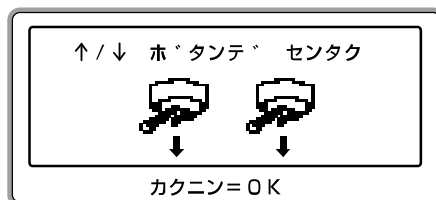
「ユーザープログラム」の画面が表示されます。



『▲ スイッチ』、または『▼ スイッチ』を押して「センジョウ」を選択し、『➤ スイッチ』を押してください。



自動洗浄方法の選択画面が表示されます。  
(最初に表示される画面は、全エスプレッソ抽出器を同時に洗浄する場合の選択画面です。)



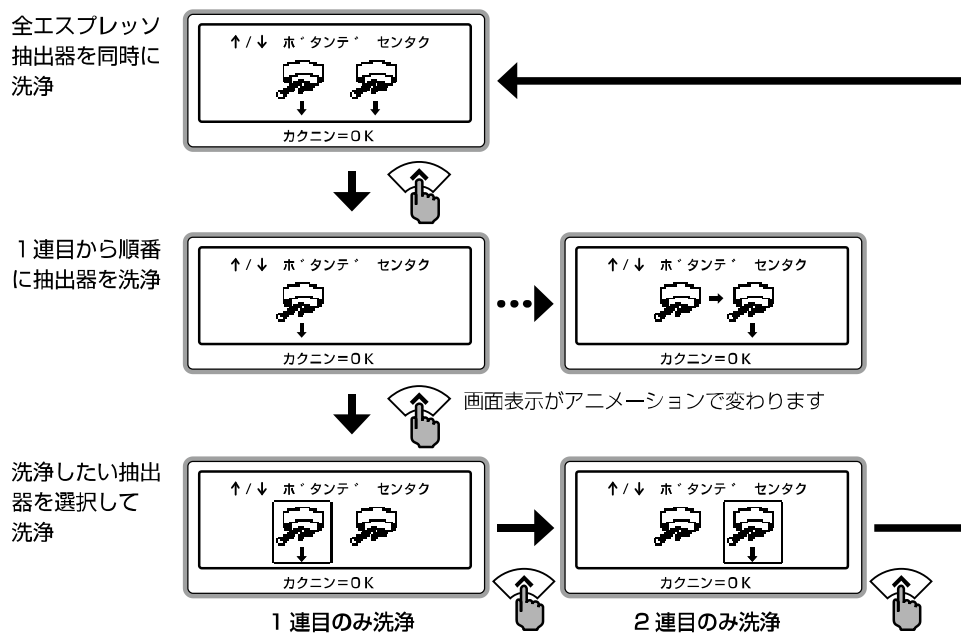
自動洗浄の方法には次の3つがあります。

- ・全エスプレッソ抽出器を同時に洗浄
- ・1連目から順番に抽出器を洗浄
- ・洗浄したい抽出器を選択して洗浄（複数選択不可）

全エスプレッソ抽出器を同時に洗浄したい場合は、上の画面（全エスプレッソ抽出器を同時に洗浄の画面）表示時に、操作パネルの『OKスイッチ』を押してください。

他の自動洗浄方法を選択したい場合は、『**▲** スイッチ』、または、『**▼** スイッチ』を押して、お好みの自動洗浄方法が表示されましたら、『OKスイッチ』を押してください。  
選択した自動洗浄が始まります。

**【洗浄方法の選択画面】**



洗浄方法の選択画面をキャンセルして通常画面に戻りたい場合は、『**◀** スイッチ』を押してください。

## エスプレッソ抽出器の自動洗浄中に電源が落ちた場合の注意事項

自動洗浄中に停電が起きた、または洗浄中に誤って電源スイッチを「OFF（切）」にしてしまったなどの理由で電源が停止した場合、洗浄は正しく終了しません。

途中で電源が切れた場合、改めて洗浄漂白剤「バブルクリーン」をセットして自動洗浄をやり直してください。

自動洗浄をやり直さないと、エスプレッソコーヒーの抽出はできなくなります。

### メモ

自動洗浄の開始は、洗浄方法を選択した後、「ホルダーヲ セットシテクダサイ」と表示された時点になります。

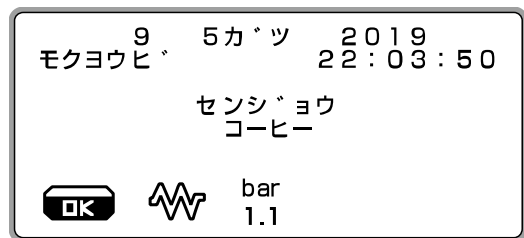
### 警告



自動洗浄中に停電が起きた、または洗浄中に誤って電源スイッチを「OFF（切）」にしてしまったなどの理由で電源が停止した場合、電源を「ON（入）」にしたあと、必ず改めて洗浄漂白剤「バブルクリーン」をセットして自動洗浄をやり直すこと  
自動洗浄をやり直さないで、エスプレッソコーヒーを抽出した場合、コーヒーに洗浄剤の成分が混ざり健康障害の原因になります。

プログラム設定モードで自動洗浄時刻を設定しており、自動洗浄を促すメッセージの表示後、すべてのエスプレッソ抽出器の同時洗浄を開始し、洗浄途中で電源が切れた場合

- 再度電源を「ON（入）」にした後、約1分後に自動洗浄を促すメッセージが表示されます。  
改めて洗浄漂白剤「バブルクリーン」をセットして自動洗浄をやり直してください。



プログラム設定モードで自動洗浄時刻を設定しており、自動洗浄を促すメッセージの表示後、1連目のエスプレッソ抽出器から順番におこなう洗浄を開始し、洗浄途中で電源が切れた場合

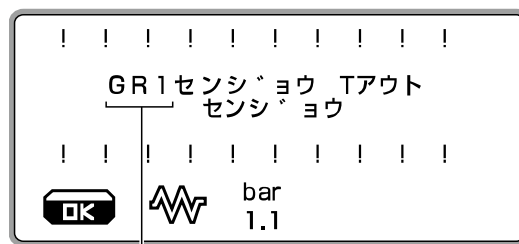
- 再度電源を「ON（入）」にした後、約1分後に自動洗浄を促すメッセージが表示されます。  
「ユーザープログラム」に入ってから、「センシヨウ」に入り、1連目のエスプレッソ抽出容器から順番におこなう洗浄を選択すると、洗浄途中のエスプレッソ抽出器の洗浄を促すメッセージが表示されます。  
洗浄途中のエスプレッソ抽出容器に改めて洗浄漂白剤「バブルクリーン」をセットして自動洗浄をやり直してください。

自動洗浄を促すメッセージが表示されていない時に、自動洗浄を実施し、洗浄途中で電源が切れた場合

- 再度電源を「ON（入）」にしても、自動洗浄メッセージは表示されません。  
初めから洗浄をやり直してください。

自動洗浄の洗浄途中で電源が切れたときに、再度電源を「ON（入）」にした後、自動洗浄をおこなわなかった場合

- エスプレッソ抽出スイッチや『スタート/ストップスイッチ』を押しても、右のようなメッセージが表示され、コーヒーを抽出することができません。このときは、初めから自動洗浄をやり直してください。



「1 連目」を表しています。  
「2 連目」のエスプレッソ抽出スイッチを押したときはGR2と表示されます。

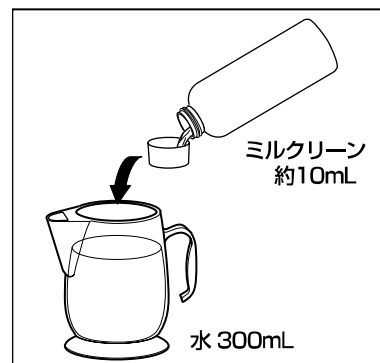
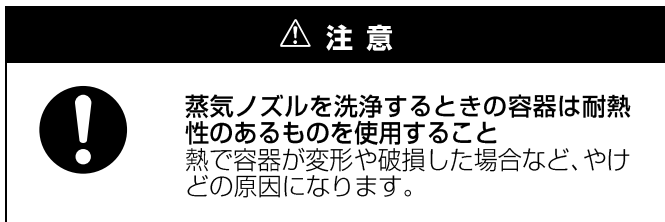


## 蒸気ノズル、ターボスチームノズルの洗浄

### 1. 洗浄剤（ミルククリーン）の希釈液を作ってください

ミルククリーンは30倍に希釈してご使用ください。

- 1) 300mLの水を用意してください。



- 2) 用意した水に約10mLのミルククリーンを入れ、よく混ぜ合わせてください。

#### 目安

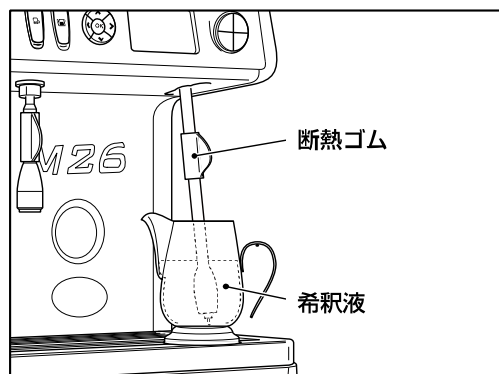
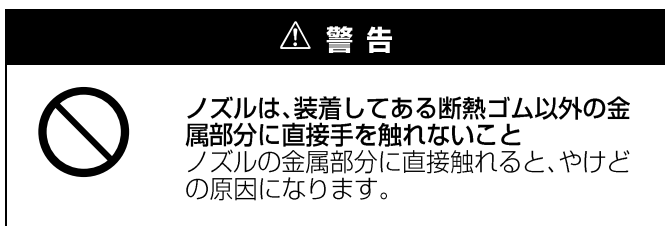
- 200mL入りボトル : キャップ約2杯  
1L入りボトル : 計量カップ約1/4杯

#### メモ

付属しているミルククリーンは200mL入りボトルですが、別途お求めいただいた場合は、1L入りボトルになり、計量カップが付属しています。

### 2. 蒸気ノズルおよびターボスチームノズルの洗浄をおこなってください

- 1) 蒸気ノズルおよびターボスチームノズルの先を洗浄剤の希釈液に入れて、ドレンプレートの上に置いてください。



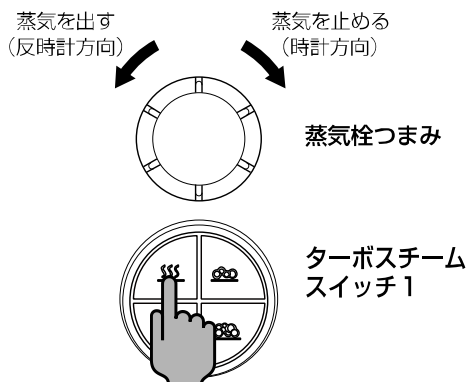
図はターボスチームノズル

- 2) 蒸気ノズルは『蒸気栓つまみ』を回し、ターボスチームノズルは、空気を含まない『スチームスイッチ1』を押して、蒸気を出してください。

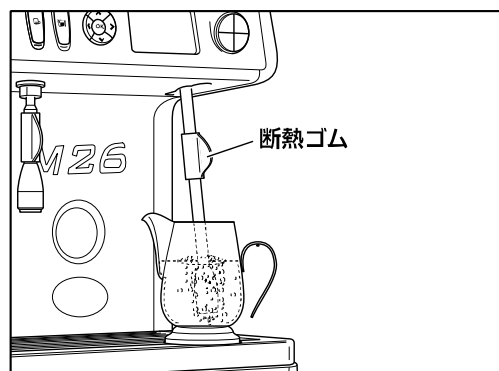
蒸気により、ノズル先端に残ったミルクや付着液を洗浄します。

#### お願い

ターボスチームノズルの洗浄時は『ターボスチームスイッチ1』以外は押さないでください。  
洗浄液が泡立ち、容器から溢れ出ます。



- 3) 蒸気が出始めて、30秒程度たったら蒸気を止めてください。
- 4) 容器からノズルをすぐに取り出さずに、3～5分程度漬けておいてください。  
乳脂肪の汚れが浮きあがり、汚れが落ちやすくなります。
- 5) 容器からノズルを取り出してください。



#### ⚠ 警告



蒸気ノズルは、洗浄剤の入った希釈液に漬け置きしたまま機械の電源を切らないこと  
機械内部の温度が低下したときに蒸気を出すと、機械内部に希釈液を吸い込む恐れがあり、  
健康障害の原因になります。

### 3. すすぎをおこなってください


- 1) 容器に飲料用のきれいな水を入れ、その中にノズルの先を入れてドレンプレートの上に置いてください。
- 2) 蒸気を出して、ノズルの先をすすぎ洗いしてください。
- 3) 数回水を入れ替え、蒸気を出してノズルをすすぎ洗いしてください。
- 4) 容器からノズルを取り出し、ノズル表面を清潔な布などで拭いてください。
- 5) 蒸気を出して、ノズル内の水分を除去してください。

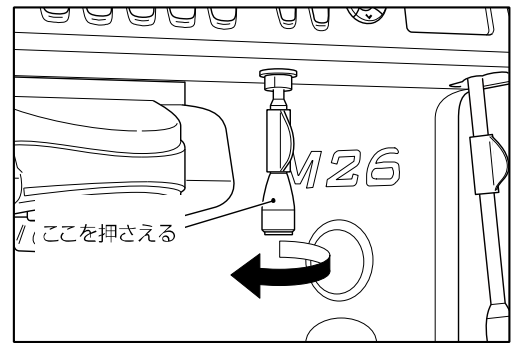
## 熱湯ノズルの洗浄

### 1. 熱湯ノズルの先端部分を取り外してください

熱湯ノズルの上の部分をしっかりと押さえ、熱湯ノズルの先端部分を時計方向に回して外してください。

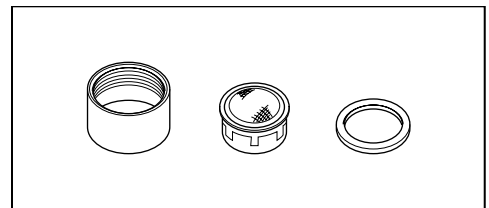
**⚠ 注意**

 熱湯ノズルの先端部分を取り外す際に、熱湯ノズルが熱くなっている場合は、水で濡らした布を使用して取り外すこと素手でおこないますと、やけどの原因になります。



### 2. 各部品を洗浄してください

- 1) 先端部分の部品を分解して、水またはお湯で洗い流してください。
- 2) 乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 3) 各部品を組み立て、元通りに取り付けてください。

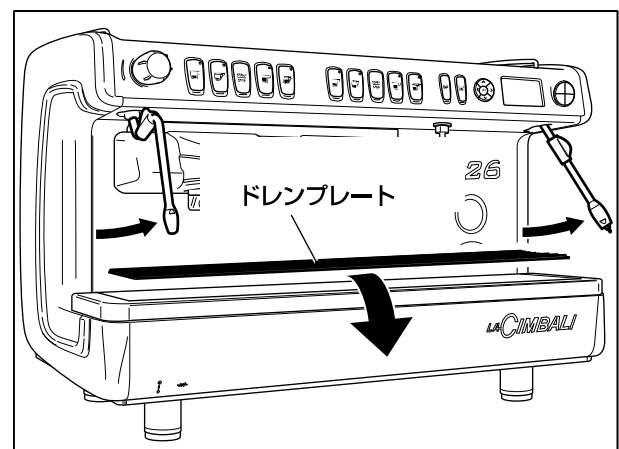


## ドレンプレート、ドレンパンの洗浄

### 1. 電源スイッチを「OFF (切)」にしてください

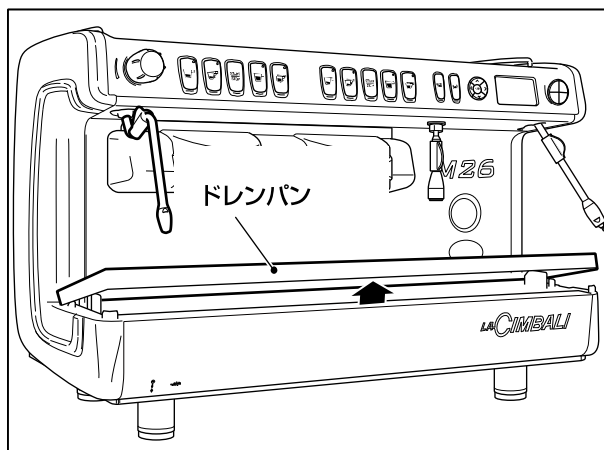
### 2. ドレンプレートを本体から取り外して洗浄してください

- 1) エスプレッソ抽出器からエスプレッソ抽出容器を取り外し、蒸気ノズルとターボスチームノズルを上まで上げてください。
- 2) ドレンプレートを外して、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯で洗い流してください。
- 3) すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。
- 4) 乾いた布で水分を拭き取ってください。

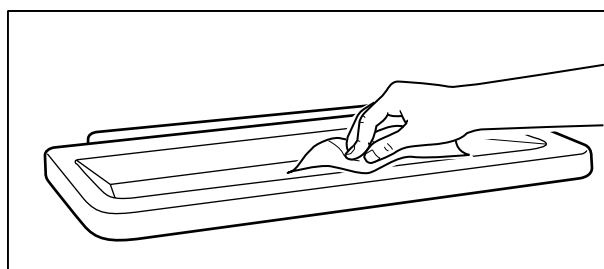


### 3. ドレンパンを本体から取り外して洗浄してください

- 1) ドレンパンの手前側を持ち上げ、斜めにした状態でドレンパンを本体から取り外してください。



- 2) ドレンパンを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でいねいに洗ってください。
- 3) すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。
- 4) 乾いた布で水分を拭き取ってください。

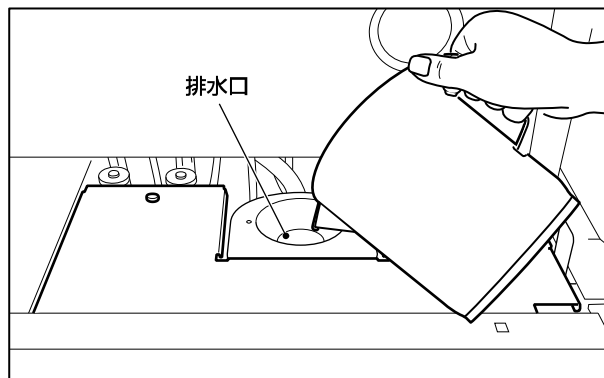


### 4. 排水口に、約 1 Lのお湯を流して洗浄してください

<b>⚠ 警告</b>	
	左側の透明プラスチックカバーは絶対に取り外さないこと 電源スイッチをOFFにしているも誤って電圧200V端子に触れた場合、感電します。

#### お願い

お湯は、排水口からあふれ出ないようにお湯を流し込んでください。



### 5. ドレンパンとドレンプレートを本体に元どおりに取り付けてください

蒸気ノズルとターボスチームノズルをドレンプレートに向けてください。

以上で終業時の清掃は終わりです。

水道栓を閉めてください。

# 週に2~3回おこなってください

ここでは、週に2~3回、また、汚れが目立ったときにおこなう洗浄と清掃について説明します

## 蒸気ノズル、ターボスチームノズル先端の洗浄

蒸気ノズルおよびターボスチームノズルを清潔にお使いいただくためノズルを分解洗浄してください。

### 1. 洗浄剤（ミルククリーン）の希釈液を作ってください

ミルククリーンは30倍に希釈してご使用ください。

300mLのぬるま湯を用意してミルククリーンを約10mL入れ、よく混ぜ合わせてください。

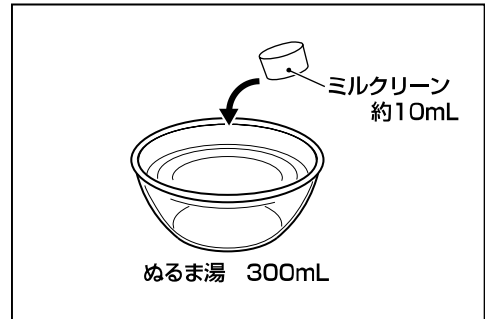
目安

200mL入りボトル : キャップ約2杯

1L入りボトル : 計量カップ約1/4杯

**メモ**

付属しているミルククリーンは200mL入りボトルですが、別途お求めいただいた場合は、1L入りボトルになり、計量カップが付属しています。

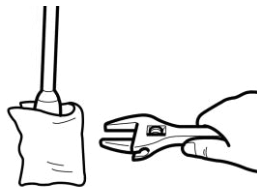


### 2. 蒸気ノズルおよびターボスチームノズルの先端部分を外してください

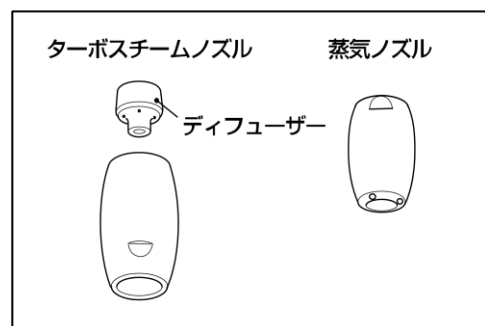
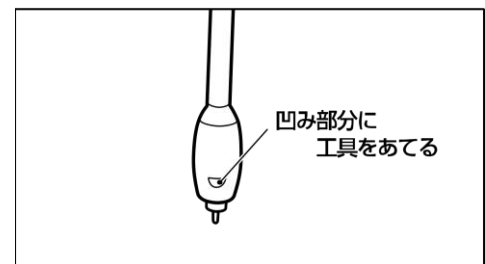
手で外せないほど固い場合は、工具を使って外してください。

**お願い**

工具を使って外す場合は、ノズルに傷が付かないようにノズルに布などを巻いてから取り外し作業をおこなってください。



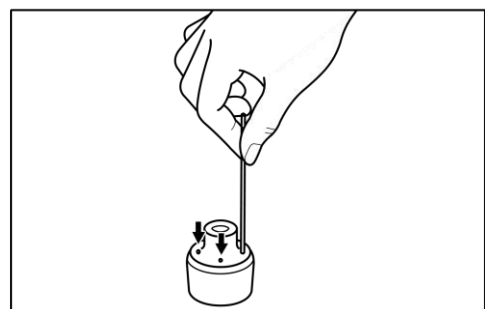
ターボスチームの先端部分からディフューザーを取り出してください。



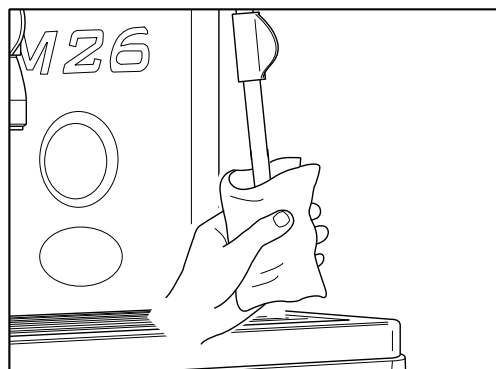
### 3. ノズルの先端部分やディフューザーを洗浄剤の希釈液に10分程度漬けてください

### 4. 蒸気ノズルの先端部分やディフューザーの穴が詰まっている場合は、細い金属の棒などで詰まりを取ってください

### 5. 洗浄後は、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください



6. ノズルは、お湯をしみ込ませた布で汚れを拭き取ってください
7. 清潔な布で水分を拭き取ってください
8. 分解と逆の手順で組み立ててください



## 本体外装の清掃

1. 本体の外装は、中性洗剤を含ませた柔らかい布できれいに拭いてください
2. きれいな水でしぼった布で洗剤成分を拭き取ってください

### ⚠ 警告



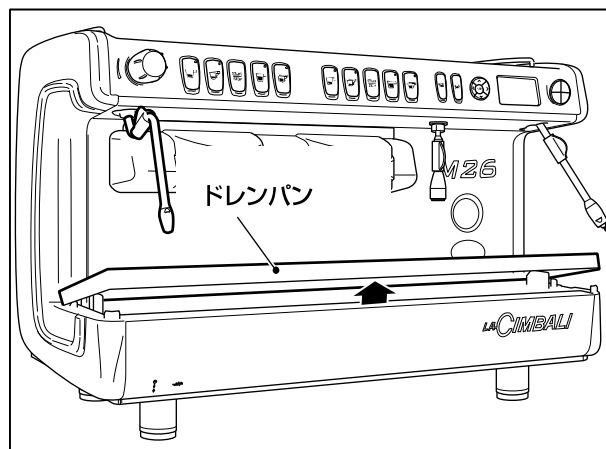
本体に直接水をかけないこと  
漏電、ショート、感電の原因になります。

## 排水口バスケットの洗浄

1. 電源スイッチを「OFF（切）」にしてください

2. ドレンパンを取り外してください

- 1) エスプレッソ抽出器からエスプレッソ抽出容器を取り外し、蒸気ノズルとターボスチームノズルを上まで上げてください。
- 2) ドレンパンを取り外してください。

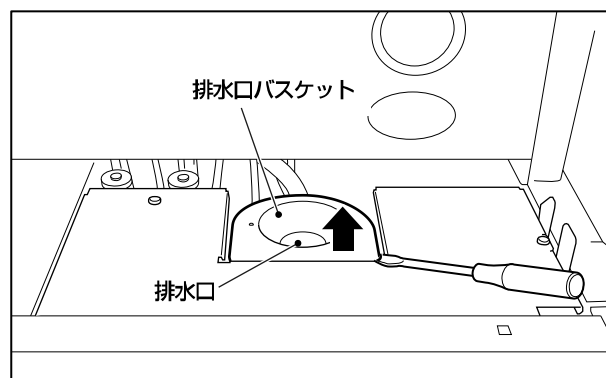


3. 排水口バスケットを洗浄してください

排水口バスケットを図のように、お手持ちのマイナスドライバーで取り外して、洗浄してください。

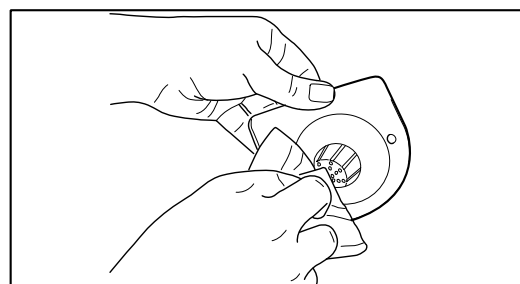
### お願い

排水口バスケットを取り外す際、付着した水が機械内部に落ちないように、排水口バスケットの下にふきんなどを添えて取り外してください。



乾いた布で排水口バスケットの水分を拭き取ってください。

排水口バスケットを本体に元通り取り付けてください。



4. ドレンパン（ドレンプレートが付いた状態）を本体に元どおりに取り付けてください

蒸気ノズルとターボスチームノズルをドレンプレートに向けてください。

水道栓を閉めてください。



# お手入れと点検

ここでは本機をお使いいただく上で、必要なお手入れと点検を一覧にして示しています

## 毎日のお手入れと点検

給排水管の点検	給排水管の接続部やバルブより水漏れや、配水管に詰まりがないか点検をおこなってください。 異常がある場合は、すぐにお買上げ店か専門業者に修理を依頼してください。
蒸気ノズル、ターボスチームノズルの洗浄	蒸気ノズル、ターボスチームノズルは営業中に随時、および終業時に毎日洗浄をおこなってください。 「洗浄、清掃のしかた」(40ページ、55ページ)を参照して、洗浄をおこなってください。
エスプレッソ抽出器の洗浄(手動または自動)	終業時には必ずエスプレッソ抽出器の洗浄をおこなってください。 「洗浄、清掃のしかた」(42ページ、45ページ)を参照して、エスプレッソ抽出器の手動洗浄または自動洗浄をおこなってください。
熱湯ノズルの洗浄	熱湯ノズルは、終業時に毎日洗浄してください。 「洗浄、清掃のしかた」(57ページ)を参照して、洗浄をおこなってください。
ドレンプレート、ドレンパンの洗浄	ドレンプレート、ドレンパンは、終業時に毎日洗浄してください。 「洗浄、清掃のしかた」(57ページ)を参照して、洗浄をおこなってください。

## 週に2~3回のお手入れ

蒸気ノズル、ターボスチームノズル先端の洗浄	蒸気ノズル、ターボスチームノズル先端を外して洗浄してください。 「洗浄、清掃のしかた」(59ページ)を参照して、洗浄をおこなってください。
本体外装の清掃	本体の外装は、中性洗剤を使用し、柔らかい布でていねいに拭いた後、洗剤成分が残らないよう、きれいな水でしぼった布で拭き取ってください。 <div style="text-align: center;"> <b>警告</b></div> <div style="text-align: center;"> <b>本体に直接水をかけないこと</b> 漏電、ショート、感電の原因になります。</div>
排水口バスケットの洗浄	ドレンパン下の排水口バスケットを取り外して洗浄してください。 「洗浄、清掃のしかた」(61ページ)を参照して、洗浄をおこなってください。



## 定休日明け、断水後のお手入れ

水の入れ替え	断水後や、定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えてください。 ボイラータンク内の水の入替へのしかた 1) 操作パネルの『熱湯取出スイッチ』を5秒以上長押しして、ボイラータンクの水の入替え機能を作動させ、水を入れ替えてください。 (詳しくは18ページを参照してください。) 2) 『蒸気栓つまみ』を回して、約1分間蒸気を排出してください。 コーヒーラインの水の入替へのしかた 各エスプレッソ抽出器の『スタート/ストップスイッチ』を押して、約1分間水を排出してください。
--------	---

## 1ヶ月に1回点検

漏電遮断器動作確認	漏電遮断器は、1ヶ月に1回動作確認をおこなってください。 1) 漏電遮断器のテストボタンを指先などで押してください。 2) 「OFF (切)」に切り換わるか確認してください。 切り換われば正常です。 レバーが「OFF (切)」に切り換わらない場合は、そのままの状態ですぐにお買上げ店へご連絡ください。 3) 正常な場合は「ON (入)」にしてください。
-----------	---

## 1年に1～2回の点検

浄水器カートリッジの交換	半年から1年ごとに浄水器カートリッジを交換してください。 カートリッジの注文と交換のしかたは、お買上げ店におたずねください。
アース線の点検	アース線は、切れたり接続部がゆるんだりしていないか点検してください。 異常がある場合は、電気工事店に修理を依頼してください。
電源コードの点検	電源コードに異常な発熱や破損、重い物が乗ったり、挟み込まれたりしていないか点検してください。 異常がある場合は、すぐにお買上げ店か専門業者に修理を依頼してください。 電源プラグ使用の場合、電源プラグの刃と刃の取付面、およびコンセントにほこりが付いていないか点検してください。 ほこりが付いている場合は、清掃してください。

# プログラム設定について

ここでは、本機の各設定の変更方法について説明します

## タイマー機能の設定

ここではタイマー機能を使う各設定のしかたについて説明します

タイマー機能には、現在の日付と時間、自動ON・OFFタイマー、定休日の設定や洗浄時刻お知らせの設定があります

タイマー機能の設定は、プログラムモードの「サービスジカン」メニューでおこないます

「サービスジカン」の設定項目には以下のものがあります

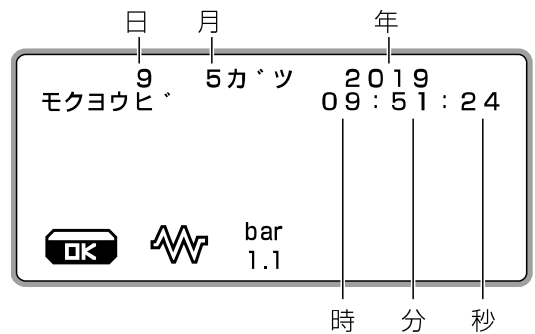
メニュー	設定 / 選択値
ヒツケトジカン 65ページを参照してください。	現在の日付と時刻を設定します。
ジドウ ON 68ページを参照してください。	本体の電源が自動的に「ON」になり、ウォーミングアップを始める時刻を設定します。設定時刻になると電源が入り自動給水と昇温動作を開始します。
ジドウ OFF 68ページを参照してください。	本体の電源が自動的に「OFF」になる時刻を設定します。
テイキュウビ 68ページを参照してください。	定休日を設定します。 定休日に設定した曜日は、自動ON・OFFタイマーが機能しなくなります。
ショウデンリョク	自動ON・OFFタイマーを使用する場合、自動OFFの時間帯はボイラータンク圧力を0.2barに保つようにするか選択します。
ヨルジカンON	使用しません。
ヨルジカンOFF	使用しません。
センジョウ 73ページを参照してください。	エスプレッソ抽出器の自動洗浄時刻を設定することができます。 毎日、設定した時刻になるとアラーム音とディスプレイ表示でお知らせします。 工場出荷時は「OFF」に設定されています。 エスプレッソ抽出器の自動洗浄のしかたは、45ページを参照してください。
イレカエ	ボイラータンクの水の入替え時刻を設定することができます。 毎日、設定した時刻になるとアラーム音とディスプレイ表示でお知らせします。 工場出荷時は「OFF」に設定されていますので、時刻を設定したい場合はお買上げ店にご連絡ください。 ボイラータンクの水の入替えかたについては、18ページを参照してください。

## 日付と時刻の設定

現在の日付と時刻を設定します

### 1. 本体が通常の状態であることを確認してください

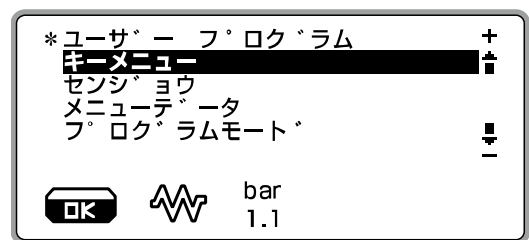
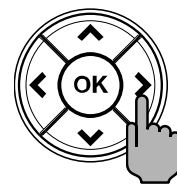
ディスプレイには、右のような表示（日付、時刻）  
が出ていることを確認してください。



### 2. プログラムモードに入ってください

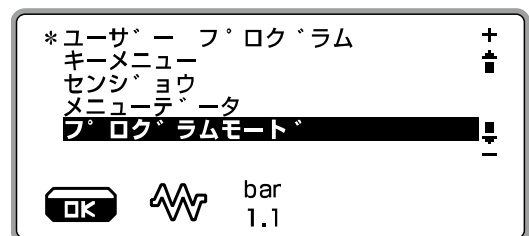
『▶ スイッチ』（プログラムスイッチ）を押してく  
ださい。

「ユーザープログラム」の画面が表示されます。



『▲ スイッチ』、または『▼ スイッチ』を押し  
て「プログラムモード」を選択し、『▶ スイッチ』  
を押してください。

「プログラムモード」の画面が表示されます。



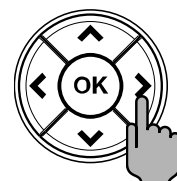
### 3. 「サービスジカン」の設定画面に入ってください

#### お願い

日本語を使用する場合は、他の言語を選択しない  
でください。



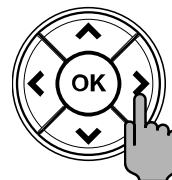
『▶ スイッチ』（プログラムスイッチ）を押して  
「サービスジカン」を選択してください。



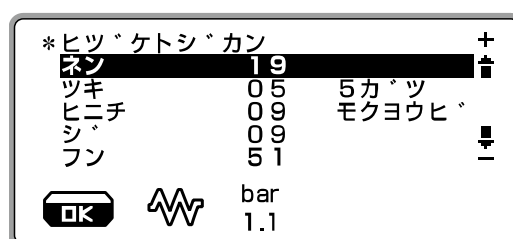
「サービスジカン」の画面が表示されます



『▶ スイッチ』（プログラムスイッチ）を押して  
「ヒツケトジカン」を選択してください。  
「ヒツケトジカン」の画面が表示されます



#### 4. 日付と時間を設定してください



「ヒツケトジカン」には以下の設定項目があります。

ネン	西暦の下2ケタの年を設定します。 「19」は2019年を表しています。
ツキ	月を設定します。
ヒニチ	日を設定します。
ジ	24時間制で時間の設定をします。
フン	分を設定します。

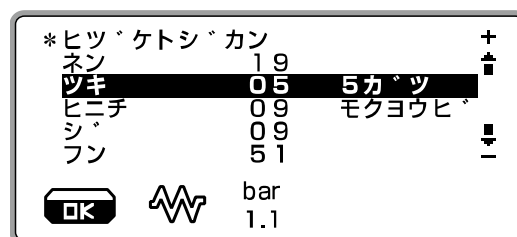
『▲ スイッチ』、または『▼ スイッチ』を押して、  
項目を選択してください。

『▼ スイッチ』を押すごとに反転表示が1つ下の項  
目に移動します。

『▲ スイッチ』を押すごとに反転表示が1つ上の項  
目に移動します。

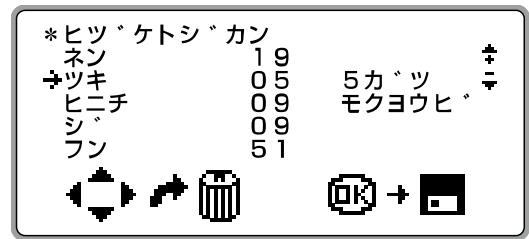
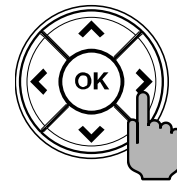


ここでは、1例として「ツキ」を5月から6月に変更しま  
す。



設定したい項目（この場合「ツキ」）を反転表示させ、  
『▶ スイッチ』（プログラムスイッチ）を押して選択  
してください。

ディスプレイの反転表示が矢印（➡）に変わります。



『▲ スイッチ』、または『▼ スイッチ』を押して、  
設定したい数値に合わせてください。

『▲ スイッチ』を押すごとに数値が大きくなります。

『▼ スイッチ』を押すごとに数値が小さくなります。

『▲ スイッチ』、または『▼ スイッチ』押し続  
けると数値は速く変わります。



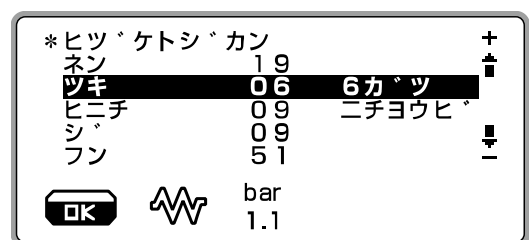
『OKスイッチ』を押して変更を確定してください。  
ディスプレイの矢印（➡）が反転表示に戻ります。

変更をキャンセルする場合は、『◀ スイッチ』を押  
すと変更をキャンセルして、1つ前の画面に戻ります。



これで「ツキ」が5月から6月に変更されました。

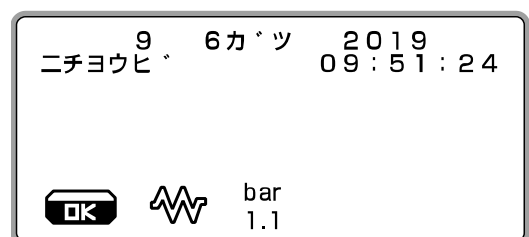
他も変更する必要がある場合は、同様の手順で変更して  
ください。



## 5. プログラムモードを終了してください

『◀ スイッチ』を4回押して、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

ディスプレイには設定した日付が表示されます。



## 自動 ON・OFF タイマーと定休日の設定

自動ON・OFFタイマーを設定すると、自動ONの時刻に電源が入り、ボイラータンクへの給水をおこな  
い、ウォーミングアップをして待機します

また、自動OFFの時刻になると、電源が切れます

(操作パネルのスイッチのLEDと、ディスプレイのバックライトは消灯し、ディスプレイには「マシ  
ン オフ」と表示されます)

自動OFFの時刻を設定する場合は終業時の洗浄に要する時間をプラスして設定をおこなってくださ  
い  
洗浄には電源が入っていないとおこなえないものがあります

詳しくは「洗浄、清掃のしかた」(39ページ)を参照してください

自動ON・OFFタイマーを使用しない場合は、ONとOFFを同じ時刻に設定しておいてください

自動ON・OFFタイマーを使用する場合、定休日の設定をすると、定休日には自動ON・OFFタイマー  
が機能しなくなります

自動ON・OFFタイマーを使用する場合、「ショウデンリョク」を「YES」に設定すると、自動OFF  
の時間帯でもボイラータンクヒーターへ通電され、ボイラータンク圧力を0.2barに保ちます

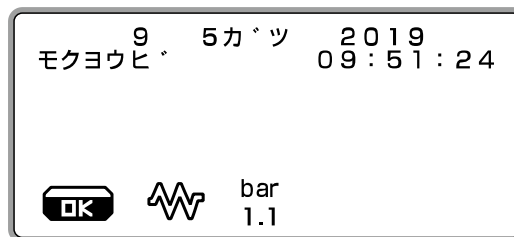
### お願い

自動ON・OFFタイマーを使用する場合は、電源スイッチは「OFF(切)」にしないでください。

電源スイッチを「OFF(切)」にしていると、自動ON・OFFタイマーは機能をしません。

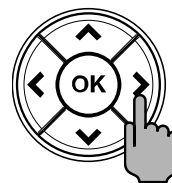
### 1. 本体が通常の状態であることを確認してください

ディスプレイには、右のような表示が出ていること  
を確認してください。

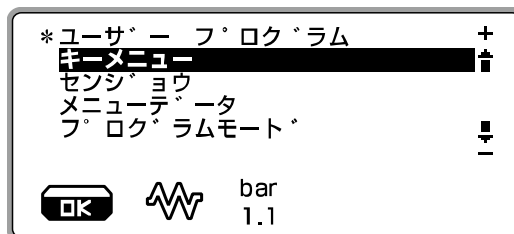


### 2. プログラムモードに入ってください

『▶ スイッチ』(プログラムスイッチ)を押してく  
ださい。



「ユーザープログラム」の画面が表示されます。



『▲ スイッチ』、または『▼ スイッチ』を押  
して「プログラムモード」を選択し、『▶ スイッチ』  
を押してください。



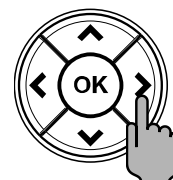
「プログラムモード」の画面が表示されます。

### 3. 「サービスジカン」の設定画面に入ってください

#### お願い

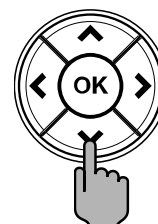
日本語を使用する場合は、他の言語を選択しないでください。

『▶ スイッチ』（プログラムスイッチ）を押して「サービスジカン」を選択してください。  
「サービスジカン」の画面が表示されます

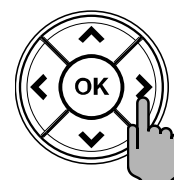
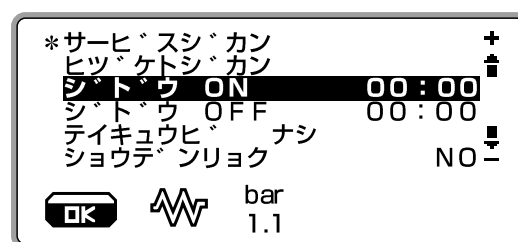


### 4. 自動ON・OFFになる時刻を設定してください

『▼ スイッチ』（プログラムスイッチ）を押して反転表示を「ジドウON」の位置に合わせてください。



『▶ スイッチ』（プログラムスイッチ）を押してください。  
ディスプレイの反転表示が矢印（➔）に変わります。



『▲スイッチ』、または『▼スイッチ』を押して、設定したい時刻に合わせてください。

まず「時」を変更します。

- 『▲スイッチ』を押すごとに時刻が進みます。
- 『▲スイッチ』を押し続けると時刻が速く進みます。
- 『▼スイッチ』を押すごとに時刻が戻ります。
- 『▼スイッチ』を押し続けると時刻が速く戻ります。



設定したい「時」を表示させたら『▶スイッチ』を押してください。

「分」の表示が点滅します。

「時」のときと同様にして設定したい「分」を表示させてください。

『OKスイッチ』を押すと「分」の変更が確定して「時」の点滅に戻ります。



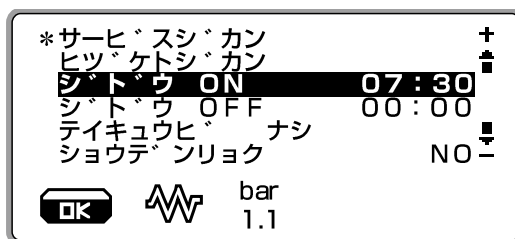
設定が完了しましたら、もう一度『OKスイッチ』を押してください。

設定をキャンセルする場合は、『◀スイッチ』を押すと設定がキャンセルされ、矢印が反転表示に戻ります。

設定が確定され、ディスプレイの矢印 (→) が反転表示に戻ります。

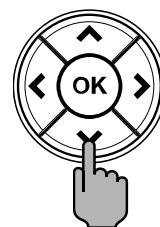
これで「ジドウON」の設定変更が完了しました。

「ジドウOFF」を変更する必要がある場合は、「ジドウON」と同様の手順で「ジドウOFF」を変更してください。



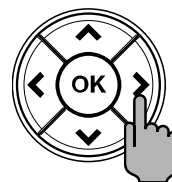
## 5. 定休日を設定してください

『▼スイッチ』を押して反転表示を「テイキュウビ」の位置の合わせてください。





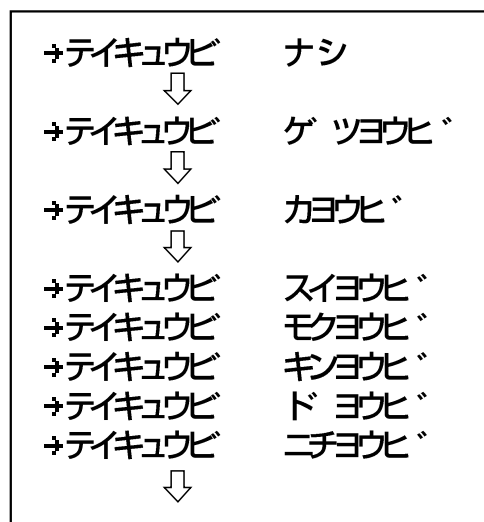
『▶ スイッチ』を押してください。  
 ディスプレイの反転表示が矢印 (➡) に変わります。



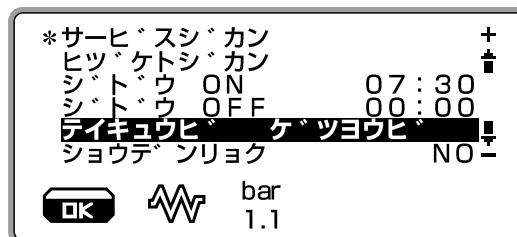
『▲ スイッチ』を押すごとに「ヨウビ」が変わりますので、設定したい「ヨウビ」が表示されるまで『▲ スイッチ』を押してください。



1回押すごとに表記が右記のように変わります。



設定したい曜日が表示されたら『OKスイッチ』を押して確定してください。  
 ディスプレイの矢印 (➡) が反転表示に戻ります。



**メモ**

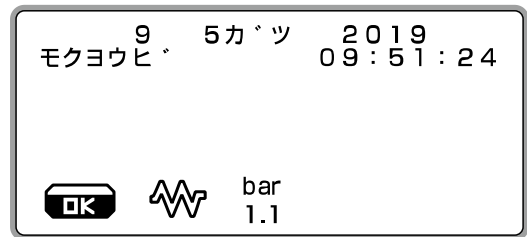
自動 ON・OFF タイマーを使用する場合、「ショウデンリョク」を「YES」に設定すると、自動 OFF の時間帯でもボイラータンクヒーターへ通電され、ボイラータンク圧力を 0.2bar に保ちます。

この機能を使用しますと、ウォーミングアップにかかる時間を短縮できます。



## 6. プログラムモードを終了してください

『◀ スイッチ』を3回押して、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。



### メモ

機械は、自動 ON・OFF タイマーで設定した電源 OFF の時間帯になると、ディスプレイのバックライトが消え、画面は右のように表示されます。



自動 ON・OFF タイマーで設定した電源 OFF の時間帯に機械を操作するときは、任意のスイッチを押してください。

ウォーミングアップが始まり、完了後、抽出可能な状態になります。

もう一度「マシン オフ」（自動 ON・OFF タイマーで設定した電源 OFF の時間帯）の状態に戻すには、一度本体の電源スイッチを「OFF（切）」にして、再度電源スイッチを「ON（入）」にしてください。

## 洗浄時刻の設定

本機は、毎日終業時に「エスプレッソ抽出器の洗浄」をおこなう必要があります

お店の営業時間などに合わせて洗浄時刻を設定します

タイマー機能で自動洗浄時刻の設定をおこなうと、万一洗浄を忘れた場合でも、設定した時刻になるとアラーム音とディスプレイに自動洗浄を促すメッセージが表示されます

ディスプレイに自動洗浄を促すメッセージが表示されましたら、1時間以内に全エスプレッソ抽出器の自動洗浄をおこなってください

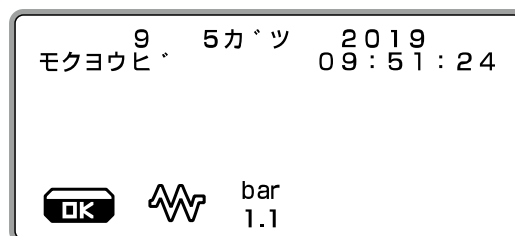
1日1回の洗浄時刻が設定できますので、下記の「洗浄時刻の設定」を参照してご希望の時刻を設定してください

工場出荷時は、「OFF」（機能を使用しない）に設定しています

エスプレッソ抽出器の洗浄を手動でおこなう場合は、「センジョウ」を「OFF」に設定しておいてください

### 1. 本体が通常の状態であることを確認してください

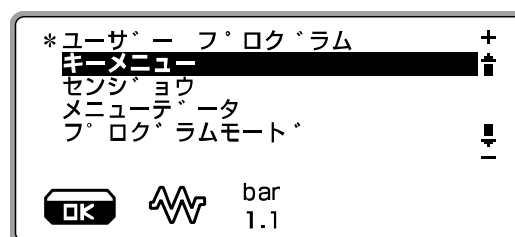
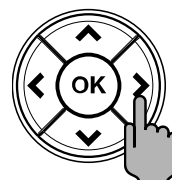
ディスプレイには、右のような表示が出ていることを確認してください。



### 2. プログラムモードに入ってください

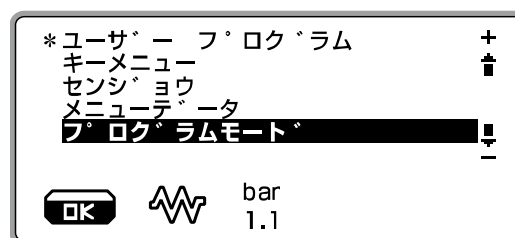
『▶ スイッチ』（プログラムスイッチ）を押してください。

「ユーザープログラム」の画面が表示されます。



『▲ スイッチ』、または『▼ スイッチ』を押して「プログラムモード」を選択し、『▶ スイッチ』を押してください。

「プログラムモード」の画面が表示されます。

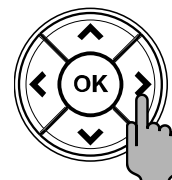


### 3. 「サービスジカン」の設定画面に入ってください

#### お願い

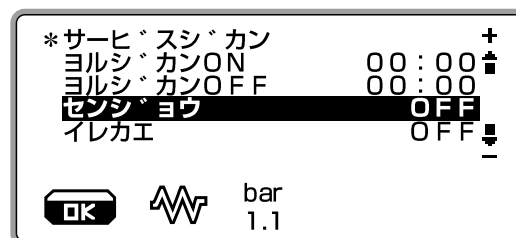
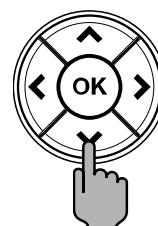
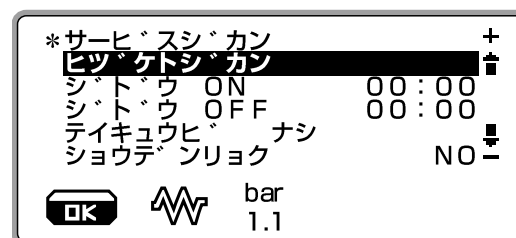
日本語を使用する場合は、他の言語を選択しないでください。

『> スイッチ』（プログラムスイッチ）を押して「サービスジカン」を選択してください。  
「サービスジカン」の画面が表示されます

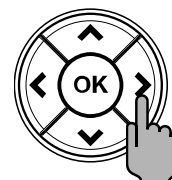


### 4. 洗浄時刻を設定してください

『v スイッチ』を押して反転表示を「センジョウ」の位置に合わせてください。



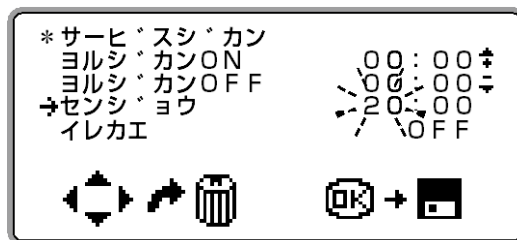
『> スイッチ』を押してください。  
ディスプレイの反転表示が矢印（➔）に変わります。



『▲スイッチ』、または『▼スイッチ』を押して、設定したい時刻に合わせてください。

まず「時」を変更します。

- 『▲スイッチ』を押すごとに時刻が進みます。
- 『▲スイッチ』を押し続けると時刻が速く進みます。
- 『▼スイッチ』を押すごとに時刻が戻ります。
- 『▼スイッチ』を押し続けると時刻が速く戻ります。



設定したい「時」を表示させたら『▶スイッチ』を押してください。

「分」の表示が点滅します。

「時」のときと同様にして設定したい「分」を表示させてください。

『OKスイッチ』を押すと「分」の変更が確定して「時」の点滅に戻ります。



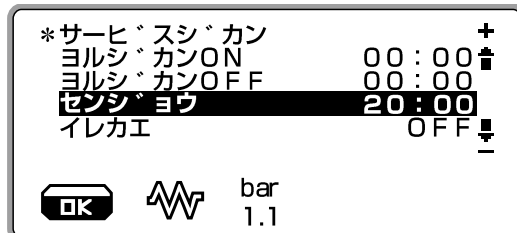
設定が完了しましたら、もう一度『OKスイッチ』を押してください。

設定をキャンセルする場合は、『◀スイッチ』を押すと設定がキャンセルされ、矢印が反転表示に戻ります。

洗浄時刻を設定しない場合は、時刻を「00:00」に合わせて『▼スイッチ』を1回押して「OFF」に設定してください。

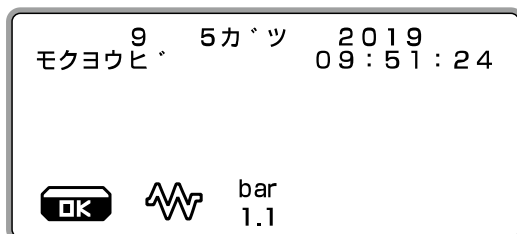
設定が確定され、ディスプレイの矢印(➡)が反転表示に戻ります。

これで「センジョウ」の設定変更が完了しました。



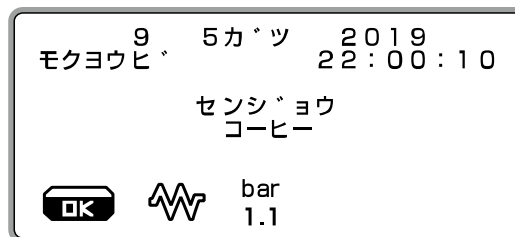
## 5. プログラムモードを終了してください

『◀スイッチ』を3回押して、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。



## 洗浄時刻になったら

設定した洗浄時刻になると、アラーム音とディスプレイへの表示でお知らせします。



### メモ

設定した洗浄時刻になるまでに任意に自動洗浄をおこなった場合でも、洗浄時刻になるとアラーム音が鳴り、ディスプレイに「センジョウ コーヒー」と表示されます。

このときは、「センジョウ コーヒー」の表示が消えるまでそのまましておいてください。

「センジョウ コーヒー」の表示をすぐに消したい場合は、もう一度、洗剤を使わずお湯のみの自動洗浄をおこなってください。

例：洗浄時刻を20:00に設定した場合



19:45

設定した洗浄時刻の15分前に、自動洗浄をおこなった。



20:00

洗浄時刻になると、ディスプレイに自動洗浄をうながすメッセージ「センジョウ コーヒー」が表示されます。



1時間経過すると自動洗浄をうながすメッセージ「センジョウ コーヒー」の表示は消えます。

自動洗浄をうながすメッセージ「センジョウ コーヒー」の表示をすぐに消したい場合は、もう一度、自動洗浄をおこなってください。

自動洗浄をうながすメッセージ「センジョウ コーヒー」が表示されていてもエスプレッソコーヒーの抽出はできます。

## 抽出回数管理

ここでは、各スイッチの使用回数のほか、エスプレッソコーヒーの抽出杯数、熱湯の取出回数、およびターボスチームの使用回数の管理について説明します。

管理する項目(「カウンターメニュー」)には下表のものがああります。

キーメニュー	各エスプレッソ抽出スイッチ	前回リセットしてから現在までの各スイッチの使用回数を表示します。
	熱湯取出スイッチ	
	各ターボスチームスイッチ	

78ページを参照してください。

コーヒーハイスウGR1	エスプレッソ抽出器ごとのコーヒー抽出杯数の表示です。 「コーヒーハイスウGR1」は1連目、「コーヒーハイスウGR2」は2連目のエスプレッソ抽出器のコーヒー抽出杯数を表しています。 M26-DT/3(TS)では、3連目の「コーヒーハイスウGR3」まで表示されます。
コーヒーハイスウGR2	前回リセットしてから現在までのコーヒー抽出杯数です。 2杯取り用の『エスプレッソ抽出スイッチ』は、1回の抽出でコーヒーを2杯抽出したものととしてカウントされます。
コーヒーハイスウGR3 (M26-DT3(TS)のみ表示)	『スタート/ストップスイッチ』によるエスプレッソコーヒーの抽出は、抽出時間が5秒以上なら1杯抽出したものととしてカウントします。
ネットウ ハイスウ	『熱湯取出スイッチ』の熱湯取出し合計回数の表示です。 前回リセットしてから現在までの熱湯取出し回数です。
スチーム カイスウ	前回リセットしてから現在までにターボスチーム[空気を含まない蒸気]を使用した回数です。 [空気を含まない蒸気]とは、ミルク泡立ちレベル設定の数値を0にしているターボスチームスイッチのことです。
スチーム+ エアー カイスウ	前回リセットしてから現在までのターボスチーム[空気を含む蒸気]を使用した回数です。
コーヒーハイスウ	すべてのエスプレッソ抽出器からこれまでに抽出したコーヒー杯数の合計です。 2杯取り用の『エスプレッソ抽出スイッチ』は、1回の抽出でコーヒーを2杯抽出したものととしてカウントされます。 『スタート/ストップスイッチ』によるエスプレッソコーヒーの抽出は、抽出時間が5秒以上なら1杯抽出したものととしてカウントします。 この項目は数値をリセットできません。
t ON	本機の電源スイッチを「ON(入)」にしてからの経過時間です。 d=日、h=時、m=分

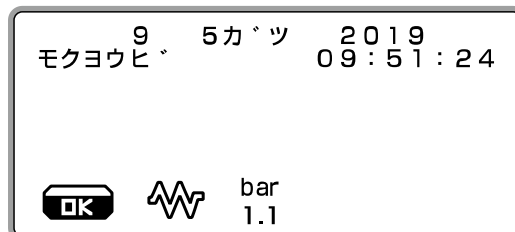
80ページを参照してください。

## 各スイッチ使用回数の確認のしかた

各エスプレッソ抽出スイッチと熱湯取出スイッチ、ターボスチームスイッチの使用回数を管理します  
前回りセットしてから現在までに何回スイッチを使用したかを確認できます

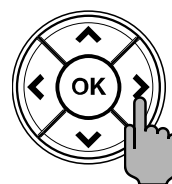
### 1. 本体が通常の状態であることを確認してください

ディスプレイには、右のような表示が出ていることを確認してください。

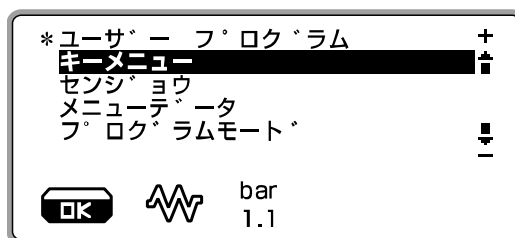


### 2. カウンターメニューに入ってください

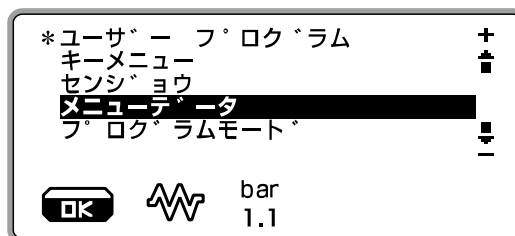
『▶ スイッチ』（プログラムスイッチ）を押してください。



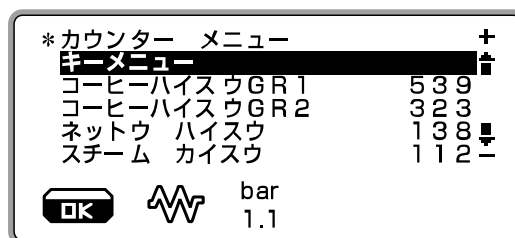
「ユーザープログラム」の画面が表示されます。



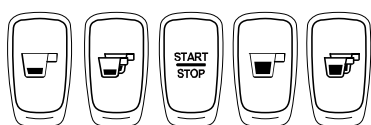
『▲ スイッチ』、または『▼ スイッチ』を押して「メニューデータ」を選択し、『▶ スイッチ』を押してください。



「カウンターメニュー」の画面が表示されます。



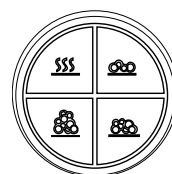
### 3. 使用回数を確認するエスプレッソ抽出スイッチ、または熱湯取出スイッチ、ターボスチームスイッチを押してください



または



または





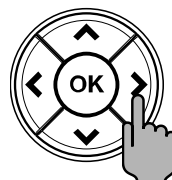
押したスイッチの使用回数が画面に表示されます。



#### 使用回数をリセットする場合

『▶ スイッチ』を押してください。

ディスプレイの反転表示が矢印 (➔) に変わります。

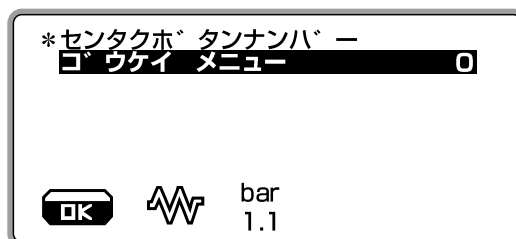


『▲ スイッチ』、または『▼ スイッチ』を押してください。

使用回数の数値が「0」に戻ります。

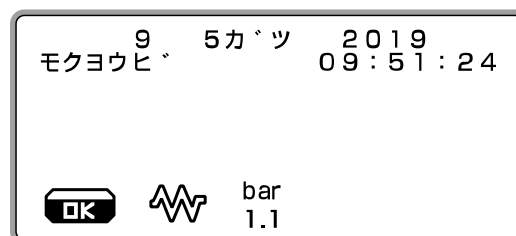


『OKスイッチ』を押してリセットを確定してください。



#### 4. カウンターメニューを終了してください

『◀ スイッチ』を3回押して、カウンターメニューから出て通常の画面に戻ってください。



## 抽出杯数の確認のしかた

エスプレッソ抽出器ごとのエスプレッソコーヒーの抽出杯数のほか熱湯取出回数、ターボスチーム使用回数を管理します

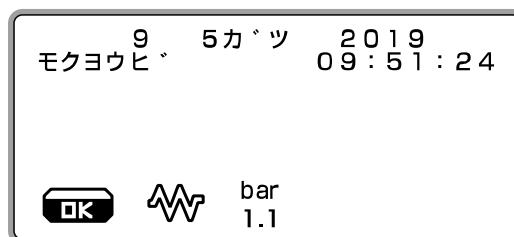
エスプレッソコーヒーの抽出杯数は、前回リセットしてから現在までに何杯抽出したかを確認できます

熱湯の取出回数とターボスチームの使用回数は、前回リセットしてから現在までに何回使用したかを確認できます

また、機械が稼働してから現在までのエスプレッソコーヒーの合計抽出杯数が確認できます

### 1. 本体が通常の状態であることを確認してください

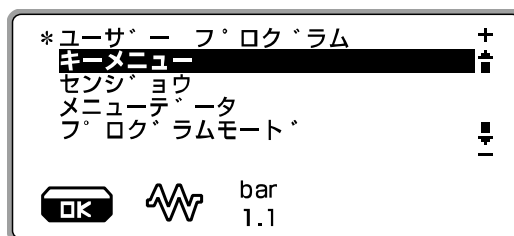
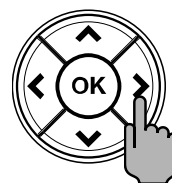
ディスプレイには、右のような表示が出ていることを確認してください。



### 2. カウンターメニューに入ってください

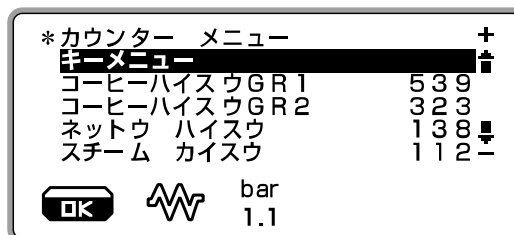
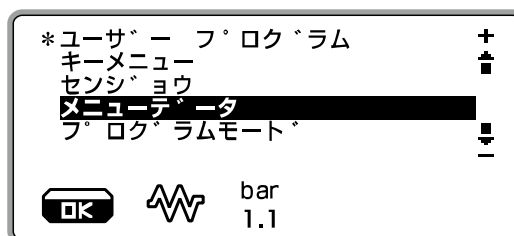
『➤ スイッチ』（プログラムスイッチ）を押してください。

「ユーザープログラム」の画面が表示されます。



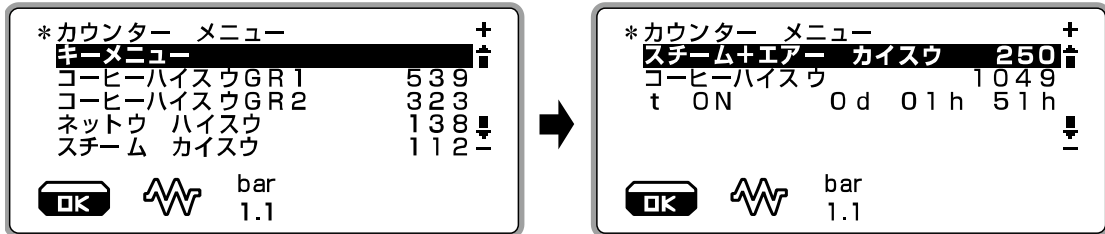
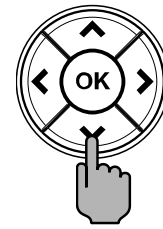
『▲ スイッチ』、または『▼ スイッチ』を押して「メニューデータ」を選択し、『➤ スイッチ』を押してください。

「カウンターメニュー」の画面が表示されます。



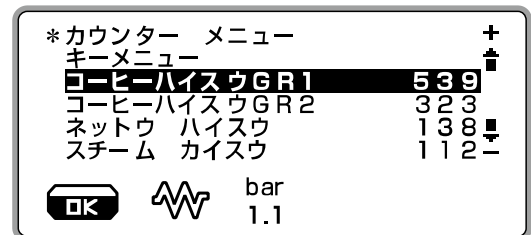
### 3. エスプレッソコーヒー抽出杯数および熱湯、蒸気の使用回数を確認してください

『▼ スイッチ』を押して反転表示を下げていくと、右下の画面が表示されます。



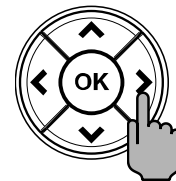
#### 抽出杯数をリセットする場合

『▲ スイッチ』、または『▼ スイッチ』を押して、反転表示をリセットしたい項目に合わせてください。



『▶ スイッチ』を押してリセットする項目を選択してください。

ディスプレイの反転表示が矢印 (➔) に変わります。



『▲ スイッチ』、または『▼ スイッチ』を押してください。

抽出杯数の数値が「0」に戻ります。



「コーヒーハイスウGR1」、または「コーヒーハイスウGR2」の数値をリセットしても「コーヒーハイスウ」の数値は、変わりません。

*カウンター	メニュー	
キーメニュー		
→	コーヒーハイスウGR1	539
	コーヒーハイスウGR2	323
	ネットウ ハイスウ	138
	スチーム カイスウ	112

← → ↻ OK +

『OKスイッチ』を押してリセットを確定してください。



*カウンター	メニュー	
キーメニュー		
	コーヒーハイスウGR1	0
	コーヒーハイスウGR2	323
	ネットウ ハイスウ	138
	スチーム カイスウ	112

OK bar 1.1

#### 4. カウンターメニューを終了してください

『← スイッチ』を2回押して、カウンターメニューから出て通常の画面に戻ってください。

9	5カ <sup>ツ</sup>	2019
モクヨウビ		09:51:24

OK bar 1.1

# エスプレッソコーヒー抽出量の変更

抽出湯量の数値を変更してエスプレッソコーヒーの抽出量を変えることができます

エスプレッソコーヒーの抽出量は、本機の据え付け後の味合わせの際に、お買上げ店の担当者がお客様のご希望に合わせて設定いたします

本機のご利用中にお客様のご都合により抽出プログラムを変更される場合は、以下の手順にしたがって変更をおこなってください

## 1. 本体が通常の状態であることを確認してください

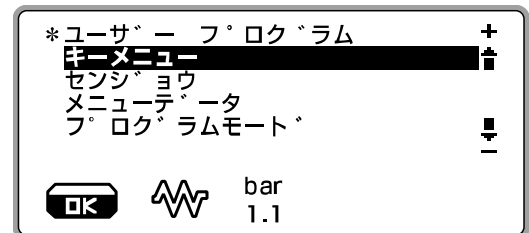
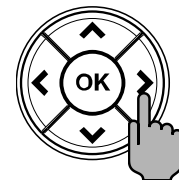
ディスプレイには、右のような表示が出ていることを確認してください。



## 2. ユーザープログラムモードに入ってください

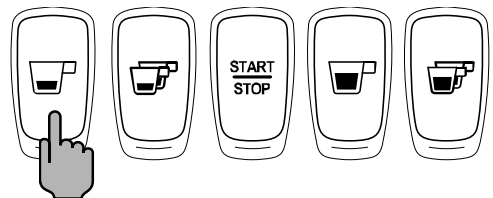
『▶ スイッチ』を押してください。

「ユーザープログラムモード」の画面が表示されます。



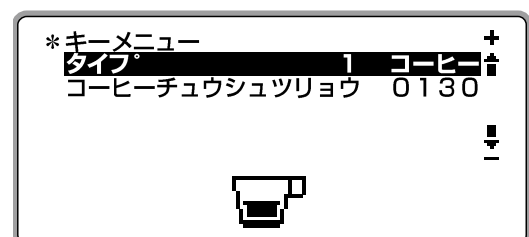
## 3. 抽出量の設定を変更する『エスプレッソ抽出スイッチ』を押してください

「キーメニュー」の画面が表示されます。



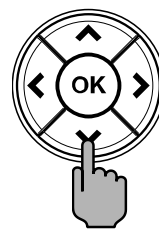
「タイプ」の「1 コーヒー」、または「2 コーヒー」は、選択した『エスプレッソ抽出スイッチ』が1杯用、または2杯用の抽出かを表しています。

「1 コーヒー」と「2 コーヒー」の違いは、抽出杯数のカウントが1または2増加する違いだけで、抽出動作は同じです。



#### 4. コーヒー抽出湯量を変更してください

『▼ スイッチ』を押して反転表示を「コーヒーチュウシュツリョウ」の位置に合わせてください。



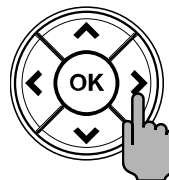
##### お願い

右のような「キーメニュー」画面の表示中に『OK スイッチ』を押した場合、エスプレッソ抽出器から熱湯が出ますので、注意してください。



『▶ スイッチ』を押してください。

ディスプレイに抽出量の設定画面が表示されます。



各エスプレッソ抽出スイッチの工場出荷時の設定は、下表のようになっています。

抽出スイッチ	設定値
 エスプレッソ 1杯用 (小)	130
 エスプレッソ 2杯用 (小)	230
 エスプレッソ 1杯用 (大)	240
 エスプレッソ 2杯用 (大)	440

エスプレッソコーヒーの抽出量は、設定値「10」に対して約3mLです。

設定値が「130」の場合、抽出量は約39mLになります。

(数値は、あくまでも目安です。抽出量は、コーヒー粉の量やメッシュの粗さなどの条件によって異なります。)

『**▲** スイッチ』、または『**▼** スイッチ』を押して、「コーヒーチュウシュツリョウ」の数値を変更してください。

- 『**▲** スイッチ』を押すと数値が増えます。
- 『**▼** スイッチ』を押すと数値が減ります。

設定範囲：0～1999



変更が完了しましたら『OKスイッチ』を押して、変更を確定してください。

変更をキャンセルする場合は、『**◀** スイッチ』を押すと、変更をキャンセルして、1つ前の画面に戻ります。

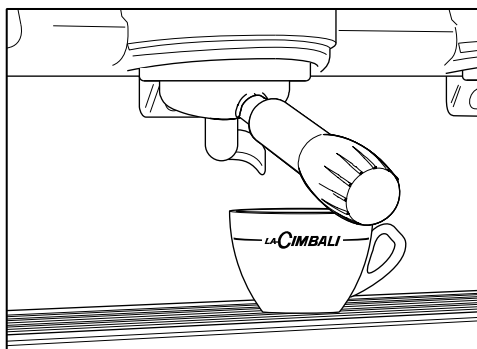


数値が変更されているのを確認してください。

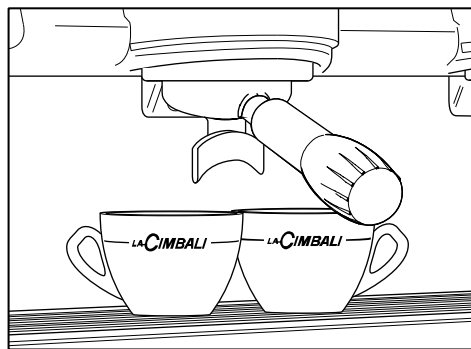


## 5. お好みの量のエスプレッソコーヒーが抽出できることを確認してください

エスプレッソ抽出容器にコーヒー粉を入れて、エスプレッソ抽出器にセットしてください。エスプレッソ抽出口の下にカップを置いてください。



1 人用の場合



2 人用の場合

『OKスイッチ』を押してください。

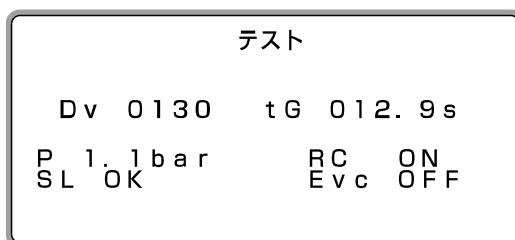
右のような画面が表示され、設定した量のエスプレッソコーヒーが抽出されます。

お好みの量が、抽出されることを確認してください。



1つ前の画面に戻るには、『**◀** スイッチ』を押してください。

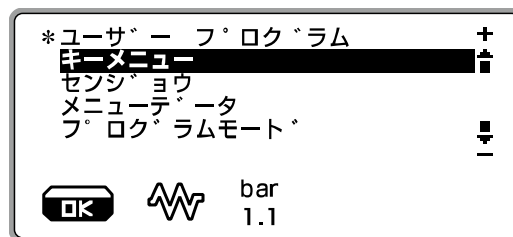
設定の変更が必要な場合は、再度「4.」～「5.」の作業をおこなってください。



設定の変更ができましたら、『◀ スイッチ』を押して、1つ前の画面に戻ってください。

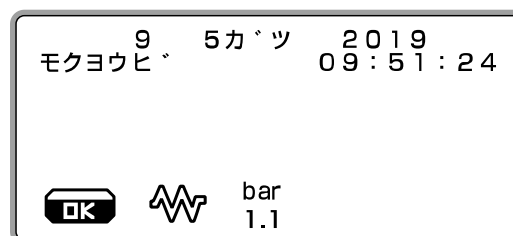


他の『エスプレッソ抽出スイッチ』の設定を変更する場合は、「3.」～「5.」の手順で変えてください。



## 6. ユーザープログラムモードを終了してください

『◀ スイッチ』を押して、ユーザープログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。





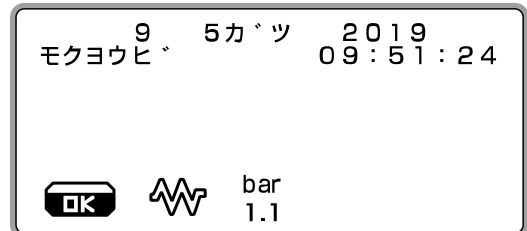
# 熱湯取出量の変更

熱湯の取出時間を変更することができます

熱湯の取出量を変更される場合は、以下の手順にしたがって変更をおこなってください

## 1. 本体が通常の状態であることを確認してください

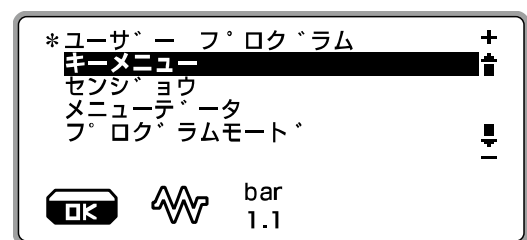
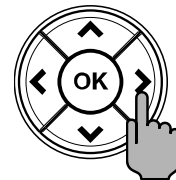
ディスプレイには、右のような表示が出ていることを確認してください。



## 2. ユーザープログラムモードに入ってください

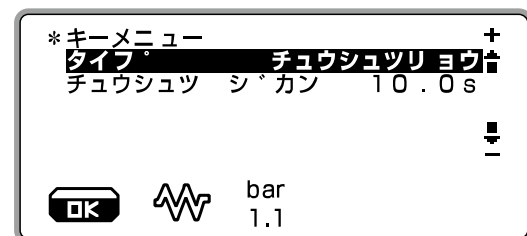
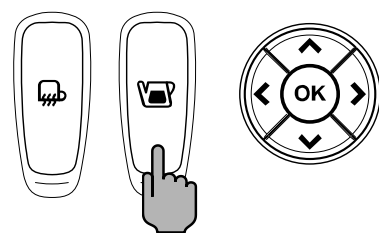
『▶ スイッチ』を押してください。

「ユーザープログラムモード」の画面が表示されます。



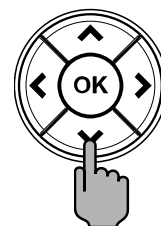
## 3. 『熱湯取出スイッチ』を押してください

「キーメニュー」の画面が表示されます。



#### 4. 熱湯取出量を変更してください

『▼ スイッチ』を押して反転表示を「チュウシュツジカン」の位置に合わせてください。



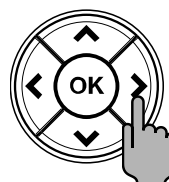
#### お願い

右のような「キーメニュー」画面の表示中に『OK スイッチ』を押した場合、熱湯ノズルから熱湯が出ますので、注意してください。



『▶ スイッチ』を押してください。

ディスプレイに抽出時間の設定画面が表示されます。



『熱湯取出スイッチ』の工場出荷時の設定は、10.0sになっています。  
単位「s」は、秒です。

熱湯の取出量は、設定値「1」(秒)に対して約40mLです。

設定値を「10.0」にした場合、取出量は約400mLになります。

(数値は、あくまでも目安です。熱湯の取出量は、ボイラー圧やポンプ圧などの条件によって異なります。)

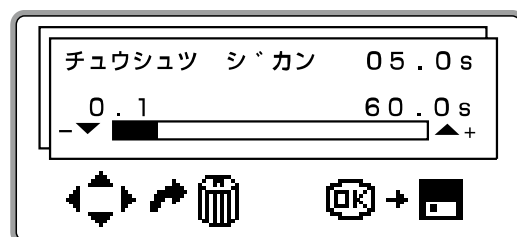
『▲ スイッチ』、または『▼ スイッチ』を押して、「チュウシュツ ジカン」の数値を変更してください。

『▲ スイッチ』を押すと数値が増えます。

『▼ スイッチ』を押すと数値が減ります。



設定範囲：0.1～60.0s(秒)



変更が完了しましたら『OKスイッチ』を押して、変更を確定してください。

変更をキャンセルする場合は、『◀スイッチ』を押すと、変更をキャンセルして、1つ前の画面に戻ります。

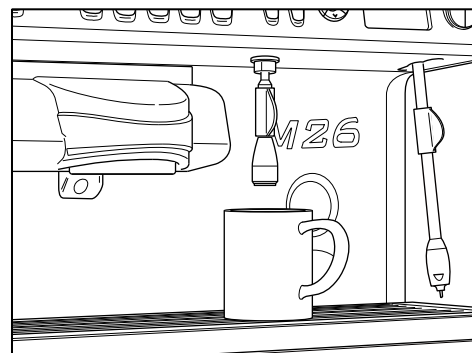


数値が変更されているのを確認してください。



## 5. お好みの量の熱湯が出ることを確認してください

熱湯ノズルの下に熱湯の量を量るための容器を置いてください。



『OKスイッチ』を押してください。

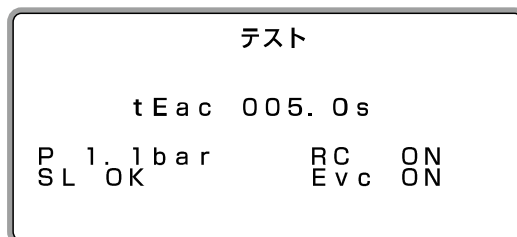
右のような画面が表示され、設定した時間熱湯ノズルから熱湯が出ます。

お好みの量の熱湯が、出ることを確認してください。



1つ前の画面に戻るには、『◀スイッチ』を押してください。

設定の変更が必要な場合は、再度「4.」～「5.」の作業をおこなってください。



## 6. ユーザープログラムモードを終了してください

『◀スイッチ』を2回押して、ユーザープログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

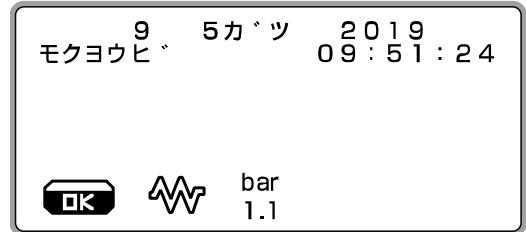


# ターボスチームの温度と泡立ちの設定

プログラム設定でミルク泡立ちのボリュームと、ミルクの仕上がり温度を調整することができます  
 ミルクの泡の細かさを調整する場合は、『ターボスチームのエアー量の調整方法』（34ページ）を参照してください

## 1. 本体が通常の状態であることを確認してください

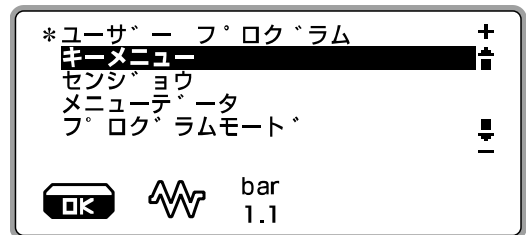
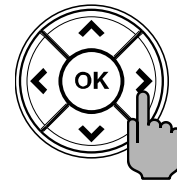
ディスプレイには、右のような表示が出ていることを確認してください。



## 2. ユーザープログラムモードに入ってください

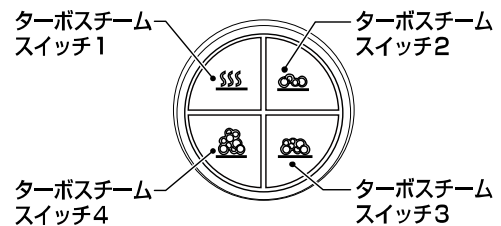
『> スイッチ』を押してください。

「ユーザープログラムモード」の画面が表示されます。

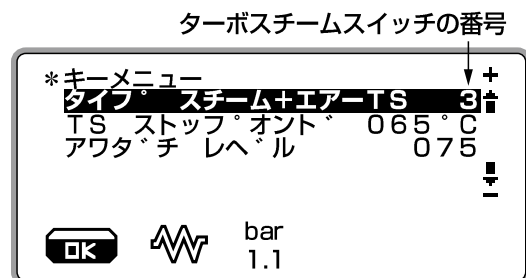


## 3. 設定を変更するターボスチームスイッチを押してください

「キーメニュー」の画面が表示されます。



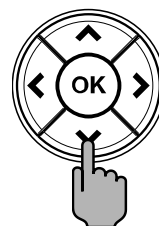
右図は、『ターボスチームスイッチ3』を押したときの画面です



#### 4. ターボスチームのストップ温度を変更してください

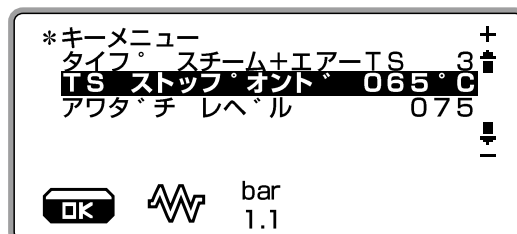
ターボスチームの自動停止温度を変更することで、ミルクの仕上がり温度を変えることができます。

『▼ スイッチ』を押して、反転表示を「TSストップオンド」に合わせてください。



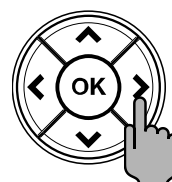
##### お願い

右のような「キーマニュー」画面の表示中に『OK スイッチ』を押した場合、ターボスチームノズルから蒸気が出ますので、注意してください。



『▶ スイッチ』を押してください。

ディスプレイに「TSストップオンド」の設定画面が表示されます。



「TSストップオンド」の設定範囲：0、40～85、OFF

(数値は0→40℃…85℃→OFFと替わります)

- 0 → ターボスチームを手動で停止させる設定です。  
停止させるときも『ターボスチームスイッチ』を押してください。
- OFF → 『ターボスチームスイッチ』を押しても蒸気が出なくなります。

『▲ スイッチ』、または『▼ スイッチ』を押して、「TSストップオンド」の数値を変更してください。

『▲ スイッチ』を押すと数値が増えます。

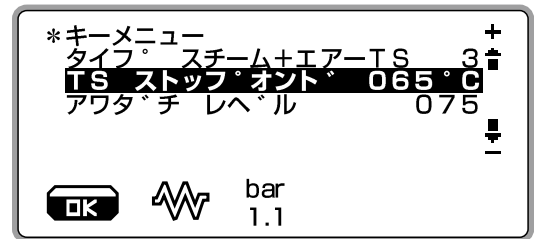
『▼ スイッチ』を押すと数値が減ります。



変更が完了しましたら『OKスイッチ』を押して、変更を確定してください。

変更をキャンセルする場合は、『◀ スイッチ』を押すと、変更をキャンセルして、1つ前の画面に戻ります。

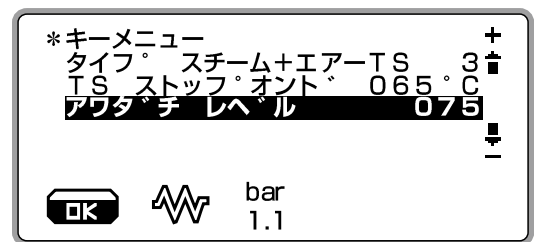
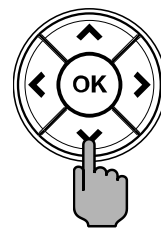
数値が変更されているのを確認してください。



## 5. ターボスチームの泡立ちレベルを変更してください

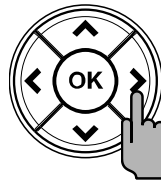
ミルクに空気を入れる量を変更することで、ミルク泡立ちのボリュームを変えることができます。

『▼ スイッチ』を押して、反転表示を「アワダチレベル」に合わせてください。



『▶ スイッチ』を押してください。

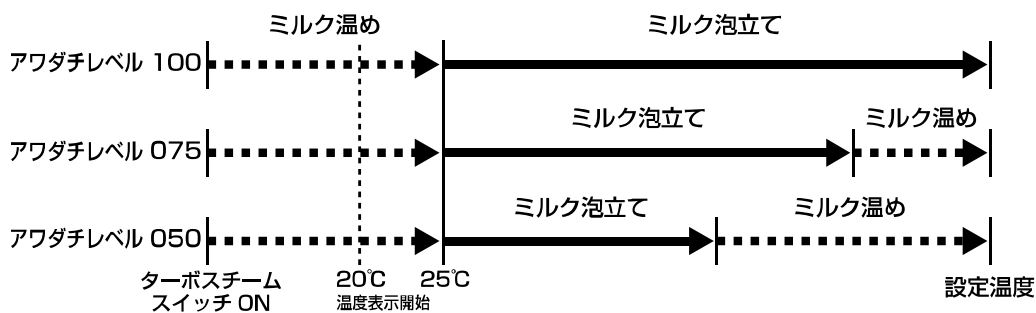
ディスプレイに「アワダチレベル」の設定画面が表示されます。



『ターボスチームスイッチ1』～『ターボスチームスイッチ4』の工場出荷時の設定は、下表のようになっています。

ターボスチームスイッチ1	アワダチレベル 0
ターボスチームスイッチ2	アワダチレベル 50
ターボスチームスイッチ3	アワダチレベル 75
ターボスチームスイッチ4	アワダチレベル 100

「アワダチレベル」の設定範囲：0、10～100 (1刻み)  
数値が大きいほど空気を多く含みます。

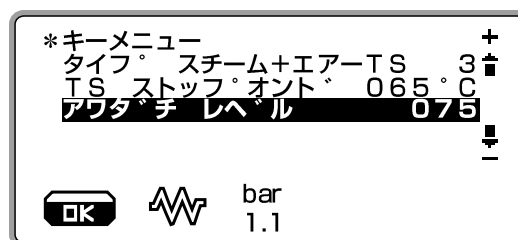


変更が完了しましたら『OKスイッチ』を押して、変更を確定してください。

変更をキャンセルする場合は、『◀スイッチ』を押すと、変更をキャンセルして、1つ前の画面に戻ります。

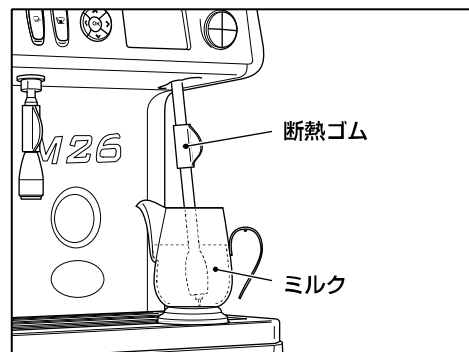


数値が変更されているのを確認してください。



## 6. 蒸気を確認してください

ターボスチームノズルの先を250mLのミルクを入れたポットなどの底まで入れ、ドレンプレートの上に置いてください。



『OKスイッチ』を押してください。

右のような画面が表示され、ターボスチームノズルから空気を含んだ蒸気が出ます。

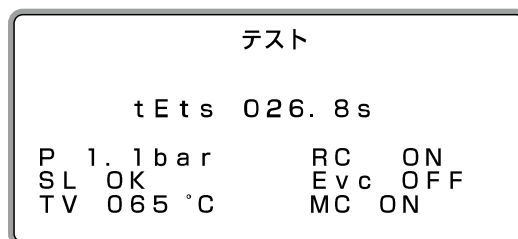
ポット内のミルクが設定した温度になると、自動的に蒸気と空気が止まります。

ポット内のミルクがお好みの状態になっているか確認してください。



1つ前の画面に戻るには、『◀スイッチ』を押してください。

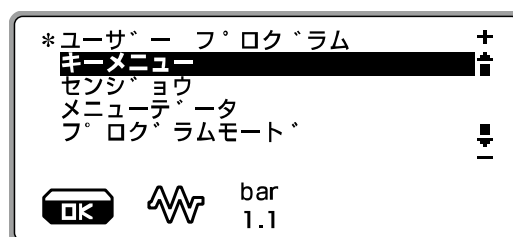
設定の変更が必要な場合は、再度「4.」～「6.」の作業をおこなってください。



設定の変更ができましたら、『◀ スイッチ』を押して、1つ前の画面に戻ってください。

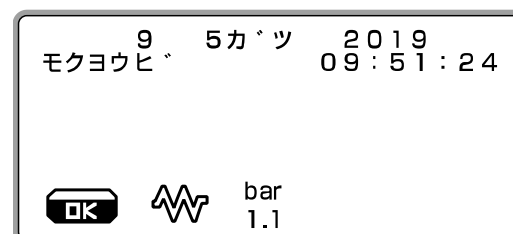


他の『ターボスチームスイッチ』の設定を変更する場合は、「3.」～「6.」の手順で変えてください。



## 7. ユーザープログラムモードを終了してください

『◀ スイッチ』を押して、ユーザープログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。





# その他の機能

## 機械を省電力モードにする

使用頻度が少ない時間帯は、本機を省電力モードにしておくことで、電力コストを抑えることができます

省電力モードは、ボイラーの圧力を少し下げ待機するため、電源スイッチを「OFF（切）」にするより、本機を再びお使いになる際にかかるウォーミングアップの時間を短縮できます

省電力モード時のボイラー圧力は、設定圧力が1.2bar以上の場合は0.8barに保ち、設定圧力が1.1 bar以下の場合は「設定圧力-0.4bar」に保ちます

### 『OKスイッチ』を2秒間長押ししてください

機械は、省電力モードになり、ディスプレイのバックライトが消え、「ショウデンリョク モード」というメッセージが表示されます。



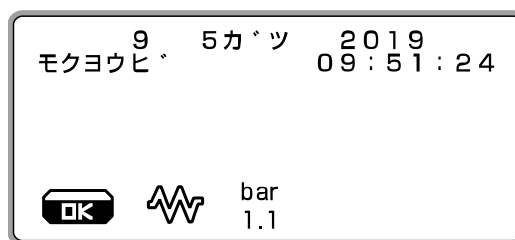
省電力モードを解除するには、任意のスイッチを押してください。  
省電力モードを解除してから抽出可能な状態に戻るまでの時間は約1分です。

# カップウォーマーの温度設定

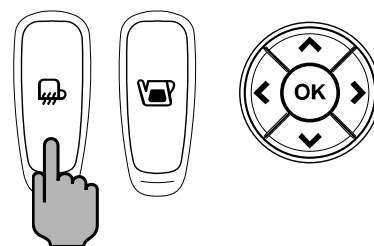
本機の天板にあるカップウォーマーの温度を変更することができます

## 1. 本体が通常の状態であることを確認してください




ディスプレイには、右のような表示が出ていることを確認してください。

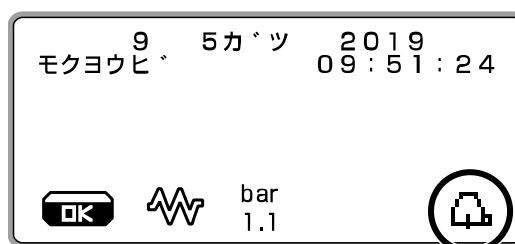


## 2. 『カップウォーマースイッチ』を押してください



ディスプレイの右下のマークを確認してください。

マークの表示なし	→	「切」
「  」の表示	→	「弱」
「  」の表示	→	「中」
「  」の表示	→	「強」



『カップウォーマースイッチ』を押すごとに切り替わります。

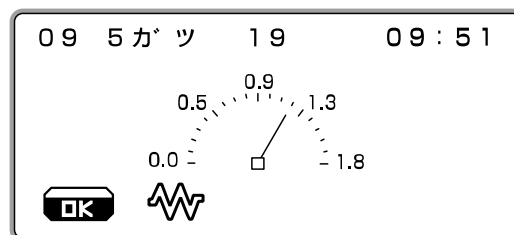
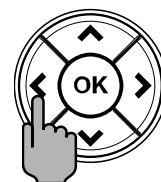
好みの温度にしてご使用ください。

# ボイラータンク圧力のグラフィックメーター表示

ボイラータンク圧力をグラフィックメーターで表示することができます

『◀ スイッチ』を約3秒間長押ししてください

ディスプレイに、グラフィックメーターが表示されます。



元の表示に戻すには、もう一度『◀ スイッチ』を約3秒間長押ししてください。

# 据え付けについて

ここでは、本機の据え付けについて説明します

## 据付工事

### 配管用部品

はじめに、下記の配管用付属品がそろっているか確認してください

1. ステンレスフレキシブルホース (0.25m) ..... 1本
  2. 減圧弁 ..... 1個
  3. 両ナット付アダプター ..... 1個
  4. 排水ホース (1.5m) ..... 1本
  5. 排水ホース接続用Y型チーズ (必要であれば使用) ..... 1個
  6. 給水ホース (ニップル3/8×1/2付) ..... 1本
- ※給水ホースは機械に取り付け済です。

〈別売品〉

1. 浄水器ヘッド ..... 1個
2. 浄水器カートリッジ ..... 1個
3. ステンレスフレキシブルホース (1.5m) ..... 1本

### 据付前の準備

本機を据え付けされるには、事前に下記の設備をお客様側にておこなっていただく必要があります。

### 据付場所

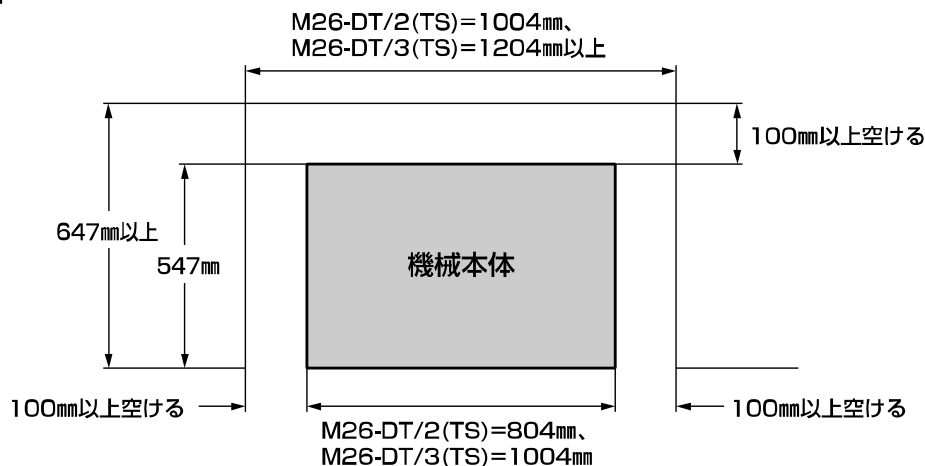
据付台の下には、浄水器、配管設備のスペースを確保してください

目安として、機械本体と同等のスペース（面積）を確保してください。

機械の周辺は、壁面から100mm以上離してください

熱がこもると電気部品に影響をおよぼし、故障の原因になります。

#### 据付図

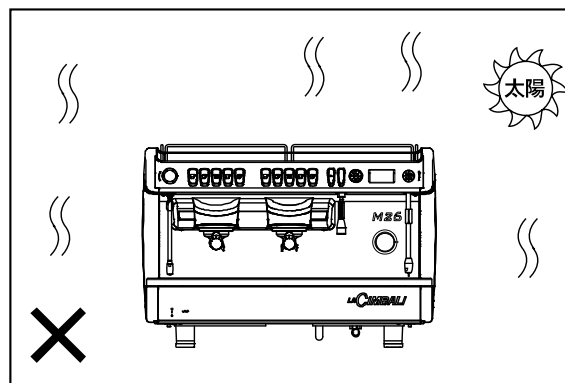


直射日光の当たる所や、機械の周囲の温度が32℃を超える高温の場所には据え付けしないでください

高温になると、電気部品に影響をおよぼし、故障の原因になります。

熱器具の近くに据え付けたり、機械の上に熱器具を乗せたりしないでください

熱で本体が変形したり、電気部品に影響をおよぼして故障の原因になります。

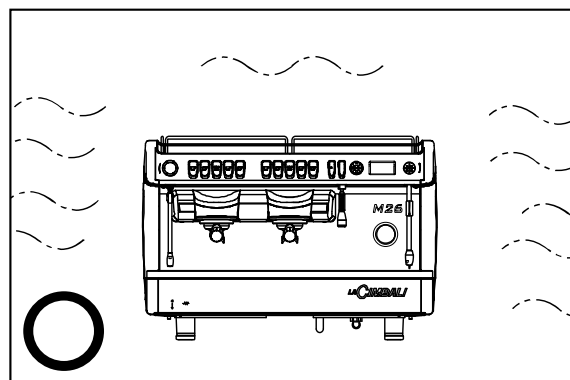


風通しの良い所に据え付けてください

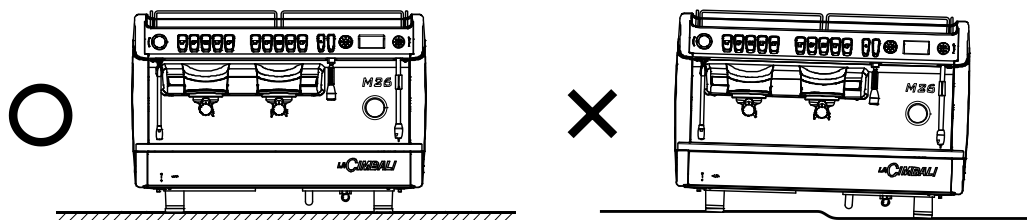
風通しが悪いと蒸気がこもり、機械の寿命を短くしたり、漏電の原因になります。

水をこぼしてもよい所へ据え付けてください

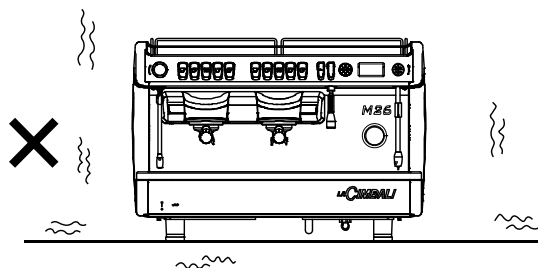
使用中にコーヒーや湯、蒸気などが周囲に散ることがありますので、濡れると不都合なところには、据え付けしないでください。



丈夫で凹凸のない、水平な台へ据え付けてください



振動のない所へ据え付けてください



## 水道

### ⚠ 注意



給水に使用する水は、必ず飲料用の水を使用すること  
飲料水以外の水を使用しますと、健康障害の原因になります。

水道栓は、ステンレスフレキシブルホースが取り付けられるように、コックの先に「G1/2オスネジ」付きのものを用意してください

水道圧力は、流れている状態で0.15~0.6MPaの範囲内にしてください

## 電源

### ⚠ 警告



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること  
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



アース線を必ず接続すること  
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。  
アースが不完全な場合、感電の原因になります。  
設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。

## 電気容量

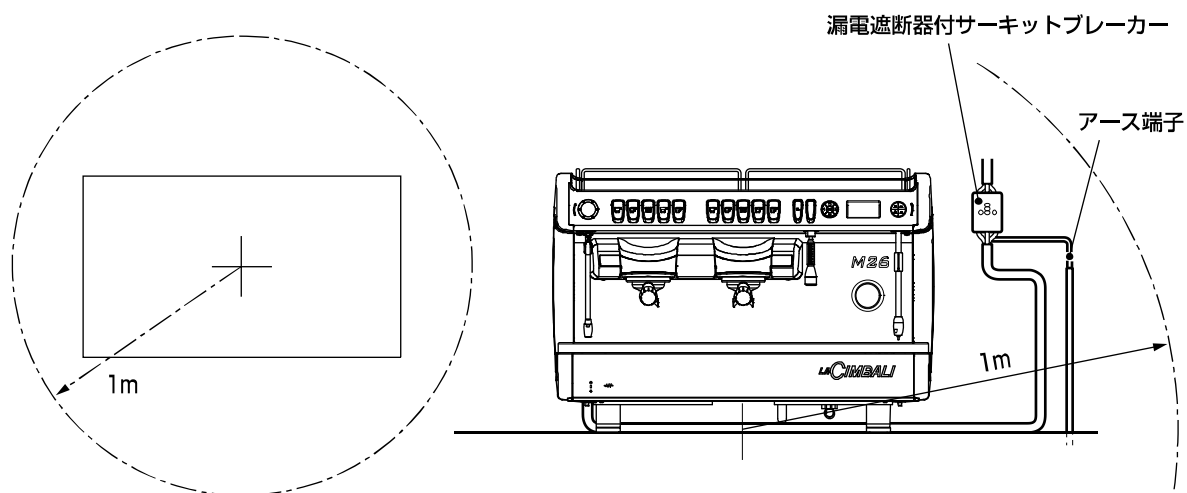
	三相200V (50/60Hz)	単相200V (50/60Hz)
M26-DT/2(TS)	3.5kVA 11A	3.5kVA 17.5A
M26-DT/3(TS)	5.2kVA 16A	5.2kVA 26A

本機の電源は、必ず専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続してください

本機は、電源に近いところ（できれば1m以内）に据え付けてください

電源コードの長さは約2mです。

本機の電源コードを電源設備に接続する際、電源コードが長すぎる場合は、束ねたりせず、少し余裕を持たせて適切な長さにカットして接続してください



## 排水設備

排水孔、または排水溝は、機械近くの低い所に設けてください

排水孔の大きさは、直径50mm以上にしてください

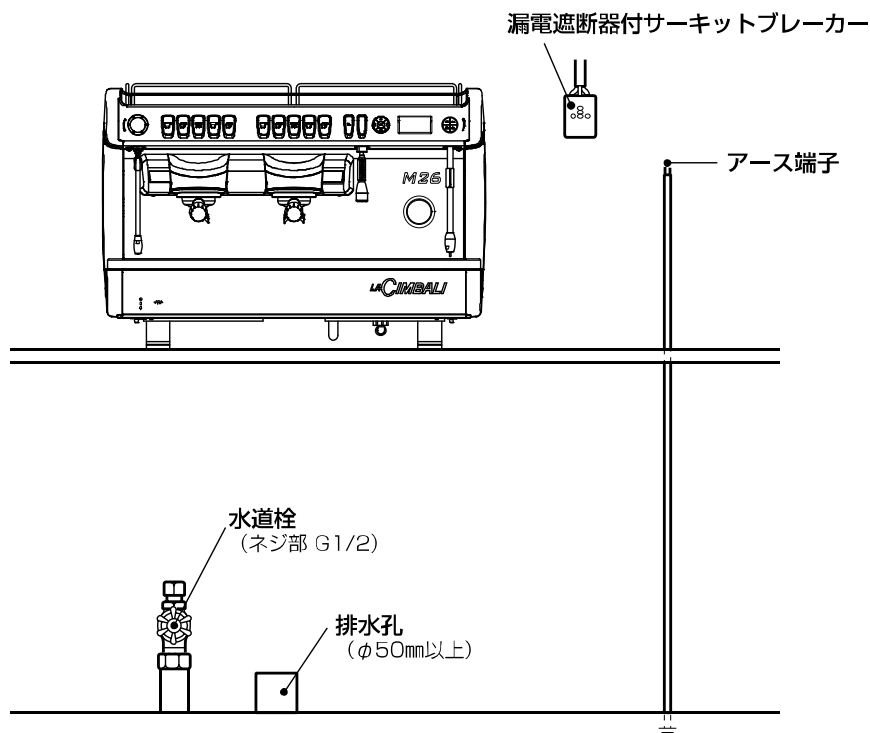
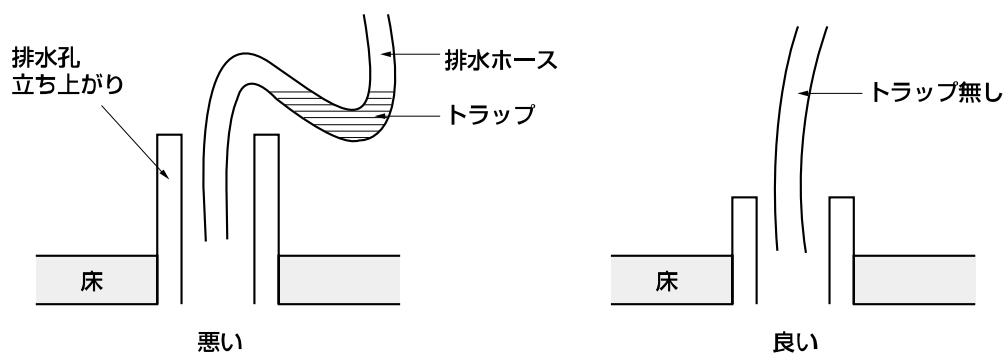
立ち上がりは、できるだけ低くしてください

立ち上がりが高いと、トラップが発生し、排水ができなくなります。

熱湯を流すことがありますので、耐熱性のある排水設備を設けてください

間接排水にしてください

排水ホースを差し込みすぎて排水孔内の排水に浸かった場合、機械からの排水の流れが悪くなります。



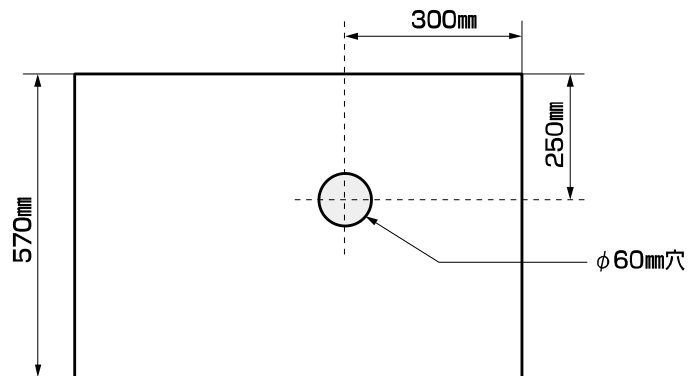


# 据付け レイアウト

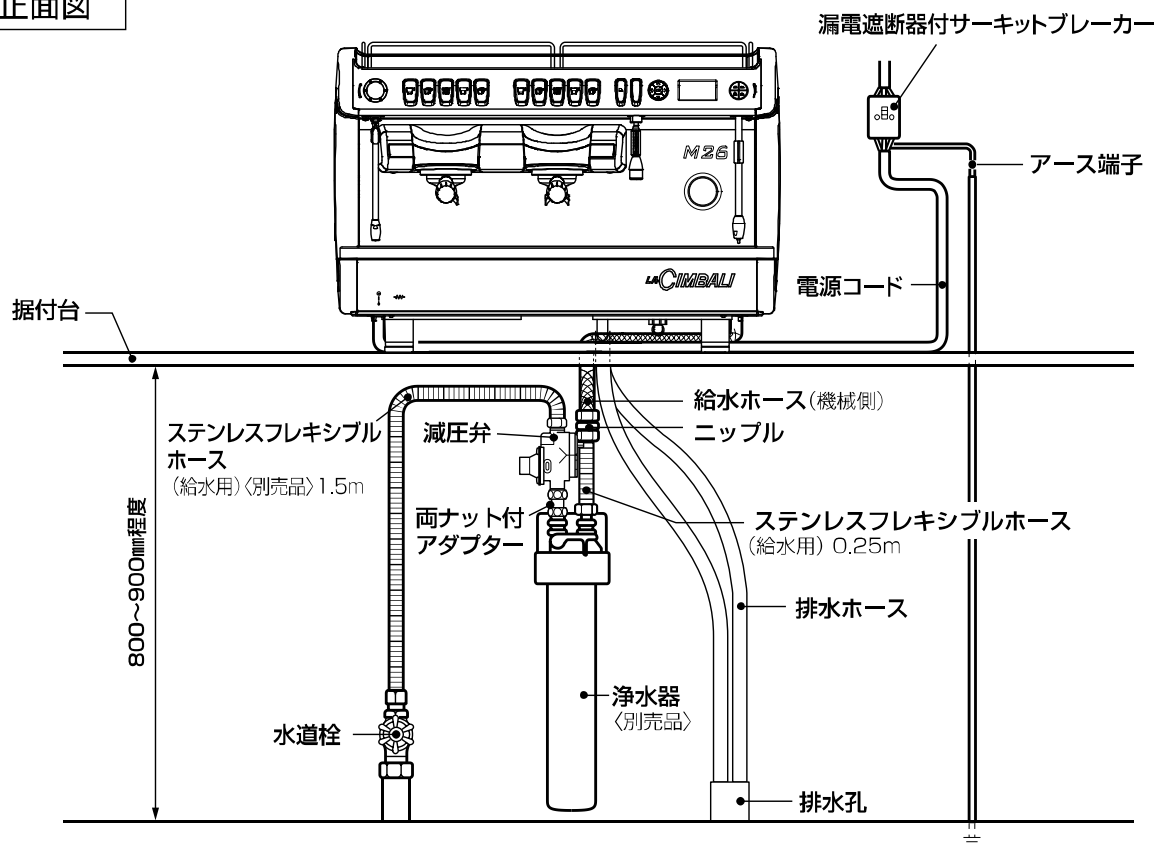
下図は、据付台に配管穴をあけた理想的な据え付け方法です。

据付台には、下記の平面図に記載の寸法で穴をあけ、正面図のように配線および配管をしてください。

平面図



正面図

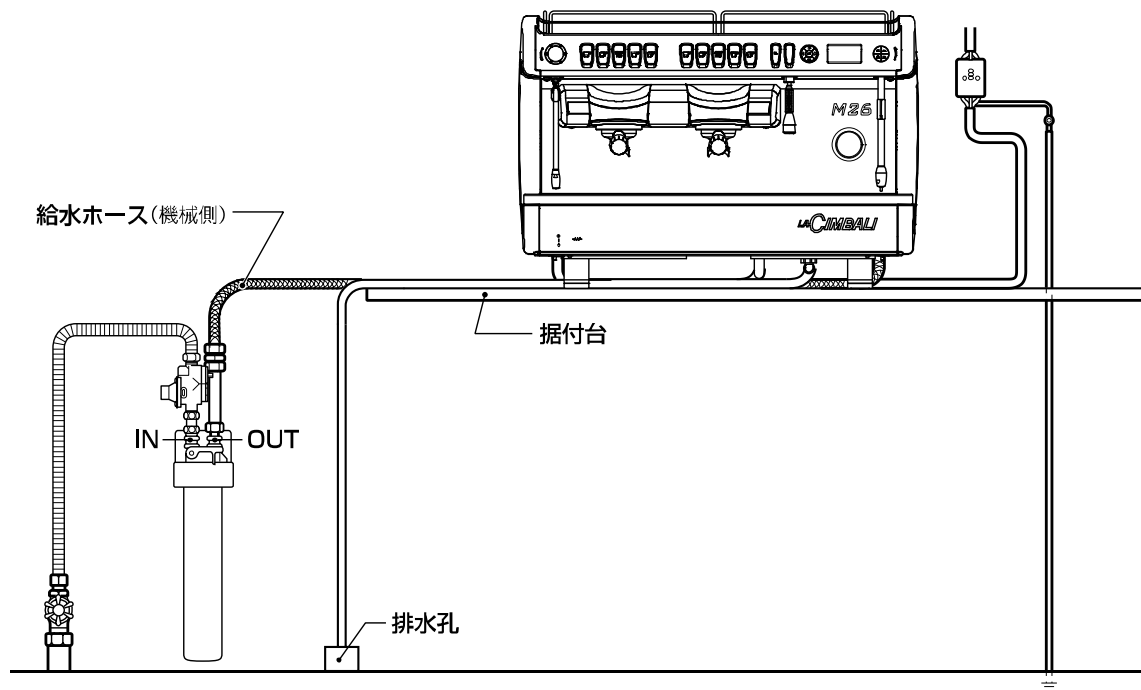


下図は、据付台に穴加工ができない場合の据え付け方法です。

### お願い

排水ホースは、絶対にトラップをつくらないようにし、できるだけ傾斜を大きくとってください。

### 【据付台に穴があげられない場合】



## 給排水の配管

全体レイアウトが決まったら、以下の要領で据付と接続をしてください。

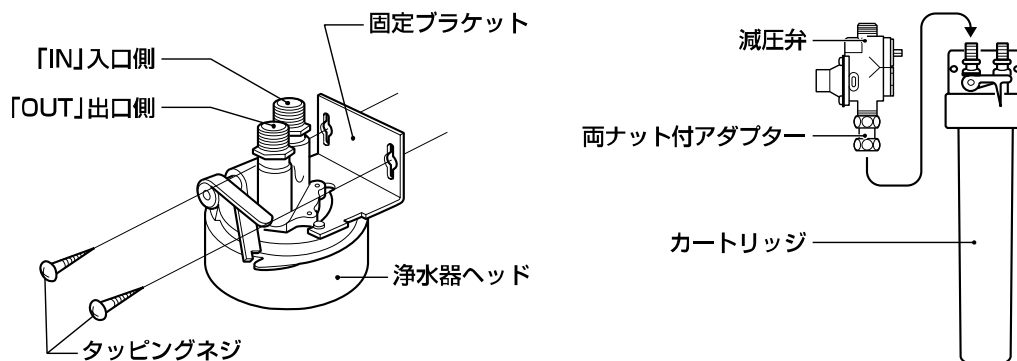
### お願い

浄水器を取り付けないとコーヒーの味に影響を与えます。

水道水内のゴミ等により、機械故障の原因となることがありますので、必ず浄水器をつけてください。

### 1. 浄水器ヘッドを取り付けてください

- 1) 減圧弁「OUT」側に両ナット付アダプターを取り付けてください。
- 2) 浄水器「IN」側に、減圧弁「OUT」側の両ナット付アダプターを取り付けてください。
- 3) 浄水器ヘッドの固定ブラケットを、据付台下の壁面にタッピングネジか釘で取り付けてください。



## 2. カートリッジを浄水器ヘッドに取り付けてください

浄水器カートリッジの取り付け方（取り外し方）は、カートリッジに同梱されている取扱説明書をご覧ください。

## 3. 浄水器内部を洗浄してください

- 1) 浄水器は、機械に取り付けられている給水ホースに接続する前に約3分間水を流して内部を洗浄してください。
- 2) 水道栓と、減圧弁「IN」側をステンレスフレキシブルホース（1.5m）で接続してください。
- 3) 浄水器「OUT」側にステンレスフレキシブルホース（0.25m）を接続し、ホースのもう一方の端を排水孔、または排水溝へ差し込んでください。
- 4) 水道栓を開いて、約3分間水を出し、内部のゴミやホコリなどを流してください。

### お願い

浄水器は条件により異なりますが、半年または1年毎にカートリッジを交換してください。  
交換につきましては、お買上げ店にご相談ください。

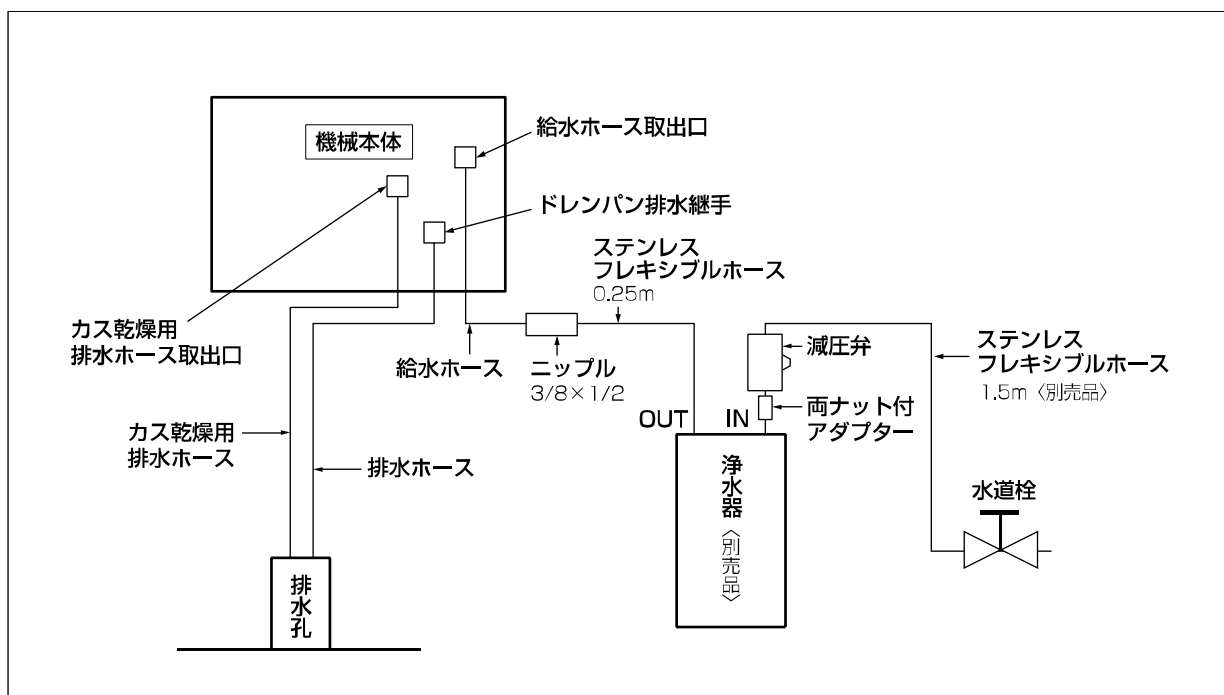
## 4. 内部の洗浄が終わった浄水器「OUT」側に接続されたステンレスフレキシブルホース（0.25m）と、機械に取り付けられている給水ホースの端とを接続してください

### お願い

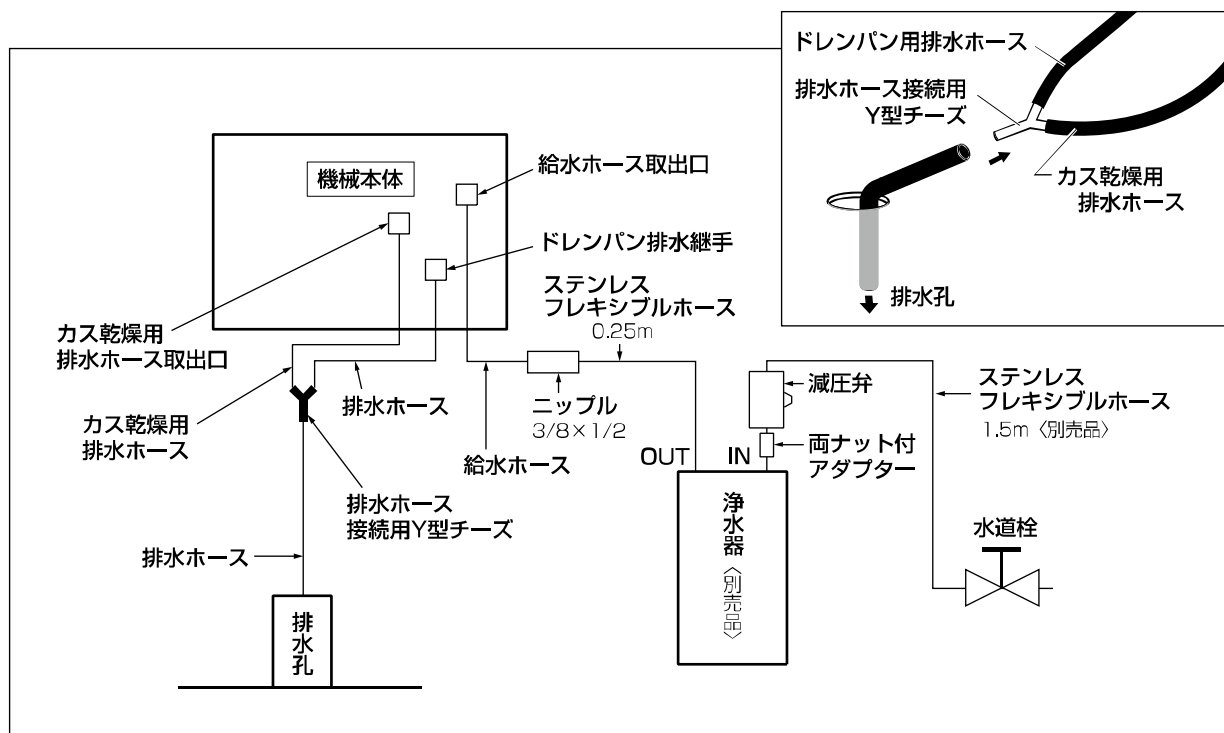
配管の際は、ネジ部を必要以上に締め付けず、水が漏れない程度にしてください。

## 5. 機械の底から出ているカス乾燥用排水ホース（黒色）を排水ホースに差し込んでください

## 6. 機械のドレンパン排水継手に、付属の排水ホース（黒色）を接続し、もう一方の端を排水孔に差し込んでください



排水孔が小さく、排水ホースが2本入らない場合は、下図のようにY型チーズを使って排水ホースとカス乾燥用排水ホースの接続をおこなってください。



## 配線

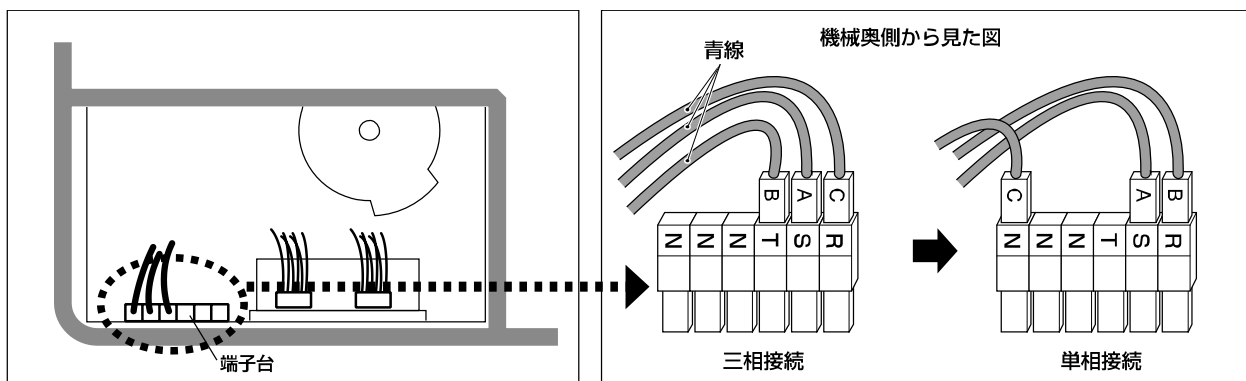
1. 電源コードを専用の漏電遮断器付サーキットブレーカー等に直接接続してください
2. アース線（緑色の線）をアース端子に接続してください

据付けが完了しましたら、水道栓と浄水器の栓を開け、配管部に水漏れがないか確認してください。

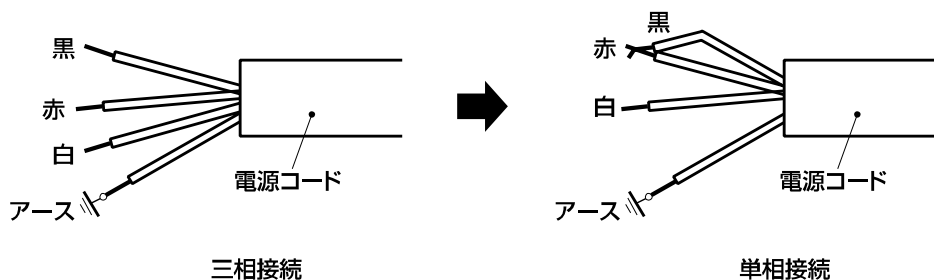
## 電気配線変更方法

電源が単相200Vで設備されている場合は、下記の手順に従って電気配線を変更してください。

1. 電源から、電源コードが切り離されているか確認してください
2. ドレンパンと電装ボックスの透明カバーを取り外してください
3. 電装ボックスの手前壁側にある端子台の配線を変更してください  
ファストン端子のBとCを下図のように接続を変更してください。



4. 電源コードの黒線と赤線の心線を束ねてください



5. 電源コードを専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーなどに直接接続してください

# 据付後の動作確認

1. 水道栓と浄水器の栓を開いてください

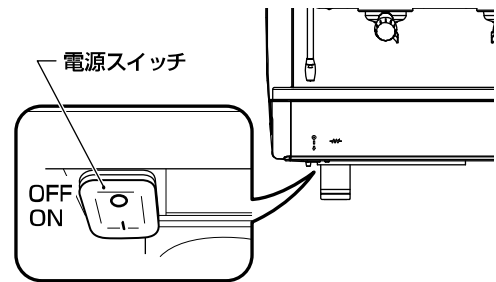
2. 本機専用電源（漏電遮断機付サーキットブレーカー）を「ON（入）」にしてください

3. 本機左下部にある電源スイッチを「ON（入）」にしてください

電源スイッチ（緑）と操作パネルが点灯し、ウォーミングアップを開始します。

ウォーミングアップとは、本機の電源スイッチをONにしたとき、ボイラータンクへ自動給水し、ボイラータンク内の水を加熱する一連の動作のことです。

初期給水完了後、約18分経過すると、ボイラータンクの湯が沸きます。



## メモ

ウォーミングアップ中に、操作パネルの『エスプレッソ抽出スイッチ』や『熱湯取出スイッチ』、『ターボスチームスイッチ』を操作しても右のような画面が表示され、動作しません。

ただし、エスプレッソコーヒの『スタート/ストップスイッチ』を押すと、抽出動作はしますが、エスプレッソ抽出器からは、ぬるいお湯が出てきます。

ウォーミングアップが完了するまでお待ちください。

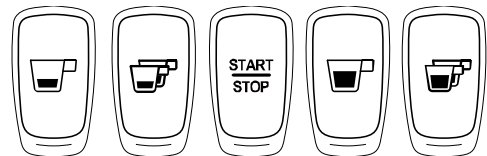


## 警告

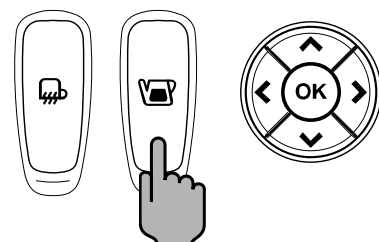


ディスプレイのボイラータンク圧力の表示が1.6bar以上になるときは電源スイッチを切ること  
ボイラータンク圧力の適正範囲は1.0~1.4barです。

4. 各『エスプレッソ抽出スイッチ』を押して、エスプレッソ抽出器から熱湯が出ることを確認してください

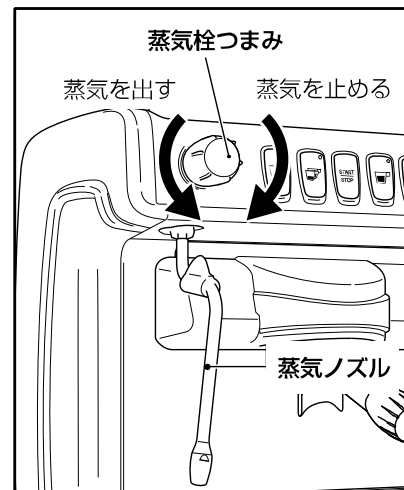


5. 『熱湯取出スイッチ』を押して、熱湯ノズルから熱湯が出ることを確認してください



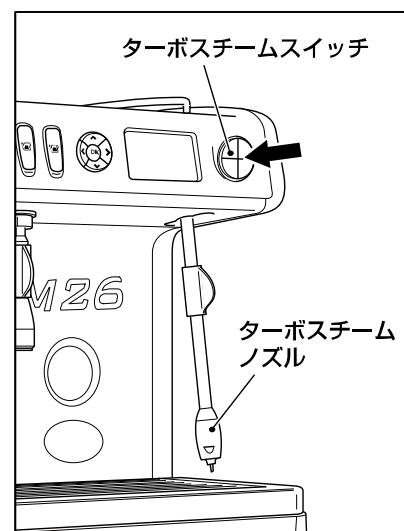
**6. 蒸気栓つまみを回して、蒸気ノズルから蒸気が出ることを確認してください**

確認後は、蒸気栓つまみを閉めて、蒸気を止めてください。



**7. 『ターボスチームスイッチ』を押して、ターボスチームノズルから蒸気が出ることを確認してください**

確認後は、もう一度『ターボスチームスイッチ』を押して、蒸気を止めてください。



**8. 電源を切るときは、本体左下部の電源スイッチを「OFF (切)」にし、本体専用電源（漏電遮断機付サーキットブレーカー）も「OFF (切)」にしてください**

**9. 水道栓を閉じてください**

これで据付け完了です。

# 仕様

品名	エスプレッソコーヒーマシン【ラ・チンバリ】	
型式	M26-DT/2(TS)	M26-DT/3(TS)
タイプ	エスプレッソ2連+蒸気+ターボスチーム+熱湯	エスプレッソ3連+蒸気+ターボスチーム+熱湯
外形寸法	幅 804・奥行 547・高さ 558mm (突起物を含む 奥行 600mm)	幅 1004・奥行 547・高さ 558mm (突起物を含む 奥行 600mm)
電源	三相 200V 50 / 60Hz【单相も可能】	
電流	11A【单相時 17.5A】	16A【单相時 26A】
消費電力	3.5kW	5.2kW
質量	75kg	92kg
ボイラータンク容量	10L	15L
エスプレッソ抽出能力	320杯/h 30mL/1杯で2杯取り2連時	480杯/h 30mL/1杯で2杯取り3連時
カプチーノ抽出能力	スチームノズルを使用してミルクを泡立てることができます。	
熱湯取出能力	30L/h	45L/h
蒸気取出能力	連続	
コーヒー抽出温度	約85℃（抽出湯温調整可能）	
熱湯温度	約95℃	
昇温時間	約18分（水温により多少異なります。）	
給水設備	給水栓：G1/2 オスネジ	
水道圧力	0.15～0.60MPa	
電源コード	3.5mm <sup>2</sup> 4心 長さ 2m 外径φ14mm	

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

		DT/2(TS)	DT/3(TS)
付属品	エスプレッソ抽出容器（2人用）	2個	3個
	エスプレッソ抽出容器（1人用）	1個	1個
	エスプレッソフィルター（2人用）	2個	3個
	エスプレッソフィルター（1人用）	1個	1個
	洗浄ブラシ（エスプレッソ抽出器洗浄用）	1個	1個
	エスプレッソ抽出器洗浄キャップ	2個	3個
	洗浄漂白剤「バブルクリーン 240g」	1個	1個
	乳成分専用洗浄剤「ミルククリーン 200mL」	1本	1本
	ターボスチーム用ディフューザー（予備）	1個	1個
	取扱説明書（本書）	1冊	1冊



## 保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

## 消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

Oリング	パッキン	チューブ
洗浄ブラシ	付属の洗浄剤	—

## 補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後5年とさせていただきます。

# 株式会社エフ・エム・アイ

東 京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大 阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙 台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広 島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福 岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北 陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖 縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四 国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>